授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業回数	３０回
授業概要	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	簿記の概要Ⅰ①（初歩編）	31	
2	簿記の概要Ⅰ②（初歩編）	32	
3	現金預金Ⅰ①（初歩編）	33	
4	現金預金Ⅰ②（初歩編）	34	
5	債権債務Ⅰ①（初歩編）	35	
6	債権債務Ⅰ②（初歩編）	36	
7	商品売買Ⅰ①（初歩編）	37	
8	商品売買Ⅰ②（初歩編）	38	
9	給料等Ⅰ①（初歩編）	39	
10	給料等Ⅰ②（初歩編）	40	
11	固定資産Ⅰ①（初歩編）	41	
12	固定資産Ⅰ②（初歩編）	42	
13	固定資産Ⅰ③（初歩編）	43	
14	固定資産Ⅰ④（初歩編）	44	
15	固定資産Ⅰ⑤（初歩編）	45	
16	固定資産Ⅰ⑥（初歩編）	46	
17	ソフトウェアⅠ①（初歩編）	47	
18	ソフトウェアⅠ②（初歩編）	48	
19	債権債務Ⅰ①（初歩編）	49	
20	債権債務Ⅰ②（初歩編）	50	
21	貸倒れⅠ①（初歩編）	51	
22	貸倒れⅠ②（初歩編）	52	
23	退職給付会計Ⅰ①（初歩編）	53	
24	退職給付会計Ⅰ②（初歩編）	54	
25	退職給付会計Ⅰ③（初歩編）	55	
26	退職給付会計Ⅰ④（初歩編）	56	
27	退職給付会計Ⅰ⑤（初歩編）	57	
28	退職給付会計Ⅰ⑥（初歩編）	58	
29	税金Ⅰ①（初歩編）	59	
30	税金Ⅰ②（初歩編）	60	

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間
授業回数	３０回
授業概要	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	ガイダンス・財務諸表の基礎（初歩）	31	
2	個別注記表（初歩）	32	
3	現金及び預金（初歩）	33	
4	債権債務（初歩）	34	
5	関係会社概念（初歩）	35	
6	売上原価の算定（初歩）	36	
7	貸倒れ（初歩）	37	
8	給料等（初歩）	38	
9	その他の引当金（初歩）	39	
10	退職給付会計（初歩）	40	
11	有形固定資産（初歩）	41	
12	無形固定資産（初歩）	42	
13	株主資本（初歩）	43	
14	ソフトウェア（初歩）	44	
15	法人税等・追徴還付（初歩）	45	
16	外形基準、租税公課（初歩）	46	
17	源泉所得税、社会保険料（初歩）	47	
18	財務諸表論の基礎概念①（初歩）	48	
19	財務諸表論の基礎概念②（初歩）	49	
20	財務諸表論の基礎概念③（初歩）	50	
21	財務諸表論の基礎概念④（初歩）	51	
22	財務諸表論の基礎概念⑤（初歩）	52	
23	企業会計原則（一般原則）①（初歩）	53	
24	企業会計原則（一般原則）②（初歩）	54	
25	企業会計原則（一般原則）③（初歩）	55	
26	企業会計原則（一般原則）④（初歩）	56	
27	企業会計原則（一般原則）⑤（初歩）	57	
28	企業会計原則（一般原則）⑥（初歩）	58	
29	企業会計原則（一般原則）⑦（初歩）	59	
30	企業会計原則（一般原則）⑧（初歩）	60	

成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	税金Ⅰ①（入門編）
3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	税金Ⅰ②（入門編）
4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ①（入門編）
5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	社債Ⅰ②（入門編）
6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	社債Ⅰ③（入門編）
7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
15	固定資産Ⅰ①（入門編）	45	確認テスト
16	固定資産Ⅰ②（入門編）		
17	固定資産Ⅰ③（入門編）		
18	固定資産Ⅰ④（入門編）		
19	固定資産Ⅰ⑤（入門編）		
20	ソフトウェアⅠ①（入門編）		
21	ソフトウェアⅠ②（入門編）		
22	債権債務Ⅰ①（入門編）		
23	債権債務Ⅰ②（入門編）		
24	債権債務Ⅰ③（入門編）		
25	貸倒れⅠ①（入門編）		
26	貸倒れⅠ②（入門編）		
27	貸倒れⅠ③（入門編）		
28	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
29	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
30	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	4	税効果会計Ⅰ④（入門編）	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ①（入門編）	31	**商品売買Ⅱ②(入門編)**
2	本支店会計Ⅰ②（入門編）	32	**固定資産Ⅱ①(入門編)**
3	本支店会計Ⅰ③（入門編）	33	**固定資産Ⅱ②(入門編)**
4	本支店会計Ⅰ④（入門編）	34	**退職給付会計Ⅱ①(入門編)**
5	本支店会計Ⅰ⑤（入門編）	35	**退職給付会計Ⅱ②(入門編)**
6	本支店会計Ⅰ⑥（入門編）	36	**試用販売Ⅱ①(入門編)**
7	組織再編会計Ⅰ①（入門編）	37	**試用販売Ⅱ②(入門編)**
8	組織再編会計Ⅰ②（入門編）	38	**割賦販売Ⅱ①(入門編)**
9	組織再編会計Ⅰ③（入門編）	39	**割賦販売Ⅱ②(入門編)**
10	組織再編会計Ⅰ④（入門編）	40	**本支店会計Ⅱ①(入門編)**
11	建設業会計Ⅰ①（入門編）	41	**本支店会計Ⅱ②(入門編)**
12	建設業会計Ⅰ②（入門編）	42	**組織再編会計Ⅱ①(入門編)**
13	連結会計Ⅰ①（入門編）	43	**組織再編会計Ⅱ②(入門編)**
14	連結会計Ⅰ②（入門編）	44	**連結会計Ⅱ①(入門編)**
15	連結会計Ⅰ③（入門編）	45	**確認テスト**
16	連結会計Ⅰ④（入門編）		
17	製造業会計Ⅰ①（入門編）		
18	製造業会計Ⅰ②（入門編）		
19	製造業会計Ⅰ③（入門編）		
20	製造業会計Ⅰ④（入門編）		
21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）		
22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）		
23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）		
24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）		
25	繰延資産Ⅰ①（入門編）		
26	繰延資産Ⅰ②（入門編）		
27	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）		
28	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）		
29	ストック・オプションⅠ（入門編）		
30	商品売買Ⅱ①（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	項目別答練①（入門編）	31	過去問演習⑥（入門編）
2	項目別答練②（入門編）	32	過去問演習⑦（入門編）
3	項目別答練③（入門編）	33	過去問演習⑧（入門編）
4	項目別答練④（入門編）	34	過去問演習⑨（入門編）
5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習⑩（入門編）
6	基礎答練①（入門編）	36	問題演習実践①（入門編）
7	基礎答練②（入門編）	37	問題演習実践②（入門編）
8	基礎答練③（入門編）	38	問題演習実践③（入門編）
9	基礎答練④（入門編）	39	問題演習実践④（入門編）
10	基礎答練⑤（入門編）	40	問題演習実践⑤（入門編）
11	基礎答練⑥（入門編）	41	問題演習実践⑥（入門編）
12	基礎答練⑦（入門編）	42	問題演習実践⑦（入門編）
13	基礎答練⑧（入門編）	43	問題演習実践⑧（入門編）
14	基礎答練⑨（入門編）	44	問題演習実践⑨（入門編）
15	基礎答練⑩（入門編）	45	模擬試験
16	応用答練①（入門編）		
17	応用答練②（入門編）		
18	応用答練③（入門編）		
19	応用答練④（入門編）		
20	応用答練⑤（入門編）		
21	応用答練⑥（入門編）		
22	応用答練⑦（入門編）		
23	応用答練⑧（入門編）		
24	応用答練⑨（入門編）		
25	応用答練⑩（入門編）		
26	過去問演習①（入門編）		
27	過去問演習②（入門編）		
28	過去問演習③（入門編）		
29	過去問演習④（入門編）		
30	過去問演習⑤（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）
	6	非課税①（入門編）
	7	非課税②（入門編）
	8	非課税③（入門編）
	9	非課税④（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（入門）
	3	相続税法と民法（入門）
	4	相続人、代襲相続（入門）
	5	養子の子の取扱い（入門）
	6	相続の承認と放棄（入門）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門）
	8	遺言による財産の取得（入門）
	9	相続税の納税義務者（入門）
	10	生命保険金等（入門）
	11	相続税の非課税財産（入門）
	12	相続税額の計算方法（入門）
	13	生命保険金等の非課税金額（入門）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（初級）
	2	納税義務者（初級）
	3	課税所得の範囲（初級）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（初級）
	5	減価償却Ⅰ（初級）
	6	減価償却Ⅱ（初級）
	7	減価償却Ⅲ（初級）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（初級）
	10	租税公課等（初級）
	11	納税充当金Ⅰ（初級）
	12	納税充当金Ⅱ（初級）
	13	別表四の作成（初級）
	14	事業年度（初級）
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	非課税①（入門編）
	5	非課税②（入門編）
	6	輸出免税等①（入門編）
	7	輸出免税等②（入門編）
	8	資産の譲渡等の時期（入門編）
	9	控除対象仕入税額①（入門編）
	10	控除対象仕入税額②（入門編）
	11	売上げに係る対価の返還等（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	オリジナルテキスト	31	社債Ⅰ①（入門編）
2	固定資産Ⅰ②（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
3	固定資産Ⅰ③（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
4	固定資産Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ④（入門編）
5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	35	社債Ⅰ⑤（入門編）
6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	36	社債Ⅰ⑥（入門編）
7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
13	債権債務Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
14	債権債務Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
15	債権債務Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
16	貸倒れⅠ①（入門編）		
17	貸倒れⅠ②（入門編）		
18	貸倒れⅠ③（入門編）		
19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）		
23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）		
24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）		
25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）		
26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）		
27	税金Ⅰ①（入門編）		
28	税金Ⅰ②（入門編）		
29	税金Ⅰ③（入門編）		
30	税金Ⅰ④（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	売買目的有価証券（入門）	31	ゴルフ会員権（入門）
2	満期保有目的の債券（入門）	32	売価還元法（入門）
3	子会社株式・関連会社株式（入門）	33	製造業会計（入門）
4	その他有価証券（入門）	34	研究開発費（入門）
5	ソフトウェア（入門）	35	新株予約権（入門）
6	法人税等・追徴還付（入門）	36	キャッシュ・フロー計算書（入門）
7	現在価値計算（入門）	37	損益計算書総論（入門）
8	社債（入門）	38	貸借対照表総論（入門）
9	利益剰余金（入門）	39	資産総論（入門）
10	自己株式（入門）	40	棚卸資産に関する会計基準（入門）
11	配当（入門）	41	連続意見書（入門）
12	外形基準、租税公課（入門）	42	引当金（入門）
13	源泉所得税、社会保険料（入門）	43	会計観（入門）
14	税効果会計（入門）	44	金融商品（入門）
15	税効果注記（入門）	45	確認テスト(理論)
16	源泉所得税、社会保険料（入門）		
17	株主資本等変動計算書（入門）		
18	減損会計（入門）		
19	配当を受けた株主の処理（入門）		
20	圧縮記帳（入門）		
21	外貨建取引（入門）		
22	退職給付会計簡便法（入門）		
23	繰延資産（入門）		
24	為替予約（入門）		
25	仕入・売上げの計上基準（入門）		
26	消費税等（入門）		
27	他勘定振替（入門）		
28	外貨建有価証券（入門）		
29	リース会計（入門）		
30	証券投資信託（入門）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額①（入門編）	31	課税期間における課税売上高①（入門編）
2	控除対象仕入税額②（入門編）	32	課税期間における課税売上高②（入門編）
3	控除対象仕入税額③（入門編）	33	課税期間における課税売上高③（入門編）
4	控除対象仕入税額④（入門編）	34	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
5	控除対象仕入税額⑤（入門編）	35	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
6	控除対象仕入税額⑥（入門編）	36	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
7	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	37	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
8	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	38	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
9	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	39	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
10	貸倒れが生じた場合①（入門編）	40	納税義務の免除①（入門編）
11	貸倒れが生じた場合②（入門編）	41	納税義務の免除②（入門編）
12	貸倒れが生じた場合③（入門編）	42	納税義務の免除③（入門編）
13	課税仕入れの範囲①（入門編）	43	納税義務の免除④（入門編）
14	課税仕入れの範囲②（入門編）	44	納税義務の免除⑤（入門編）
15	課税仕入れの範囲③（入門編）	45	確認テスト(理論)
16	課税仕入れの範囲④（入門編）		
17	課税仕入れの範囲⑤（入門編）		
18	課税仕入れの範囲⑥（入門編）		
19	課税仕入れ等の時期①（入門編）		
20	課税仕入れ等の時期②（入門編）		
21	課税仕入れ等の時期③（入門編）		
22	課税仕入れ等の時期④（入門編）		
23	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）		
24	課税売上割合①（入門編）		
25	課税売上割合②（入門編）		
26	課税売上割合③（入門編）		
27	課税売上割合④（入門編）		
28	課税売上割合⑤（入門編）		
29	課税売上割合⑥（入門編）		
30	課税売上割合⑦（入門編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	贈与税の概要（入門）	31	貸宅地（入門）
2	贈与税の納税義務者（入門）	32	貸家建付地（入門）
3	弔慰金等（入門）	33	貸家建付借地権（入門）
4	債務控除（入門）	34	貸家（入門）
5	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	35	一般動産（入門）
6	相続時精算課税適用財産（入門）	36	たな卸商品等（入門）
7	生前贈与加算相続税の総額（入門）	37	書画骨とう品（入門）
8	算出相続税額の計算（入門）	38	預貯金（入門）
9	相続税額の加算（入門）	39	上場株式（入門）
10	贈与税額控除（暦年）（入門）	40	構築物（入門）
11	配偶者の税額軽減（入門）	41	貸付金債権等（入門）
12	未成年者控除（入門）	42	受取手形等（入門）
13	障害者控除（入門）	43	間口が狭小な宅地等（入門）
14	確認テスト①(理論)	44	角切り宅地の間口距離（入門）
15	特定納税義務者（入門）	45	確認テスト②(理論)
16	特定納税義務者の債務控除（入門）		
17	特定納税義務者の障害者控除（入門）		
18	贈与税額控除（精算）（入門）		
19	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）		
20	自用家屋（入門）		
21	家屋と構造上一体となっている設備（入門）		
22	特別養子制度（入門）		
23	生命保険契約に関する権利（入門）		
24	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）		
25	法定相続人の数（入門）		
26	本来の財産（入門）		
27	自用地（路線に２以上の路線価が付されている宅地）（入門）		
28	地区区分の異なる宅地（入門）		
29	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）		
30	普通借地権（自用借地権）（入門）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　２回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	国庫補助金等Ⅲ（基礎）
2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	国庫補助金等Ⅳ（基礎）
3	貸倒損失Ⅲ（基礎）	33	別表五㈠の作成Ⅰ（基礎）
4	貸倒損失Ⅳ（基礎）	34	別表五㈠の作成Ⅱ（基礎）
5	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	35	別表五㈠の作成Ⅲ（基礎）
6	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	36	別表五㈠の作成Ⅳ（基礎）
7	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	37	圧縮記帳Ⅰ（基礎）
8	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	38	圧縮記帳Ⅱ（基礎）
9	欠損金Ⅰ（基礎）	39	圧縮記帳Ⅲ（基礎）
10	欠損金Ⅱ（基礎）	40	圧縮記帳Ⅳ（基礎）
11	欠損金Ⅲ（基礎）	41	圧縮記帳Ⅴ（基礎）
12	欠損金Ⅳ（基礎）	42	圧縮記帳Ⅵ（基礎）
13	外貨建取引Ⅰ（基礎）	43	圧縮記帳Ⅶ（基礎）
14	外貨建取引Ⅱ（基礎）	44	圧縮記帳Ⅷ（基礎）
15	外貨建取引Ⅲ（基礎）	45	確認テスト（理論）
16	外貨建取引Ⅳ（基礎）		
17	有価証券Ⅰ（基礎）		
18	有価証券Ⅱ（基礎）		
19	有価証券Ⅲ（基礎）		
20	有価証券Ⅳ（基礎）		
21	収用等Ⅰ（基礎）		
22	収用等Ⅱ（基礎）		
23	収用等Ⅲ（基礎）		
24	収用等Ⅳ（基礎）		
25	所得税額控除Ⅰ（基礎）		
26	所得税額控除Ⅱ（基礎）		
27	所得税額控除Ⅲ（基礎）		
28	所得税額控除Ⅳ（基礎）		
29	国庫補助金等Ⅰ（基礎）		
30	国庫補助金等Ⅱ（基礎）		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	2	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	3	課税売上割合①（入門編）
	4	課税売上割合②（入門編）
	5	課税期間における課税売上高①（入門編）
	6	課税期間における課税売上高②（入門編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（入門編）
	10	納税義務の免除（入門編）
	11	国境を越えた役務の提供①（入門編）
	12	国境を越えた役務の提供②（入門編）
	13	国境を越えた役務の提供③（入門編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	4	税効果会計Ⅰ④（入門編）	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科（１年制）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
授業時間	１２０時間			
授業回数	６０回			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
	16	セール＆リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール＆リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール＆リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール＆リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
	20	セール＆リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
	29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
	30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	国境を越えた役務の提供①（入門編）	31	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
2	国境を越えた役務の提供②（入門編）	32	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
3	国境を越えた役務の提供③（入門編）	33	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）
4	国境を越えた役務の提供④（入門編）	34	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編）
5	国境を越えた役務の提供⑤（入門編）	35	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
6	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編	36	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
7	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編	37	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
8	課税仕入れ等の分類①（入門編）	38	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）
9	課税仕入れ等の分類②（入門編）	39	課税標準①（入門編）
10	課税仕入れ等の分類③（入門編）	40	課税標準②（入門編）
11	課税仕入れ等の分類④（入門編）	41	課税標準③（入門編）
12	課税仕入れ等の分類⑤（入門編）	42	課税標準④（入門編）
13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税	43	課税標準⑤（入門編）
14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税	44	課税標準⑥（入門編）
15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税	45	簡易課税制度①（入門編）
16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調	46	簡易課税制度②（入門編）
17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調	47	簡易課税制度③（入門編）
18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調	48	簡易課税制度④（入門編）
19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調	49	簡易課税制度⑤（入門編）
20	納税義務の免除の特例①（入門編）	50	簡易課税制度⑥（入門編）
21	納税義務の免除の特例②（入門編）	51	簡易課税制度⑦（入門編）
22	納税義務の免除の特例③（入門編）	52	簡易課税制度⑧（入門編）
23	納税義務の免除の特例④（入門編）	53	簡易課税制度⑨（入門編）
24	納税義務の免除の特例⑤（入門編）	54	簡易課税制度⑩（入門編）
25	納税義務の免除の特例⑥（入門編）	55	簡易課税制度⑪（入門編）
26	納税義務の免除の特例⑦（入門編）	56	簡易課税制度⑫（入門編）
27	納税義務の免除の特例⑧（入門編）	57	簡易課税制度⑬（入門編）
28	納税義務の免除の特例⑨（入門編）	58	簡易課税制度⑭（入門編）
29	納税義務の免除の特例⑩（入門編）	59	簡易課税制度⑮（入門編）
30	納税義務の免除の特例⑪（入門編）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	使用貸借により借り受けた宅地等(基礎)	31	地積規模の大きな宅地(基礎)
	2	使用貸借により貸し付けられた宅地等(基礎)	32	がけ地等を有する宅地(基礎)
	3	使用貸借により貸し付けられた家屋(基礎)	33	旗竿状の宅地等(基礎)
	4	小規模宅地等の減額①(基礎)	34	容積率の異なる宅地(基礎)
	5	小規模宅地等の減額②(基礎)	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地(基礎)
	6	小規模宅地等の減額③(基礎)	36	確認テスト②(理論)
	7	小規模宅地等の減額④(基礎)	37	私道の用に供されている宅地(基礎)
	8	小規模宅地等の減額⑤(基礎)	38	セットバックを必要とする宅地(基礎)
	9	小規模宅地等の減額⑥(基礎)	39	上場株式（権利落）(基礎)
	10	確認テスト①(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利(基礎)
	11	取引相場のない株式①(基礎)	41	宅地等の評価単位(基礎)
	12	取引相場のない株式②(基礎)	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)
	13	取引相場のない株式③(基礎)	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)
	14	取引相場のない株式④(基礎)	44	立木、立木の評価減(基礎)
	15	取引相場のない株式⑤(基礎)	45	配当期待権(基礎)
	16	取引相場のない株式⑥(基礎)	46	贈与税が課税される場合(基礎)
	17	取引相場のない株式⑦(基礎)	47	相続税が課税される場合(基礎)
	18	取引相場のない株式⑧(基礎)	48	負担付遺贈・贈与(基礎)
	19	取引相場のない株式⑨(基礎)	49	贈与税の非課税財産(基礎)
	20	取引相場のない株式⑩(基礎)	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	21	取引相場のない株式⑪(基礎)	51	契約者貸付金等がある場合の保険金(基礎)
	22	取引相場のない株式⑫(基礎)	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)
	23	取引相場のない株式⑬(基礎)	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(基礎)	54	証券投資信託受益証券(基礎)
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(基礎)	55	ゴルフ会員権(基礎)
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権(基礎)	56	不動産投資信託証券(基礎)
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(基礎)	57	措法７０の非課税(基礎)
	28	利用区分が異なる建物(基礎)	58	権利義務の承継(基礎)
	29	建築中の家屋(基礎)	59	贈与税の配偶者控除(基礎)
	30	不整形地(基礎)	60	確認テスト③(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	役員判定Ⅰ（入門）	31	保険料Ⅰ（入門）
2	役員判定Ⅱ（入門）	32	保険料Ⅱ（入門）
3	役員給与Ⅰ（入門）	33	設立事業年度Ⅰ（入門）
4	役員給与Ⅱ（入門）	34	設立事業年度Ⅱ（入門）
5	使用人給与Ⅰ（入門）	35	組織再編税制Ⅰ（入門）
6	使用人給与Ⅱ（入門）	36	組織再編税制Ⅱ（入門）
7	特定資産の買換えⅠ（入門）	37	工事の請負Ⅰ（入門）
8	特定資産の買換えⅡ（入門）	38	工事の請負Ⅱ（入門）
9	外国税額控除Ⅰ（入門）	39	修正申告Ⅰ（入門）
10	外国税額控除Ⅱ（入門）	40	修正申告Ⅱ（入門）
11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）	41	税効果会計Ⅰ（入門）
12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）	42	税効果会計Ⅱ（入門）
13	みなし配当金Ⅰ（入門）	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）
14	みなし配当金Ⅱ（入門）	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）
15	資本等取引Ⅰ（入門）	45	スピンオフ税制Ⅰ（入門）
16	資本等取引Ⅱ（入門）	46	スピンオフ税制Ⅱ（入門）
17	交換差益Ⅰ（入門）	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
18	交換差益Ⅱ（入門）	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
19	別表五㈡Ⅰ（入門）	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
20	別表五㈡Ⅱ（入門）	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
21	リース取引Ⅰ（入門）	51	地方法人税Ⅰ（入門）
22	リース取引Ⅱ（入門）	52	地方法人税Ⅱ（入門）
23	繰延資産Ⅰ（入門）	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
24	繰延資産Ⅱ（入門）	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
25	確定決算型Ⅰ（入門）	55	借地権等Ⅰ（入門）
26	確定決算型Ⅱ（入門）	56	借地権等Ⅱ（入門）
27	グループ法人税制Ⅰ（入門）	57	償還差損益Ⅰ（入門）
28	グループ法人税制Ⅱ（入門）	58	償還差損益Ⅱ（入門）
29	資産の評価損益Ⅰ（入門）	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
30	資産の評価損益Ⅱ（入門）	60	確認テスト（理論）

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税金Ⅰ①（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	税金Ⅰ②（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	税金Ⅰ③（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	税金Ⅰ④（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	社債Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	社債Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	社債Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）	49	社債Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）	60	確認テスト

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
18	その他有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①（入門編）
	2	課税仕入れ等の分類②（入門編）
	3	課税仕入れ等の分類③（入門編）
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編）
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	納税義務の免除の特例①（入門編）
	8	納税義務の免除の特例②（入門編）
	9	納税義務の免除の特例③（入門編）
	10	納税義務の免除の特例④（入門編）
	11	納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編）
	15	課税標準①（入門編）
	16	課税標準②（入門編）
	17	簡易課税制度①（入門編）
	18	簡易課税制度②（入門編）
	19	簡易課税制度③（入門編）
	20	簡易課税制度④（入門編）
	21	軽減税率①（入門編）
	22	軽減税率②（入門編）
	23	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	24	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	25	複数税率の場合の計算①（入門編）
	26	複数税率の場合の計算②（入門編）
	27	国等に対する特例①（入門編）
	28	国等に対する特例②（入門編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①(入門編)
	2	本支店会計Ⅰ②(入門編)
	3	本支店会計Ⅰ③(入門編)
	4	本支店会計Ⅰ④(入門編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)
	11	建設業会計Ⅰ①(入門編)
	12	建設業会計Ⅰ②(入門編)
	13	連結会計Ⅰ①(入門編)
	14	連結会計Ⅰ②(入門編)
	15	連結会計Ⅰ③(入門編)
	16	連結会計Ⅰ④(入門編)
	17	製造業会計Ⅰ①(入門編)
	18	製造業会計Ⅰ②(入門編)
	19	製造業会計Ⅰ③(入門編)
	20	製造業会計Ⅰ④(入門編)
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)
	25	繰延資産Ⅰ①(入門編)
	26	繰延資産Ⅰ②(入門編)
	27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)
	28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)
	29	ストック・オプションⅠ(入門編)
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**金利スワップ①(入門)**
	2	**金利スワップ②(入門)**
	3	**金利スワップ③(入門)**
	4	**金利スワップ④(入門)**
	5	**金利スワップ⑤(入門)**
	6	**資産及び負債の貸借対照表能力①(入門)**
	7	**資産及び負債の貸借対照表能力②(入門)**
	8	**資産及び負債の貸借対照表能力③(入門)**
	9	**資産及び負債の貸借対照表能力④(入門)**
	10	**資産及び負債の貸借対照表能力⑤(入門)**
	11	**投資のリスクからの解放①(入門)**
	12	**投資のリスクからの解放②(入門)**
	13	**投資のリスクからの解放③(入門)**
	14	**投資のリスクからの解放④(入門)**
	15	**投資のリスクからの解放⑤(入門)**
	16	**配分と評価①(入門)**
	17	**配分と評価②(入門)**
	18	**配分と評価③(入門)**
	19	**配分と評価④(入門)**
	20	**配分と評価⑤(入門)**
	21	**収益認識①(入門)**
	22	**収益認識②(入門)**
	23	**収益認識③(入門)**
	24	**収益認識④(入門)**
	25	**収益認識⑤(入門)**
	26	**組織再①(入門)**
	27	**組織再②(入門)**
	28	**組織再③(入門)**
	29	**組織再④(入門)**
	30	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	軽減税率①(入門編)
	2	軽減税率②(入門編)
	3	軽減税率③(入門編)
	4	軽減税率④(入門編)
	5	軽減税率⑤(入門編)
	6	軽減税率⑥(入門編)
	7	旧税率に関する経過措置①(入門編)
	8	旧税率に関する経過措置②(入門編)
	9	旧税率に関する経過措置③(入門編)
	10	旧税率に関する経過措置④(入門編)
	11	旧税率に関する経過措置⑤(入門編)
	12	旧税率に関する経過措置⑥(入門編)
	13	複数税率の場合の計算①(入門編)
	14	複数税率の場合の計算②(入門編)
	15	複数税率の場合の計算③(入門編)
	16	複数税率の場合の計算④(入門編)
	17	複数税率の場合の計算⑤(入門編)
	18	複数税率の場合の計算⑥(入門編)
	19	国等に対する特例①(入門編)
	20	国等に対する特例②(入門編)
	21	国等に対する特例③(入門編)
	22	国等に対する特例④(入門編)
	23	国等に対する特例⑤(入門編)
	24	国等に対する特例⑥(入門編)
	25	国等に対する特例⑦(入門編)
	26	国等に対する特例⑧(入門編)
	27	特殊項目①(事業承継があった場合の控除税額の調整等)(入門編)
	28	特殊項目②(前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点)(入門編)
	29	特殊項目③(税抜経理方式)(入門編)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎）
	2	未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎）
	3	相次相続控除（基礎）
	4	増改築等があった場合（基礎）
	5	結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）
	6	確認テスト①(理論)
	7	無道路地（基礎）
	8	定期借地権等（基礎）
	9	定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎）
	10	土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎）
	11	造成費相当額の算定（平坦地）（基礎）
	12	公社債（基礎）
	13	雇用主が保険料を負担している場合（基礎）
	14	保険金の評価（基礎）
	15	確認テスト②(理論)
	16	定期金に関する権利（基礎）
	17	保証期間付定期金に関する権利（基礎）
	18	契約に基づかない定期金に関する権利（基礎）
	19	財産の所在（基礎）
	20	贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎）
	21	相続税の外国税額控除（基礎）
	22	贈与税の外国税額控除（基礎）
	23	確認テスト③(理論)
	24	養子の子の応用的な取扱い（基礎）
	25	農地等の相続税の納税猶予（基礎）
	26	非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎）
	27	非上場株式の相続税の納税猶予（基礎）
	28	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎）
	29	個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎）
	30	確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　４回分の平均点100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	連結納税制度1（初級）
	2	連結納税制度2（初級）
	3	連結納税制度3（初級）
	4	連結納税制度4（初級）
	5	連結納税制度5（初級）
	6	連結納税制度6（初級）
	7	連結納税制度7（初級）
	8	連結納税制度8（初級）
	9	連結納税制度9（初級）
	10	連結納税制度10（初級）
	11	連結納税制度11（初級）
	12	連結納税制度12（初級）
	13	連結納税制度13（初級）
	14	連結納税制度14（初級）
	15	連結納税制度15（初級）
	16	連結納税制度16（初級）
	17	連結納税制度17（初級）
	18	連結納税制度18（初級）
	19	連結納税制度19（初級）
	20	連結納税制度20（初級）
	21	試験研究費の特別控除1（初級）
	22	試験研究費の特別控除2（初級）
	23	試験研究費の特別控除3（初級）
	24	試験研究費の特別控除4（初級）
	25	資産除去債務1（初級）
	26	資産除去債務2（初級）
	27	資産除去債務3（初級）
	28	解散税制1（初級）
	29	解散税制2（初級）
	30	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	現金預金Ⅱ①(入門編)	46	項目別答練②(入門編)
2	債権債務Ⅱ①(入門編)	47	項目別答練③(入門編)
3	商品売買Ⅱ①(入門編)	48	項目別答練④(入門編)
4	商品売買Ⅱ②(入門編)	49	項目別答練⑤(入門編)
5	商品売買Ⅱ③(入門編)	50	項目別答練⑥(入門編)
6	固定資産Ⅱ①(入門編)	51	基礎答練①(入門編)
7	固定資産Ⅱ②(入門編)	52	基礎答練②(入門編)
8	固定資産Ⅱ③(入門編)	53	基礎答練③(入門編)
9	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	54	基礎答練④(入門編)
10	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	55	基礎答練⑤(入門編)
11	退職給付会計Ⅱ③(入門編)	56	基礎答練⑥(入門編)
12	債権債務Ⅱ①(入門編)	57	基礎答練⑦(入門編)
13	債権債務Ⅱ②(入門編)	58	基礎答練⑧(入門編)
14	税金Ⅱ①(入門編)	59	基礎答練⑨(入門編)
15	社債Ⅱ①(入門編)	60	基礎答練⑩(入門編)
16	社債Ⅱ②(入門編)	61	応用答練①(入門編)
17	社債Ⅱ③(入門編)	62	応用答練②(入門編)
18	純資産会計Ⅱ①(入門編)	63	応用答練③(入門編)
19	純資産会計Ⅱ②(入門編)	64	応用答練④(入門編)
20	純資産会計Ⅱ③(入門編)	65	応用答練⑤(入門編)
21	有価証券Ⅱ①(入門編)	66	応用答練⑥(入門編)
22	有価証券Ⅱ②(入門編)	67	応用答練⑦(入門編)
23	有価証券Ⅱ③(入門編)	68	応用答練⑧(入門編)
24	外貨建会計Ⅱ①(入門編)	69	応用答練⑨(入門編)
25	外貨建会計Ⅱ②(入門編)	70	応用答練⑩(入門編)
26	リース会計Ⅱ①(入門編)	71	過去問演習①(入門編)
27	リース会計Ⅱ②(入門編)	72	過去問演習②(入門編)
28	試用販売Ⅱ①(入門編)	73	過去問演習③(入門編)
29	試用販売Ⅱ②(入門編)	74	過去問演習④(入門編)
30	割賦販売Ⅱ①(入門編)	75	過去問演習⑤(入門編)
31	割賦販売Ⅱ②(入門編)	76	過去問演習⑥(入門編)
32	割賦販売Ⅱ③(入門編)	77	過去問演習⑦(入門編)
33	未着品販売Ⅱ①(入門編)	78	過去問演習⑧(入門編)
34	未着品販売Ⅱ②(入門編)	79	過去問演習⑨(入門編)
35	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)	80	過去問演習⑩(入門編)
36	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)	81	問題演習実践①(入門編)
37	本支店会計Ⅱ①(入門編)	82	問題演習実践②(入門編)
38	本支店会計Ⅱ②(入門編)	83	問題演習実践③(入門編)
39	組織再編会計Ⅱ①(入門編)	84	問題演習実践④(入門編)
40	組織再編会計Ⅱ②(入門編)	85	問題演習実践⑤(入門編)
41	連結会計Ⅱ①(入門編)	86	問題演習実践⑥(入門編)
42	連結会計Ⅱ②(入門編)	87	問題演習実践⑦(入門編)
43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践⑧(入門編)
44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践⑨(入門編)
45	項目別答練①(入門編)	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	財務諸表論総まとめ①（入門）	46	総合問題対策③（入門）
	2	財務諸表論総まとめ①（入門）	47	総合問題対策④（入門）
	3	財務諸表論総まとめ②（入門）	48	総合問題対策④（入門）
	4	財務諸表論総まとめ②（入門）	49	総合問題対策⑤（入門）
	5	財務諸表論総まとめ③（入門）	50	総合問題対策⑤（入門）
	6	財務諸表論総まとめ③（入門）	51	総合問題対策⑥（入門）
	7	財務諸表論総まとめ④（入門）	52	総合問題対策⑥（入門）
	8	財務諸表論総まとめ④（入門）	53	総合問題対策⑦（入門）
	9	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	54	総合問題対策⑦（入門）
	10	財務諸表論総まとめ⑤（入門）	55	総合問題対策⑧（入門）
	11	財務諸表論総まとめ⑥（入門）	56	総合問題対策⑧（入門）
	12	財務諸表論総まとめ⑥（入門）	57	総合問題対策⑨（入門）
	13	財務諸表論総まとめ⑦（入門）	58	総合問題対策⑨（入門）
	14	財務諸表論総まとめ⑦（入門）	59	総合問題対策⑩（入門）
	15	財務諸表論総まとめ⑧（入門）	60	総合問題対策⑩（入門）
	16	財務諸表論総まとめ⑧（入門）	61	総合問題対策⑪（入門）
	17	財務諸表論総まとめ⑨（入門）	62	総合問題対策⑪（入門）
	18	財務諸表論総まとめ⑨（入門）	63	総合問題対策⑫（入門）
	19	財務諸表論総まとめ⑩（入門）	64	総合問題対策⑫（入門）
	20	財務諸表論総まとめ⑩（入門）	65	総合問題対策⑬（入門）
	21	財務諸表論総まとめ⑪（入門）	66	総合問題対策⑬（入門）
	22	財務諸表論総まとめ⑪（入門）	67	総合問題対策⑭（入門）
	23	財務諸表論総まとめ⑫（入門）	68	総合問題対策⑭（入門）
	24	財務諸表論総まとめ⑫（入門）	69	総合問題対策⑮（入門）
	25	財務諸表論総まとめ⑬（入門）	70	総合問題対策⑮（入門）
	26	財務諸表論総まとめ⑬（入門）	71	総合問題対策⑯（入門）
	27	財務諸表論総まとめ⑭（入門）	72	総合問題対策⑯（入門）
	28	財務諸表論総まとめ⑭（入門）	73	総合問題対策⑰（入門）
	29	財務諸表論総まとめ⑮（入門）	74	総合問題対策⑰（入門）
	30	財務諸表論総まとめ⑮（入門）	75	総合問題対策⑱（入門）
	31	財務諸表論総まとめ⑯（入門）	76	総合問題対策⑱（入門）
	32	財務諸表論総まとめ⑯（入門）	77	総合問題対策⑲（入門）
	33	財務諸表論総まとめ⑰（入門）	78	総合問題対策⑲（入門）
	34	財務諸表論総まとめ⑰（入門）	79	総合問題対策⑳（入門）
	35	財務諸表論総まとめ⑱（入門）	80	総合問題対策⑳（入門）
	36	財務諸表論総まとめ⑱（入門）	81	総合問題対策㉑（入門）
	37	財務諸表論総まとめ⑲（入門）	82	総合問題対策㉑（入門）
	38	財務諸表論総まとめ⑲（入門）	83	総合問題対策㉒（入門）
	39	財務諸表論総まとめ⑳（入門）	84	総合問題対策㉒（入門）
	40	財務諸表論総まとめ⑳（入門）	85	総合問題対策㉓（入門）
	41	総合問題対策①（入門）	86	総合問題対策㉓（入門）
	42	総合問題対策①（入門）	87	総合問題対策㉔（入門）
	43	総合問題対策②（入門）	88	総合問題対策㉔（入門）
	44	総合問題対策②（入門）	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策③（入門）	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科（１年制）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	１８０時間			
授業回数	９０回			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個別問題対策①（初級編）	46	総合問題対策⑲（初級編）
	2	個別問題対策②（初級編）	47	総合問題対策⑳（初級編）
	3	個別問題対策③（初級編）	48	総合問題対策㉑（初級編）
	4	個別問題対策④（初級編）	49	総合問題対策㉒（初級編）
	5	個別問題対策⑤（初級編）	50	総合問題対策㉓（初級編）
	6	個別問題対策⑥（初級編）	51	総合問題対策㉔（初級編）
	7	個別問題対策⑦（初級編）	52	総合問題対策㉕（初級編）
	8	個別問題対策⑧（初級編）	53	総合問題対策㉖（初級編）
	9	個別問題対策⑨（初級編）	54	総合問題対策㉗（初級編）
	10	個別問題対策⑩（初級編）	55	総合問題対策㉘（初級編）
	11	個別問題対策⑪（初級編）	56	総合問題対策㉙（初級編）
	12	個別問題対策⑫（初級編）	57	総合問題対策㉚（初級編）
	13	個別問題対策⑬（初級編）	58	総合問題対策㉛（初級編）
	14	個別問題対策⑭（初級編）	59	総合問題対策㉜（初級編）
	15	理論問題対策①（初級編）	60	総合問題対策㉝（初級編）
	16	理論問題対策②（初級編）	61	総合問題対策㉞（初級編）
	17	理論問題対策③（初級編）	62	総合問題対策㉟（初級編）
	18	理論問題対策④（初級編）	63	総合問題対策㊱（初級編）
	19	理論問題対策⑤（初級編）	64	総合問題対策㊲（初級編）
	20	理論問題対策⑥（初級編）	65	総合問題対策㊳（初級編）
	21	理論問題対策⑦（初級編）	66	総合問題対策㊴（初級編）
	22	理論問題対策⑧（初級編）	67	総合問題対策㊵（初級編）
	23	理論問題対策⑨（初級編）	68	総合問題対策㊶（初級編）
	24	理論問題対策⑩（初級編）	69	総合問題対策㊷（初級編）
	25	理論問題対策⑪（初級編）	70	総合問題対策㊸（初級編）
	26	理論問題対策⑫（初級編）	71	総合問題演習①（初級編）
	27	理論問題対策⑬（初級編）	72	総合問題演習①（初級編）
	28	総合問題対策①（初級編）	73	総合問題演習②（初級編）
	29	総合問題対策②（初級編）	74	総合問題演習②（初級編）
	30	総合問題対策③（初級編）	75	総合問題演習③（初級編）
	31	総合問題対策④（初級編）	76	総合問題演習③（初級編）
	32	総合問題対策⑤（初級編）	77	総合問題演習④（初級編）
	33	総合問題対策⑥（初級編）	78	総合問題演習④（初級編）
	34	総合問題対策⑦（初級編）	79	総合問題演習⑤（初級編）
	35	総合問題対策⑧（初級編）	80	総合問題演習⑤（初級編）
	36	総合問題対策⑨（初級編）	81	総合問題演習⑥（初級編）
	37	総合問題対策⑩（初級編）	82	総合問題演習⑥（初級編）
	38	総合問題対策⑪（初級編）	83	総合問題演習⑦（初級編）
	39	総合問題対策⑫（初級編）	84	総合問題演習⑦（初級編）
	40	総合問題対策⑬（初級編）	85	総合問題演習⑧（初級編）
	41	総合問題対策⑭（初級編）	86	総合問題演習⑧（初級編）
	42	総合問題対策⑮（初級編）	87	総合問題演習⑨（初級編）
	43	総合問題対策⑯（初級編）	88	総合問題演習⑨（初級編）
	44	総合問題対策⑰（初級編）	89	総合問題演習⑩（初級編）
	45	総合問題対策⑱（初級編）	90	総合問題演習⑩（初級編）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の理論　１０回分の平均点100％			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	相続税法総まとめ①（基礎編）	46	総合問題対策③（基礎編）
2	相続税法総まとめ①（基礎編）	47	総合問題対策④（基礎編）
3	相続税法総まとめ②（基礎編）	48	総合問題対策④（基礎編）
4	相続税法総まとめ②（基礎編）	49	総合問題対策⑤（基礎編）
5	相続税法総まとめ③（基礎編）	50	総合問題対策⑤（基礎編）
6	相続税法総まとめ③（基礎編）	51	総合問題対策⑥（基礎編）
7	相続税法総まとめ④（基礎編）	52	総合問題対策⑥（基礎編）
8	相続税法総まとめ④（基礎編）	53	総合問題対策⑦（基礎編）
9	相続税法総まとめ⑤（基礎編）	54	総合問題対策⑦（基礎編）
10	相続税法総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題対策⑧（基礎編）
11	相続税法総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題対策⑧（基礎編）
12	相続税法総まとめ⑥（基礎編）	57	総合問題対策⑨（基礎編）
13	相続税法総まとめ⑦（基礎編）	58	総合問題対策⑨（基礎編）
14	相続税法総まとめ⑦（基礎編）	59	総合問題対策⑩（基礎編）
15	相続税法総まとめ⑧（基礎編）	60	総合問題対策⑩（基礎編）
16	相続税法総まとめ⑧（基礎編）	61	総合問題対策⑪（基礎編）
17	相続税法総まとめ⑨（基礎編）	62	総合問題対策⑪（基礎編）
18	相続税法総まとめ⑨（基礎編）	63	総合問題対策⑫（基礎編）
19	相続税法総まとめ⑩（基礎編）	64	総合問題対策⑫（基礎編）
20	相続税法総まとめ⑩（基礎編）	65	総合問題対策⑬（基礎編）
21	相続税法総まとめ⑪（基礎編）	66	総合問題対策⑬（基礎編）
22	相続税法総まとめ⑪（基礎編）	67	総合問題対策⑭（基礎編）
23	相続税法総まとめ⑫（基礎編）	68	総合問題対策⑭（基礎編）
24	相続税法総まとめ⑫（基礎編）	69	総合問題対策⑮（基礎編）
25	相続税法総まとめ⑬（基礎編）	70	総合問題対策⑮（基礎編）
26	相続税法総まとめ⑬（基礎編）	71	総合問題対策⑯（基礎編）
27	相続税法総まとめ⑭（基礎編）	72	総合問題対策⑯（基礎編）
28	相続税法総まとめ⑭（基礎編）	73	総合問題対策⑰（基礎編）
29	相続税法総まとめ⑮（基礎編）	74	総合問題対策⑰（基礎編）
30	相続税法総まとめ⑮（基礎編）	75	総合問題対策⑱（基礎編）
31	相続税法総まとめ⑯（基礎編）	76	総合問題対策⑱（基礎編）
32	相続税法総まとめ⑯（基礎編）	77	総合問題対策⑲（基礎編）
33	相続税法総まとめ⑰（基礎編）	78	総合問題対策⑲（基礎編）
34	相続税法総まとめ⑰（基礎編）	79	総合問題対策⑳（基礎編）
35	相続税法総まとめ⑱（基礎編）	80	総合問題対策⑳（基礎編）
36	相続税法総まとめ⑱（基礎編）	81	総合問題対策㉑（基礎編）
37	相続税法総まとめ⑲（基礎編）	82	総合問題対策㉑（基礎編）
38	相続税法総まとめ⑲（基礎編）	83	総合問題対策㉒（基礎編）
39	相続税法総まとめ⑳（基礎編）	84	総合問題対策㉒（基礎編）
40	相続税法総まとめ⑳（基礎編）	85	総合問題対策㉓（基礎編）
41	総合問題対策①（基礎編）	86	総合問題対策㉓（基礎編）
42	総合問題対策①（基礎編）	87	総合問題対策㉔（基礎編）
43	総合問題対策②（基礎編）	88	総合問題対策㉔（基礎編）
44	総合問題対策②（基礎編）	89	総合問題対策㉕（基礎編）
45	総合問題対策③（基礎編）	90	総合問題対策㉕（基礎編）

成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題対策㉕の得点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	法人税法総合Ⅰ		
実務家教員			
学部・学科	ビジネス学科（１年制）		
履修年次	1年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択A		
授業方法	演習		
授業時間	１８０時間		
授業回数	９０回		
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。		
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る		
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総合問題対策1（初級）	46	総合問題対策46（初級）
	2 総合問題対策2（初級）	47	総合問題対策47（初級）
	3 総合問題対策3（初級）	48	総合問題対策48（初級）
	4 総合問題対策4（初級）	49	総合問題対策49（初級）
	5 総合問題対策5（初級）	50	総合問題対策50（初級）
	6 総合問題対策6（初級）	51	総合問題対策51（初級）
	7 総合問題対策7（初級）	52	総合問題対策52（初級）
	8 総合問題対策8（初級）	53	総合問題対策53（初級）
	9 総合問題対策9（初級）	54	総合問題対策54（初級）
	10 総合問題対策10（初級）	55	総合問題対策55（初級）
	11 総合問題対策11（初級）	56	総合問題対策56（初級）
	12 総合問題対策12（初級）	57	総合問題対策57（初級）
	13 総合問題対策13（初級）	58	総合問題対策58（初級）
	14 総合問題対策14（初級）	59	総合問題対策59（初級）
	15 総合問題対策15（初級）	60	総合問題対策60（初級）
	16 総合問題対策16（初級）	61	総合問題対策61（初級）
	17 総合問題対策17（初級）	62	総合問題対策62（初級）
	18 総合問題対策18（初級）	63	総合問題対策63（初級）
	19 総合問題対策19（初級）	64	総合問題対策64（初級）
	20 総合問題対策20（初級）	65	総合問題対策65（初級）
	21 総合問題対策21（初級）	66	総合問題対策66（初級）
	22 総合問題対策22（初級）	67	総合問題対策67（初級）
	23 総合問題対策23（初級）	68	総合問題対策68（初級）
	24 総合問題対策24（初級）	69	総合問題対策69（初級）
	25 総合問題対策25（初級）	70	総合問題対策70（初級）
	26 総合問題対策26（初級）	71	総合問題演習1（初級:計算）
	27 総合問題対策27（初級）	72	総合問題演習1（初級:理論）
	28 総合問題対策28（初級）	73	総合問題演習2（初級:計算）
	29 総合問題対策29（初級）	74	総合問題演習2（初級:理論）
	30 総合問題対策30（初級）	75	総合問題演習3（初級:計算）
	31 総合問題対策31（初級）	76	総合問題演習3（初級:理論）
	32 総合問題対策32（初級）	77	総合問題演習4（初級:計算）
	33 総合問題対策33（初級）	78	総合問題演習4（初級:理論）
	34 総合問題対策34（初級）	79	総合問題演習5（初級:計算）
	35 総合問題対策35（初級）	80	総合問題演習5（初級:理論）
	36 総合問題対策36（初級）	81	総合問題演習6（初級:計算）
	37 総合問題対策37（初級）	82	総合問題演習6（初級:理論）
	38 総合問題対策38（初級）	83	総合問題演習7（初級:計算）
	39 総合問題対策39（初級）	84	総合問題演習7（初級:理論）
	40 総合問題対策40（初級）	85	総合問題演習8（初級:計算）
	41 総合問題対策41（初級）	86	総合問題演習8（初級:理論）
	42 総合問題対策42（初級）	87	総合問題演習9（初級:計算）
	43 総合問題対策43（初級）	88	総合問題演習9（初級:理論）
	44 総合問題対策44（初級）	89	総合問題演習10（初級:計算）
	45 総合問題対策45（初級）	90	総合問題演習10（初級:理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習（初級:理論）で実施したテストのうち5回分の平均点100％		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(入門編)
	2	税効果会計Ⅰ②(入門編)
	3	税効果会計Ⅰ③(入門編)
	4	現在価値計算Ⅰ①(入門編)
	5	現在価値計算Ⅰ②(入門編)
	6	保険金Ⅰ①(入門編)
	7	保険金Ⅰ②(入門編)
	8	新株予約権付社債Ⅰ①(入門編)
	9	新株予約権付社債Ⅰ②(入門編)
	10	減損会計Ⅰ①(入門編)
	11	減損会計Ⅰ②(入門編)
	12	資産除去債務Ⅰ①(入門編)
	13	資産除去債務Ⅰ②(入門編)
	14	外貨建会計Ⅰ①(入門編)
	15	外貨建会計Ⅰ②(入門編)
	16	外貨建会計Ⅰ③(入門編)
	17	リース会計Ⅰ①(入門編)
	18	リース会計Ⅰ②(入門編)
	19	試用販売Ⅰ①(入門編)
	20	試用販売Ⅰ②(入門編)
	21	試用販売Ⅰ③(入門編)
	22	割賦販売Ⅰ①(入門編)
	23	割賦販売Ⅰ②(入門編)
	24	割賦販売Ⅰ③(入門編)
	25	未着品販売Ⅰ①(入門編)
	26	未着品販売Ⅰ②(入門編)
	27	未着品販売Ⅰ③(入門編)
	28	委託販売･受託販売Ⅰ①(入門編)
	29	委託販売･受託販売Ⅰ②(入門編)
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎）
	3	分配可能額①（入門・基礎）
	4	分配可能額②（入門・基礎）
	5	ストック・オプション①（入門・基礎）
	6	ストック・オプション②（入門・基礎）
	7	セール＆リースバック①（入門・基礎）
	8	セール＆リースバック②（入門・基礎）
	9	財務諸表等規則①（入門・基礎）
	10	財務諸表等規則②（入門・基礎）
	11	負債①（入門・基礎）
	12	負債②（入門・基礎）
	13	負債③（入門・基礎）
	14	純資産会計①（入門・基礎）
	15	純資産会計②（入門・基礎）
	16	純資産会計③（入門・基礎）
	17	企業結合会計①（入門・基礎）
	18	企業結合会計②（入門・基礎）
	19	企業結合会計③（入門・基礎）
	20	事業分離会計①（入門・基礎）
	21	事業分離会計②（入門・基礎）
	22	事業分離会計③（入門・基礎）
	23	四半期財務諸表①（入門・基礎）
	24	四半期財務諸表②（入門・基礎）
	25	ヘッジ会計①（入門・基礎）
	26	ヘッジ会計②（入門・基礎）
	27	包括利益①（入門・基礎）
	28	包括利益②（入門・基礎）
	29	包括利益③（入門・基礎）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	本支店会計Ⅰ①(入門編)	46	純資産会計Ⅱ②(入門編)
2	本支店会計Ⅰ②(入門編)	47	有価証券Ⅱ①(入門編)
3	本支店会計Ⅰ③(入門編)	48	有価証券Ⅱ②(入門編)
4	本支店会計Ⅰ④(入門編)	49	外貨建会計Ⅱ①(入門編)
5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)	50	外貨建会計Ⅱ②(入門編)
6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)	51	リース会計Ⅱ①(入門編)
7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)	52	リース会計Ⅱ②(入門編)
8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)	53	試用販売Ⅱ①(入門編)
9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)	54	試用販売Ⅱ②(入門編)
10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)	55	割賦販売Ⅱ①(入門編)
11	建設業会計Ⅰ①(入門編)	56	割賦販売Ⅱ②(入門編)
12	建設業会計Ⅰ②(入門編)	57	未着品販売Ⅱ①(入門編)
13	連結会計Ⅰ①(入門編)	58	未着品販売Ⅱ②(入門編)
14	連結会計Ⅰ②(入門編)	59	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)
15	連結会計Ⅰ③(入門編)	60	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)
16	連結会計Ⅰ④(入門編)	61	本支店会計Ⅱ①(入門編)
17	製造業会計Ⅰ①(入門編)	62	本支店会計Ⅱ②(入門編)
18	製造業会計Ⅰ②(入門編)	63	組織再編会計Ⅱ①(入門編)
19	製造業会計Ⅰ③(入門編)	64	組織再編会計Ⅱ②(入門編)
20	製造業会計Ⅰ④(入門編)	65	連結会計Ⅱ①(入門編)
21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)	66	連結会計Ⅱ②(入門編)
22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)
23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)
24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)	69	項目別答練①(入門編)
25	繰延資産Ⅰ①(入門編)	70	項目別答練②(入門編)
26	繰延資産Ⅰ②(入門編)	71	項目別答練③(入門編)
27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)	72	項目別答練④(入門編)
28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)	73	項目別答練⑤(入門編)
29	ストック・オプションⅠ①(入門編)	74	項目別答練⑥(入門編)
30	ストック・オプションⅠ②(入門編)	75	基礎答練①(入門編)
31	現金預金Ⅱ①(入門編)	76	基礎答練②(入門編)
32	債権債務Ⅱ①(入門編)	77	基礎答練③(入門編)
33	商品売買Ⅱ①(入門編)	78	応用答練①(入門編)
34	商品売買Ⅱ②(入門編)	79	応用答練②(入門編)
35	商品売買Ⅱ③(入門編)	80	応用答練③(入門編)
36	固定資産Ⅱ①(入門編)	81	過去問演習①(入門編)
37	固定資産Ⅱ②(入門編)	82	過去問演習②(入門編)
38	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	83	過去問演習③(入門編)
39	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	84	過去問演習④(入門編)
40	債権債務Ⅱ①(入門編)	85	過去問演習⑤(入門編)
41	債権債務Ⅱ②(入門編)	86	問題演習実践①(入門編)
42	税金Ⅱ①(入門編)	87	問題演習実践②(入門編)
43	社債Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践③(入門編)
44	社債Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践④(入門編)
45	純資産会計Ⅱ①(入門編)	90	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	１８０時間
授業回数	９０回
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	46	総合問題対策③（入門・基礎）
2	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	47	総合問題対策④（入門・基礎）
3	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	48	総合問題対策④（入門・基礎）
4	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	49	総合問題対策⑤（入門・基礎）
5	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	50	総合問題対策⑤（入門・基礎）
6	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	51	総合問題対策⑥（入門・基礎）
7	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	52	総合問題対策⑥（入門・基礎）
8	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	53	総合問題対策⑦（入門・基礎）
9	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	54	総合問題対策⑦（入門・基礎）
10	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	55	総合問題対策⑧（入門・基礎）
11	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	56	総合問題対策⑧（入門・基礎）
12	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	57	総合問題対策⑨（入門・基礎）
13	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	58	総合問題対策⑨（入門・基礎）
14	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	59	総合問題対策⑩（入門・基礎）
15	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	60	総合問題対策⑩（入門・基礎）
16	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	61	総合問題対策⑪（入門・基礎）
17	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	62	総合問題対策⑪（入門・基礎）
18	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	63	総合問題対策⑫（入門・基礎）
19	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	64	総合問題対策⑫（入門・基礎）
20	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	65	総合問題対策⑬（入門・基礎）
21	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	66	総合問題対策⑬（入門・基礎）
22	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	67	総合問題対策⑭（入門・基礎）
23	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	68	総合問題対策⑭（入門・基礎）
24	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	69	総合問題対策⑮（入門・基礎）
25	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	70	総合問題対策⑮（入門・基礎）
26	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	71	総合問題対策⑯（入門・基礎）
27	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	72	総合問題対策⑯（入門・基礎）
28	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	73	総合問題対策⑰（入門・基礎）
29	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	74	総合問題対策⑰（入門・基礎）
30	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	75	総合問題対策⑱（入門・基礎）
31	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	76	総合問題対策⑱（入門・基礎）
32	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	77	総合問題対策⑲（入門・基礎）
33	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	78	総合問題対策⑲（入門・基礎）
34	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	79	総合問題対策⑳（入門・基礎）
35	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	80	総合問題対策⑳（入門・基礎）
36	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	81	総合問題対策㉑（入門・基礎）
37	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	82	総合問題対策㉑（入門・基礎）
38	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	83	総合問題対策㉒（入門・基礎）
39	財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎）	84	総合問題対策㉒（入門・基礎）
40	財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎）	85	総合問題対策㉓（入門・基礎）
41	総合問題対策①（入門・基礎）	86	総合問題対策㉓（入門・基礎）
42	総合問題対策①（入門・基礎）	87	総合問題対策㉔（入門・基礎）
43	総合問題対策②（入門・基礎）	88	総合問題対策㉔（入門・基礎）
44	総合問題対策②（入門・基礎）	89	模擬試験(計算)
45	総合問題対策③（入門・基礎）	90	模擬試験(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	簿記の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

	1	簿記の概要Ⅰ①(応用編)	31	債権債務Ⅰ⑤(応用編)
	2	簿記の概要Ⅰ②(応用編)	32	債権債務Ⅰ⑥(応用編)
	3	簿記の概要Ⅰ③(応用編)	33	債権債務Ⅰ⑦(応用編)
	4	簿記の概要Ⅰ④(応用編)	34	債権債務Ⅰ⑧(応用編)
	5	現金預金Ⅰ①(応用編)	35	貸倒れⅠ①(応用編)
	6	現金預金Ⅰ②(応用編)	36	貸倒れⅠ②(応用編)
	7	現金預金Ⅰ③(応用編)	37	貸倒れⅠ③(応用編)
	8	現金預金Ⅰ④(応用編)	38	貸倒れⅠ④(応用編)
	9	債権債務Ⅰ①(応用編)	39	退職給付会計Ⅰ①(応用編)
	10	債権債務Ⅰ②(応用編)	40	退職給付会計Ⅰ②(応用編)
	11	債権債務Ⅰ③(応用編)	41	退職給付会計Ⅰ③(応用編)
	12	債権債務Ⅰ④(応用編)	42	退職給付会計Ⅰ④(応用編)
	13	商品売買Ⅰ①(応用編)	43	退職給付会計Ⅰ⑤(応用編)
	14	商品売買Ⅰ②(応用編)	44	税金Ⅰ①(応用編)
	15	商品売買Ⅰ③(応用編)	45	税金Ⅰ②(応用編)
	16	商品売買Ⅰ④(応用編)	46	税金Ⅰ③(応用編)
	17	商品売買Ⅰ⑤(応用編)	47	税金Ⅰ④(応用編)
	18	給料等Ⅰ①(応用編)	48	社債Ⅰ①(応用編)
	19	給料等Ⅰ②(応用編)	49	社債Ⅰ②(応用編)
	20	給料等Ⅰ③(応用編)	50	社債Ⅰ③(応用編)
	21	給料等Ⅰ④(応用編)	51	社債Ⅰ④(応用編)
	22	固定資産Ⅰ①(応用編)	52	純資産会計Ⅰ①(応用編)
	23	固定資産Ⅰ②(応用編)	53	純資産会計Ⅰ②(応用編)
	24	固定資産Ⅰ③(応用編)	54	純資産会計Ⅰ③(応用編)
	25	固定資産Ⅰ④(応用編)	55	純資産会計Ⅰ④(応用編)
	26	固定資産Ⅰ⑤(応用編)	56	有価証券Ⅰ①(応用編)
	27	ソフトウェアⅠ①(応用編)	57	有価証券Ⅰ②(応用編)
	28	ソフトウェアⅠ②(応用編)	58	有価証券Ⅰ③(応用編)
	29	ソフトウェアⅠ③(応用編)	59	有価証券Ⅰ④(応用編)
	30	ソフトウェアⅠ④(応用編)	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	税効果会計Ⅰ①(応用編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(応用編)
	2	税効果会計Ⅰ②(応用編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(応用編)
	3	税効果会計Ⅰ③(応用編)	33	リース会計Ⅰ①(応用編)
	4	税効果会計Ⅰ④(応用編)	34	リース会計Ⅰ②(応用編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(応用編)	35	リース会計Ⅰ③(応用編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(応用編)	36	リース会計Ⅰ④(応用編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(応用編)	37	リース会計Ⅰ⑤(応用編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(応用編)	38	リース会計Ⅰ⑥(応用編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(応用編)	39	試用販売Ⅰ①(応用編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(応用編)	40	試用販売Ⅰ②(応用編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(応用編)	41	試用販売Ⅰ③(応用編)
	12	保険金Ⅰ①(応用編)	42	試用販売Ⅰ④(応用編)
	13	保険金Ⅰ②(応用編)	43	試用販売Ⅰ⑤(応用編)
	14	保険金Ⅰ③(応用編)	44	試用販売Ⅰ⑥(応用編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(応用編)	45	割賦販売Ⅰ①(応用編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(応用編)	46	割賦販売Ⅰ②(応用編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(応用編)	47	割賦販売Ⅰ③(応用編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(応用編)	48	割賦販売Ⅰ④(応用編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(応用編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(応用編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(応用編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(応用編)
	21	減損会計Ⅰ①(応用編)	51	未着品販売Ⅰ①(応用編)
	22	減損会計Ⅰ②(応用編)	52	未着品販売Ⅰ②(応用編)
	23	減損会計Ⅰ③(応用編)	53	未着品販売Ⅰ③(応用編)
	24	減損会計Ⅰ④(応用編)	54	未着品販売Ⅰ④(応用編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(応用編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(応用編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(応用編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(応用編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(応用編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(応用編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(応用編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(応用編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(応用編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(応用編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(応用編)	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	総合問題論点の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

	1	本支店会計Ⅰ①(応用編)	31	製造業会計Ⅰ④(応用編)
	2	本支店会計Ⅰ②(応用編)	32	製造業会計Ⅰ⑤(応用編)
	3	本支店会計Ⅰ③(応用編)	33	製造業会計Ⅰ⑥(応用編)
	4	本支店会計Ⅰ④(応用編)	34	製造業会計Ⅰ⑦(応用編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(応用編)	35	キャッシュ･フロー計算書Ⅰ①(応用編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(応用編)	36	キャッシュ･フロー計算書Ⅰ②(応用編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(応用編)	37	キャッシュ･フロー計算書Ⅰ③(応用編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(応用編)	38	キャッシュ･フロー計算書Ⅰ④(応用編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(応用編)	39	キャッシュ･フロー計算書Ⅰ⑤(応用編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(応用編)	40	繰延資産Ⅰ①(応用編)
	11	組織再編会計Ⅰ⑤(応用編)	41	繰延資産Ⅰ②(応用編)
	12	組織再編会計Ⅰ⑥(応用編)	42	圧縮記帳Ⅰ①(応用編)
	13	組織再編会計Ⅰ⑦(応用編)	43	圧縮記帳Ⅰ②(応用編)
	14	建設業会計Ⅰ①(応用編)	44	ストック･オプションⅠ(応用編)
	15	建設業会計Ⅰ②(応用編)	45	商品売買Ⅱ①(応用編)
	16	建設業会計Ⅰ③(応用編)	46	商品売買Ⅱ②(応用編)
	17	建設業会計Ⅰ④(応用編)	47	固定資産Ⅱ①(応用編)
	18	建設業会計Ⅰ⑤(応用編)	48	固定資産Ⅱ②(応用編)
	19	建設業会計Ⅰ⑥(応用編)	49	退職給付会計Ⅱ①(応用編)
	20	建設業会計Ⅰ⑦(応用編)	50	退職給付会計Ⅱ②(応用編)
	21	連結会計Ⅰ①(応用編)	51	試用販売Ⅱ①(応用編)
	22	連結会計Ⅰ②(応用編)	52	試用販売Ⅱ②(応用編)
	23	連結会計Ⅰ③(応用編)	53	割賦販売Ⅱ①(応用編)
	24	連結会計Ⅰ④(応用編)	54	割賦販売Ⅱ②(応用編)
	25	連結会計Ⅰ⑤(応用編)	55	本支店会計Ⅱ①(応用編)
	26	連結会計Ⅰ⑥(応用編)	56	本支店会計Ⅱ②(応用編)
	27	連結会計Ⅰ⑦(応用編)	57	組織再編会計Ⅱ①(応用編)
	28	製造業会計Ⅰ①(応用編)	58	組織再編会計Ⅱ②(応用編)
	29	製造業会計Ⅰ②(応用編)	59	連結会計Ⅱ①(応用編)
	30	製造業会計Ⅰ③(応用編)	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	項目別答練①(入門編)	31	応用答練⑩(入門編)
	2	項目別答練②(入門編)	32	応用答練⑪(入門編)
	3	項目別答練③(入門編)	33	応用答練⑫(入門編)
	4	項目別答練④(入門編)	34	応用答練⑬(入門編)
	5	項目別答練⑤(入門編)	35	過去問演習①(入門編)
	6	項目別答練⑥(入門編)	36	過去問演習②(入門編)
	7	項目別答練⑦(入門編)	37	過去問演習③(入門編)
	8	項目別答練⑧(入門編)	38	過去問演習④(入門編)
	9	基礎答練①(入門編)	39	過去問演習⑤(入門編)
	10	基礎答練②(入門編)	40	過去問演習⑥(入門編)
	11	基礎答練③(入門編)	41	過去問演習⑦(入門編)
	12	基礎答練④(入門編)	42	過去問演習⑧(入門編)
	13	基礎答練⑤(入門編)	43	過去問演習⑨(入門編)
	14	基礎答練⑥(入門編)	44	過去問演習⑩(入門編)
	15	基礎答練⑦(入門編)	45	過去問演習⑪(入門編)
	16	基礎答練⑧(入門編)	46	過去問演習⑫(入門編)
	17	基礎答練⑨(入門編)	47	過去問演習⑬(入門編)
	18	基礎答練⑩(入門編)	48	問題演習実践①(入門編)
	19	基礎答練⑪(入門編)	49	問題演習実践②(入門編)
	20	基礎答練⑫(入門編)	50	問題演習実践③(入門編)
	21	基礎答練⑬(入門編)	51	問題演習実践④(入門編)
	22	応用答練①(入門編)	52	問題演習実践⑤(入門編)
	23	応用答練②(入門編)	53	問題演習実践⑥(入門編)
	24	応用答練③(入門編)	54	問題演習実践⑦(入門編)
	25	応用答練④(入門編)	55	問題演習実践⑧(入門編)
	26	応用答練⑤(入門編)	56	問題演習実践⑨(入門編)
	27	応用答練⑥(入門編)	57	問題演習実践⑩(入門編)
	28	応用答練⑦(入門編)	58	問題演習実践⑪(入門編)
	29	応用答練⑧(入門編)	59	問題演習実践⑫(入門編)
	30	応用答練⑨(入門編)	60	模擬試験

成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	総合問題対策①(初級編)	31	総合問題対策㉛(初級編)
2	総合問題対策②(初級編)	32	総合問題対策㉜(初級編)
3	総合問題対策③(初級編)	33	総合問題対策㉝(初級編)
4	総合問題対策④(初級編)	34	総合問題対策㉞(初級編)
5	総合問題対策⑤(初級編)	35	総合問題対策㉟(初級編)
6	総合問題対策⑥(初級編)	36	総合問題演習①(初級編)
7	総合問題対策⑦(初級編)	37	総合問題演習①(初級編)
8	総合問題対策⑧(初級編)	38	総合問題演習②(初級編)
9	総合問題対策⑨(初級編)	39	総合問題演習②(初級編)
10	総合問題対策⑩(初級編)	40	総合問題演習③(初級編)
11	総合問題対策⑪(初級編)	41	総合問題演習③(初級編)
12	総合問題対策⑫(初級編)	42	総合問題演習④(初級編)
13	総合問題対策⑬(初級編)	43	総合問題演習④(初級編)
14	総合問題対策⑭(初級編)	44	総合問題演習⑤(初級編)
15	総合問題対策⑮(初級編)	45	総合問題演習⑤(初級編)
16	総合問題対策⑯(初級編)		
17	総合問題対策⑰(初級編)		
18	総合問題対策⑱(初級編)		
19	総合問題対策⑲(初級編)		
20	総合問題対策⑳(初級編)		
21	総合問題対策㉑(初級編)		
22	総合問題対策㉒(初級編)		
23	総合問題対策㉓(初級編)		
24	総合問題対策㉔(初級編)		
25	総合問題対策㉕(初級編)		
26	総合問題対策㉖(初級編)		
27	総合問題対策㉗(初級編)		
28	総合問題対策㉘(初級編)		
29	総合問題対策㉙(初級編)		
30	総合問題対策㉚(初級編)		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の理論　５回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**簿記の概要Ⅰ①(基礎編)**
	2	**簿記の概要Ⅰ②(基礎編)**
	3	**簿記の概要Ⅰ③(基礎編)**
	4	**簿記の概要Ⅰ④(基礎編)**
	5	**現金預金Ⅰ①(基礎編)**
	6	**現金預金Ⅰ②(基礎編)**
	7	**現金預金Ⅰ③(基礎編)**
	8	**債権債務Ⅰ①(基礎編)**
	9	**債権債務Ⅰ②(基礎編)**
	10	**商品売買Ⅰ①(基礎編)**
	11	**商品売買Ⅰ②(基礎編)**
	12	**商品売買Ⅰ③(基礎編)**
	13	**給料等Ⅰ①(基礎編)**
	14	**給料等Ⅰ②(基礎編)**
	15	**確認テスト**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会計学の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス･財務諸表の基礎(基礎)**
	2	**個別注記表(基礎)**
	3	**現金及び預金(基礎)**
	4	**債権債務(基礎)**
	5	**関係会社概念(基礎)**
	6	**売上原価の算定(基礎)**
	7	**貸倒れ(基礎)**
	8	**給料等(基礎)**
	9	**その他の引当金(基礎)**
	10	**退職給付会計(基礎)**
	11	**有形固定資産(基礎)**
	12	**無形固定資産(基礎)**
	13	**株主資本(基礎)**
	14	**財務諸表論の基礎概念(基礎)**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論)　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス**
	2	**課税の対象①(初級編)**
	3	**課税の対象②(初級編)**
	4	**課税の対象③(初級編)**
	5	**課税の対象④(初級編)**
	6	**非課税①(初級編)**
	7	**非課税②(初級編)**
	8	**非課税③(初級編)**
	9	**非課税④(初級編)**
	10	**輸出免税等①(初級編)**
	11	**輸出免税等②(初級編)**
	12	**輸出免税等③(初級編)**
	13	**輸出免税等④(初級編)**
	14	**資産の譲渡等の時期(初級編)**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（基礎）
	3	相続税法と民法（基礎）
	4	相続人、代襲相続（基礎）
	5	養子の子の取扱い（基礎）
	6	相続の承認と放棄（基礎）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎）
	8	遺言による財産の取得（基礎）
	9	相続税の納税義務者（基礎）
	10	生命保険金等（基礎）
	11	相続税の非課税財産（基礎）
	12	相続税額の計算方法（基礎）
	13	生命保険金等の非課税金額（基礎）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス（中級）**
	2	**納税義務者（中級）**
	3	**課税所得の範囲（中級）**
	4	**交際費等の損金不算入Ⅰ（中級）**
	5	**減価償却Ⅰ（中級）**
	6	**減価償却Ⅱ（中級）**
	7	**減価償却Ⅲ（中級）**
	8	**受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級）**
	9	**寄附金の損金不算入Ⅰ（中級）**
	10	**租税公課等（中級）**
	11	**納税充当金Ⅰ（中級）**
	12	**納税充当金Ⅱ（中級）**
	13	**別表四の作成（中級）**
	14	**事業年度（中級）**
	15	**確認テスト（理論）**
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（初級編）
	3	課税の対象②（初級編）
	4	非課税①（初級編）
	5	非課税②（初級編）
	6	輸出免税等①（初級編）
	7	輸出免税等②（初級編）
	8	資産の譲渡等の時期（初級編）
	9	控除対象仕入税額①（初級編）
	10	控除対象仕入税額②（初級編）
	11	売上げに係る対価の返還等（初級編）
	12	貸倒れが生じた場合（初級編）
	13	課税仕入れの範囲①（初級編）
	14	課税仕入れの範囲②（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	税効果会計Ⅰ①(基礎編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(基礎編)
2	税効果会計Ⅰ②(基礎編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(基礎編)
3	税効果会計Ⅰ③(基礎編)	33	リース会計Ⅰ①(基礎編)
4	税効果会計Ⅰ④(基礎編)	34	リース会計Ⅰ②(基礎編)
5	税効果会計Ⅰ⑤(基礎編)	35	リース会計Ⅰ③(基礎編)
6	税効果会計Ⅰ⑥(基礎編)	36	リース会計Ⅰ④(基礎編)
7	税効果会計Ⅰ⑦(基礎編)	37	リース会計Ⅰ⑤(基礎編)
8	税効果会計Ⅰ⑧(基礎編)	38	リース会計Ⅰ⑥(基礎編)
9	現在価値計算Ⅰ①(基礎編)	39	試用販売Ⅰ①(基礎編)
10	現在価値計算Ⅰ②(基礎編)	40	試用販売Ⅰ②(基礎編)
11	現在価値計算Ⅰ③(基礎編)	41	試用販売Ⅰ③(基礎編)
12	保険金Ⅰ①(基礎編)	42	試用販売Ⅰ④(基礎編)
13	保険金Ⅰ②(基礎編)	43	試用販売Ⅰ⑤(基礎編)
14	保険金Ⅰ③(基礎編)	44	試用販売Ⅰ⑥(基礎編)
15	新株予約権付社債Ⅰ①(基礎編)	45	割賦販売Ⅰ①(基礎編)
16	新株予約権付社債Ⅰ②(基礎編)	46	割賦販売Ⅰ②(基礎編)
17	新株予約権付社債Ⅰ③(基礎編)	47	割賦販売Ⅰ③(基礎編)
18	新株予約権付社債Ⅰ④(基礎編)	48	割賦販売Ⅰ④(基礎編)
19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(基礎編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(基礎編)
20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(基礎編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(基礎編)
21	減損会計Ⅰ①(基礎編)	51	未着品販売Ⅰ①(基礎編)
22	減損会計Ⅰ②(基礎編)	52	未着品販売Ⅰ②(基礎編)
23	減損会計Ⅰ③(基礎編)	53	未着品販売Ⅰ③(基礎編)
24	減損会計Ⅰ④(基礎編)	54	未着品販売Ⅰ④(基礎編)
25	資産除去債務Ⅰ①(基礎編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(基礎編)
26	資産除去債務Ⅰ②(基礎編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(基礎編)
27	外貨建会計Ⅰ①(基礎編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(基礎編)
28	外貨建会計Ⅰ②(基礎編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(基礎編)
29	外貨建会計Ⅰ③(基礎編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(基礎編)
30	外貨建会計Ⅰ④(基礎編)	60	確認テスト

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	売買目的有価証券(基礎)	31	ゴルフ会員権(基礎)
2	満期保有目的の債券(基礎)	32	売価還元法(基礎)
3	子会社株式･関連会社株式(基礎)	33	製造業会計(基礎)
4	その他有価証券(基礎)	34	研究開発費(基礎)
5	ソフトウェア(基礎)	35	新株予約権(基礎)
6	法人税等･追徴還付(基礎)	36	キャッシュ･フロー計算書(基礎)
7	現在価値計算(基礎)	37	損益計算書総論(基礎)
8	社債(基礎)	38	貸借対照表総論(基礎)
9	利益剰余金(基礎)	39	資産総論(基礎)
10	自己株式(基礎)	40	棚卸資産に関する会計基準(基礎)
11	配当(基礎)	41	連続意見書(基礎)
12	外形基準、租税公課(基礎)	42	引当金(基礎)
13	源泉所得税、社会保険料(基礎)	43	会計観(基礎)
14	税効果会計(基礎)	44	金融商品(基礎)
15	税効果注記(基礎)	45	純資産会計①(基礎)
16	源泉所得税、社会保険料(基礎)	46	純資産会計②(基礎)
17	株主資本等変動計算書(基礎)	47	純資産会計③(基礎)
18	減損会計(基礎)	48	純資産会計④(基礎)
19	配当を受けた株主の処理(基礎)	49	純資産会計⑤(基礎)
20	圧縮記帳(基礎)	50	企業結合会計①(基礎)
21	外貨建取引(基礎)	51	企業結合会計②(基礎)
22	退職給付会計簡便法(基礎)	52	企業結合会計③(基礎)
23	繰延資産(基礎)	53	企業結合会計④(基礎)
24	為替予約(基礎)	54	企業結合会計⑤(基礎)
25	仕入･売上げの計上基準(基礎)	55	事業分離会計①(基礎)
26	消費税等(基礎)	56	事業分離会計②(基礎)
27	他勘定振替(基礎)	57	事業分離会計③(基礎)
28	外貨建有価証券(基礎)	58	事業分離会計④(基礎)
29	リース会計(基礎)	59	事業分離会計⑤(基礎)
30	証券投資信託(基礎)	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	控除対象仕入税額①(初級編)	31	納税義務の免除①(初級編)
2	控除対象仕入税額②(初級編)	32	納税義務の免除②(初級編)
3	控除対象仕入税額③(初級編)	33	納税義務の免除③(初級編)
4	控除対象仕入税額④(初級編)	34	納税義務の免除④(初級編)
5	控除対象仕入税額⑤(初級編)	35	納税義務の免除⑤(初級編)
6	控除対象仕入税額⑥(初級編)	36	国境を越えた役務の提供①(初級編)
7	売上げに係る対価の返還等①(初級編)	37	国境を越えた役務の提供②(初級編)
8	売上げに係る対価の返還等②(初級編)	38	国境を越えた役務の提供③(初級編)
9	貸倒れが生じた場合①(初級編)	39	国境を越えた役務の提供④(初級編)
10	貸倒れが生じた場合②(初級編)	40	国境を越えた役務の提供⑤(初級編)
11	課税仕入れの範囲①(初級編)	41	中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)
12	課税仕入れの範囲②(初級編)	42	中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)
13	課税仕入れの範囲③(初級編)	43	課税仕入れ等の分類①(初級編)
14	課税仕入れの範囲④(初級編)	44	課税仕入れ等の分類②(初級編)
15	課税仕入れ等の時期①(初級編)	45	課税仕入れ等の分類③(初級編)
16	課税仕入れ等の時期②(初級編)	46	課税仕入れ等の分類④(初級編)
17	課税仕入れ等の時期③(初級編)	47	課税仕入れ等の分類⑤(初級編)
18	課税仕入れ等の時期④(初級編)	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(初級編)
19	課税売上割合①(初級編)	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(初級編)
20	課税売上割合②(初級編)	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(初級編)
21	課税売上割合③(初級編)	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
22	課税売上割合④(初級編)	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
23	課税売上割合⑤(初級編)	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
24	課税売上割合⑥(初級編)	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
25	課税期間における課税売上高①(初級編)	55	納税義務の免除の特例①(初級編)
26	課税期間における課税売上高②(初級編)	56	納税義務の免除の特例②(初級編)
27	課税売上割合に準ずる割合①(初級編)	57	納税義務の免除の特例③(初級編)
28	課税売上割合に準ずる割合②(初級編)	58	納税義務の免除の特例④(初級編)
29	仕入れに係る対価の返還等①(初級編)	59	納税義務の免除の特例⑤(初級編)
30	仕入れに係る対価の返還等②(初級編)	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
4	相続時精算課税適用財産（基礎）等	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③(理論)
8	確認テスト①(理論)	38	取引相場のない株式①（基礎）
9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
10	特定納税義務者の債務控除（基礎）等	40	取引相場のない株式③（基礎）
11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）等	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
27	確認テスト②(理論)	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）　４回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業回数	６０回
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	貸倒損失Ⅰ(基礎)	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ(基礎)
2	貸倒損失Ⅱ(基礎)	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ(基礎)
3	貸倒引当金Ⅰ(基礎)	33	みなし配当金Ⅰ(基礎)
4	貸倒引当金Ⅱ(基礎)	34	みなし配当金Ⅱ(基礎)
5	欠損金Ⅰ(基礎)	35	資本等取引Ⅰ(基礎)
6	欠損金Ⅱ(基礎)	36	資本等取引Ⅱ(基礎)
7	外貨建取引Ⅰ(基礎)	37	交換差益Ⅰ(基礎)
8	外貨建取引Ⅱ(基礎)	38	交換差益Ⅱ(基礎)
9	有価証券Ⅰ(基礎)	39	交換差益Ⅲ(基礎)
10	有価証券Ⅱ(基礎)	40	別表五㈡Ⅰ(基礎)
11	収用等Ⅰ(基礎)	41	別表五㈡Ⅱ(基礎)
12	収用等Ⅱ(基礎)	42	別表五㈡Ⅲ(基礎)
13	所得税額控除Ⅰ(基礎)	43	別表五㈡Ⅳ(基礎)
14	所得税額控除Ⅱ(基礎)	44	リース取引Ⅰ(基礎)
15	国庫補助金等Ⅰ(基礎)	45	リース取引Ⅱ(基礎)
16	国庫補助金等Ⅱ(基礎)	46	リース取引Ⅲ(基礎)
17	別表五㈠の作成Ⅰ(基礎)	47	リース取引Ⅳ(基礎)
18	別表五㈠の作成Ⅱ(基礎)	48	繰延資産Ⅰ(基礎)
19	圧縮記帳Ⅰ(基礎)	49	繰延資産Ⅱ(基礎)
20	圧縮記帳Ⅱ(基礎)	50	繰延資産Ⅲ(基礎)
21	役員判定Ⅰ(基礎)	51	繰延資産Ⅳ(基礎)
22	役員判定Ⅱ(基礎)	52	確定決算型Ⅰ(基礎)
23	役員給与Ⅰ(基礎)	53	確定決算型Ⅱ(基礎)
24	役員給与Ⅱ(基礎)	54	確定決算型Ⅲ(基礎)
25	使用人給与Ⅰ(基礎)	55	確定決算型Ⅳ(基礎)
26	使用人給与Ⅱ(基礎)	56	グループ法人税制Ⅰ(基礎)
27	特定資産の買換えⅠ(基礎)	57	グループ法人税制Ⅱ(基礎)
28	特定資産の買換えⅡ(基礎)	58	資産の評価損益(基礎)
29	外国税額控除Ⅰ(基礎)	59	保険料(基礎)
30	外国税額控除Ⅱ(基礎)	60	確認テスト(理論)

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（初級編）
	2	課税仕入れ等の時期②（初級編）
	3	課税売上割合①（初級編）
	4	課税売上割合②（初級編）
	5	課税期間における課税売上高①（初級編）
	6	課税期間における課税売上高②（初級編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（初級編）
	10	納税義務の免除（初級編）
	11	国境を越えた役務の提供①（初級編）
	12	国境を越えた役務の提供②（初級編）
	13	国境を越えた役務の提供③（初級編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**固定資産Ⅰ①(基礎編)**
	2	**固定資産Ⅰ②(基礎編)**
	3	**ソフトウェアⅠ①(基礎編)**
	4	**債権債務Ⅰ①(基礎編)**
	5	**貸倒れⅠ①(基礎編)**
	6	**退職給付会計Ⅰ①(基礎編)**
	7	**退職給付会計Ⅰ②(基礎編)**
	8	**税金Ⅰ①(基礎編)**
	9	**社債Ⅰ①(基礎編)**
	10	**社債Ⅰ②(基礎編)**
	11	**純資産会計Ⅰ①(基礎編)**
	12	**純資産会計Ⅰ②(基礎編)**
	13	**有価証券Ⅰ①(基礎編)**
	14	**有価証券Ⅰ②(基礎編)**
	15	**確認テスト**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**会計上の変更及び誤謬の訂正②(基礎)**
	2	**分配可能額①(基礎)**
	3	**分配可能額②(基礎)**
	4	**分配可能額③(基礎)**
	5	**ストック・オプション①(基礎)**
	6	**ストック・オプション②(基礎)**
	7	**ストック・オプション③(基礎)**
	8	**セール＆リースバック①(基礎)**
	9	**セール＆リースバック②(基礎)**
	10	**財務諸表等規則①(基礎)**
	11	**財務諸表等規則②(基礎)**
	12	**負債①(基礎)**
	13	**負債②(基礎)**
	14	**確認テスト(理論)**
	15	**確認テスト**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)
	2	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	3	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	4	課税標準①(初級編)
	5	課税標準②(初級編)
	6	課税標準③(初級編)
	7	課税標準④(初級編)
	8	簡易課税制度①(初級編)
	9	簡易課税制度②(初級編)
	10	簡易課税制度③(初級編)
	11	簡易課税制度④(初級編)
	12	簡易課税制度⑤(初級編)
	13	簡易課税制度⑥(初級編)
	14	簡易課税制度⑦(初級編)
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（基礎）
	2	上場株式（権利落）（基礎）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）
	3	宅地等の評価単位（基礎）、契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎）
	4	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）
	5	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）
	6	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）
	7	贈与税が課税される場合（基礎）、相続税が課税される場合（基礎）
	8	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）
	9	私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（基礎）
	10	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）
	11	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）
	12	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）
	13	不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎）
	14	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**設立事業年度(応用)**
	2	**組織再編税制(応用)**
	3	**工事の請負(応用)**
	4	**修正申告(応用)**
	5	**税効果会計(応用)**
	6	**賃上げ･投資促進税制(応用)**
	7	**スピンオフ税制(応用)**
	8	**特定同族会社の特別税率(応用)**
	9	**適用除外事業者(応用)**
	10	**地方法人税(応用)**
	11	**外国子会社配当(応用)**
	12	**借地権等(応用)**
	13	**償還差損益(応用)**
	14	**未収還付税金(応用)**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①(初級編)
	2	課税仕入れ等の分類②(初級編)
	3	課税仕入れ等の分類③(初級編)
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例(初級編)
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	7	納税義務の免除の特例①(初級編)
	8	納税義務の免除の特例②(初級編)
	9	納税義務の免除の特例③(初級編)
	10	納税義務の免除の特例④(初級編)
	11	納税義務の免除の特例⑤(初級編)
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②(初級編)
	15	課税標準①(初級編)
	16	課税標準②(初級編)
	17	簡易課税制度①(初級編)
	18	簡易課税制度②(初級編)
	19	簡易課税制度③(初級編)
	20	簡易課税制度④(初級編)
	21	軽減税率①(初級編)
	22	軽減税率②(初級編)
	23	旧税率に関する経過措置①(初級編)
	24	旧税率に関する経過措置②(初級編)
	25	複数税率の場合の計算①(初級編)
	26	複数税率の場合の計算②(初級編)
	27	国等に対する特例①(初級編)
	28	国等に対する特例②(初級編)
	29	特殊項目③(税抜経理方式)(初級編)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（初級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（初級）
	3	強制換価手続（初級）
	4	担保の種類（初級）
	5	滞納処分の概要（初級）
	6	国税に優先する権利（初級）
	7	国税相互間の優先関係（初級）
	8	財産の調査（初級）
	9	最優先される被担保債権（初級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（初級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（初級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（初級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（初級）
	14	譲受前にある担保権（初級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（初級）
	16	差押の制限等、解除（初級）
	17	差押の共通手続（初級）
	18	第三者からの差押換え（初級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（初級）
	20	相続人からの差押換え（初級）
	21	動産又は有価証券の差押え（初級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（初級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（初級）
	24	国税徴収法第26条の計算（初級）
	25	債権の差押え（初級）
	26	不動産等の差押え（初級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（初級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（初級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（初級）
	30	確認テスト（初級）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	１年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（基礎）	31	総合理論対策１（基礎）
2	交付要求及び督促時効（基礎）	32	総合理論対策２（基礎）
3	参加差押え（基礎）	33	総合理論対策３（基礎）
4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（基礎）	34	総合理論対策４（基礎）
5	換価配当（基礎）	35	総合理論対策５（基礎）
6	担保のための仮登記（基礎）	36	総合理論対策６（基礎）
7	物上代位権との調整（基礎）	37	総合理論対策７（基礎）
8	納期限未到来の納税の猶予（基礎）	38	総合理論対策８（基礎）
9	災害等による一般の納税の猶予（基礎）	39	総合理論対策９（基礎）
10	換価の猶予（基礎）	40	総合問題演習１（基礎）
11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（基礎）	41	総合問題演習１（基礎）
12	納税の猶予の効果、取消、短縮（基礎）	42	総合問題演習２（基礎）
13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（基礎）	43	総合問題演習２（基礎）
14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（基礎）	44	総合問題演習３（基礎）
15	国税の担保（基礎）	45	総合問題演習３（基礎）
16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（基礎）		
17	保全措置（基礎）		
18	滞納処分の停止（基礎）		
19	納付委託・弁済委託（基礎）		
20	第二次納税義務（通則）（基礎）		
21	第二次納税義務（人的限度）（基礎）		
22	第二次納税義務（物的限度）（基礎）		
23	不服申立（基礎）		
24	滞納処分費（基礎）		
25	納付義務の承継（基礎）		
26	質権及び抵当権の優先額の限度（基礎）		
27	増額登記（基礎）		
28	質権の証明と優先権行使の否認（基礎）		
29	国税徴収法第26条準用（基礎）		
30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（基礎）		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（入門）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（入門）
	3	強制換価手続（入門）
	4	担保の種類（入門）
	5	滞納処分の概要（入門）
	6	国税に優先する権利（入門）
	7	国税相互間の優先関係（入門）
	8	財産の調査（入門）
	9	最優先される被担保債権（入門）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（入門）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（入門）
	12	不動産賃貸の先取特権等（入門）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（入門）
	14	譲受前にある担保権（入門）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（入門）
	16	差押の制限等、解除（入門）
	17	差押の共通手続（入門）
	18	第三者からの差押換え（入門）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（入門）
	20	相続人からの差押換え（入門）
	21	動産又は有価証券の差押え（入門）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（入門）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（入門）
	24	国税徴収法第26条の計算（入門）
	25	債権の差押え（入門）
	26	不動産等の差押え（入門）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（入門）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（入門）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（入門）
	30	確認テスト（入門）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例(初級)	31	総合理論対策1(初級)
2	交付要求及び督促時効(初級)	32	総合理論対策2(初級)
3	参加差押え(初級)	33	総合理論対策3(初級)
4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係(初級)	34	総合理論対策4(初級)
5	換価配当(初級)	35	総合理論対策5(初級)
6	担保のための仮登記(初級)	36	総合理論対策6(初級)
7	物上代位権との調整(初級)	37	総合理論対策7(初級)
8	納期限未到来の納税の猶予(初級)	38	総合理論対策8(初級)
9	災害等による一般の納税の猶予(初級)	39	総合理論対策9(初級)
10	換価の猶予(初級)	40	総合問題演習1(初級)
11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予(初級)	41	総合問題演習1(初級)
12	納税の猶予の効果、取消、短縮(初級)	42	総合問題演習2(初級)
13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税(初級)	43	総合問題演習2(初級)
14	保証人に対する滞納処分(法定納期限等)(初級)	44	総合問題演習3(初級)
15	国税の担保(初級)	45	総合問題演習3(初級)
16	差押効力(果実・保険金)、滞納処分の引継(初級)		
17	保全措置(初級)		
18	滞納処分の停止(初級)		
19	納付委託・弁済委託(初級)		
20	第二次納税義務(通則)(初級)		
21	第二次納税義務(人的限度)(初級)		
22	第二次納税義務(物的限度)(初級)		
23	不服申立(初級)		
24	滞納処分費(初級)		
25	納付義務の承継(初級)		
26	質権及び抵当権の優先額の限度(初級)		
27	増額登記(初級)		
28	質権の証明と優先権行使の否認(初級)		
29	国税徴収法第26条準用(初級)		
30	差押禁止財産(給料等の差押禁止額の計算)(初級)		

成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（中級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（中級）
	3	強制換価手続（中級）
	4	担保の種類（中級）
	5	滞納処分の概要（中級）
	6	国税に優先する権利（中級）
	7	国税相互間の優先関係（中級）
	8	財産の調査（中級）
	9	最優先される被担保債権（中級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（中級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（中級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（中級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（中級）
	14	譲受前にある担保権（中級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（中級）
	16	差押の制限等、解除（中級）
	17	差押の共通手続（中級）
	18	第三者からの差押換え（中級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（中級）
	20	相続人からの差押換え（中級）
	21	動産又は有価証券の差押え（中級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（中級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（中級）
	24	国税徴収法第26条の計算（中級）
	25	債権の差押え（中級）
	26	不動産等の差押え（中級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（中級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（中級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（中級）
	30	確認テスト（中級）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（応用）	31	総合理論対策１（応用）
2	交付要求及び督促時効（応用）	32	総合理論対策２（応用）
3	参加差押え（応用）	33	総合理論対策３（応用）
4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（応用）	34	総合理論対策４（応用）
5	換価配当（応用）	35	総合理論対策５（応用）
6	担保のための仮登記（応用）	36	総合理論対策６（応用）
7	物上代位権との調整（応用）	37	総合理論対策７（応用）
8	納期限未到来の納税の猶予（応用）	38	総合理論対策８（応用）
9	災害等による一般の納税の猶予（応用）	39	総合理論対策９（応用）
10	換価の猶予（応用）	40	総合問題演習１（応用）
11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（応用）	41	総合問題演習１（応用）
12	納税の猶予の効果、取消、短縮（応用）	42	総合問題演習２（応用）
13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（応用）	43	総合問題演習２（応用）
14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（応用）	44	総合問題演習３（応用）
15	国税の担保（応用）	45	総合問題演習３（応用）
16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（応用）		
17	保全措置（応用）		
18	滞納処分の停止（応用）		
19	納付委託・弁済委託（応用）		
20	第二次納税義務（通則）（応用）		
21	第二次納税義務（人的限度）（応用）		
22	第二次納税義務（物的限度）（応用）		
23	不服申立（応用）		
24	滞納処分費（応用）		
25	納付義務の承継（応用）		
26	質権及び抵当権の優先額の限度（応用）		
27	増額登記（応用）		
28	質権の証明と優先権行使の否認（応用）		
29	国税徴収法第26条準用（応用）		
30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（応用）		

成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（基礎）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分（基礎）
	3	強制換価手続（基礎）
	4	担保の種類（基礎）
	5	滞納処分の概要（基礎）
	6	国税に優先する権利（基礎）
	7	国税相互間の優先関係（基礎）
	8	財産の調査（基礎）
	9	最優先される被担保債権（基礎）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎）
	12	不動産賃貸の先取特権等（基礎）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（基礎）
	14	譲受前にある担保権（基礎）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎）
	16	差押の制限等、解除（基礎）
	17	差押の共通手続（基礎）
	18	第三者からの差押換え（基礎）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（基礎）
	20	相続人からの差押換え（基礎）
	21	動産又は有価証券の差押え（基礎）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（基礎）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎）
	24	国税徴収法第26条の計算（基礎）
	25	債権の差押え（基礎）
	26	不動産等の差押え（基礎）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎）
	30	確認テスト（基礎）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	商品売買総論
	2	商品売買の記帳方法
	3	商品有高帳の記帳
	4	返品・値引・割戻の処理
	5	割引の処理
	6	原価率等
	7	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理
	8	他勘定振替高
	9	棚卸資産の範囲
	10	棚卸資産の期末評価
	11	棚卸減耗損
	12	商品評価損
	13	売価還元法
	14	トレーディング目的で保有する棚卸資産
	15	巻末総合問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	管理会計論総論
	2	管理会計論の範囲
	3	原価計算の本質・意義
	4	原価計算の基本思考
	5	原価計算の目的
	6	費目別計算総論
	7	原価の分類
	8	材料費の計算
	9	材料費の分類
	10	労務費の計算
	11	労務費の計算
	12	経費の計算
	13	経費の分類
	14	製造間接費の計算
	15	製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	現金
	2	当座預金
	3	割引現在価値の概要
	4	現価係数
	5	年金現価係数
	6	売掛金・買掛金
	7	その他の債権・債務
	8	前払費用
	9	未払費用
	10	前受収益
	11	未収収益
	12	手形総論
	13	約束手形
	14	為替手形と偶発債務
	15	手形の裏書譲渡
	16	手形の割引
	17	不渡手形
	18	手形の更改
	19	営業外手形
	20	金融手形（手形借入金・手形貸付金）
	21	売上債権に含まれる金利部分の会計処理
	22	貸倒損失
	23	貸倒引当金の設定
	24	貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し
	25	貸倒れ処理済債権の回収
	26	手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入
	27	相殺適状
	28	貸倒見積高の算定（一般債権）
	29	貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権）
	30	貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計の意義
	2	資本循環と財務諸表
	3	財務会計と管理会計
	4	会計責任説と利害調整機能
	5	意思決定有用性説と情報提供機能
	6	利益の性格と財務会計の機能
	7	会社法会計
	8	金融商品取引法会計
	9	単体開示の簡素化
	10	企業会計原則
	11	企業会計基準
	12	会計基準の国際的コンバージェンス
	13	指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い
	14	米国基準の任意適用
	15	原則主義と細則主義
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	配賦基準
	2	製造間接費の実際配賦
	3	製造間接費の予定配賦
	4	製造間接費予算
	5	配賦差異の算定
	6	固定予算
	7	公式法変動予算
	8	実査法変動予算
	9	部門別計算の意義・目的
	10	原価部門の設定
	11	実際配賦（第１次集計）
	12	実際配賦（第２次集計）
	13	実際配賦（第３次集計）
	14	予定配賦
	15	予定配賦率の算定・予定配賦額の算定
	16	製造部門費配賦差異の算定
	17	補助部門費の配賦
	18	配賦基準（単一基準配賦法）
	19	配賦基準（複数基準配賦法）
	20	配賦金額（実際発生額）
	21	配賦金額（予定配賦額）
	22	配賦金額（予算許容額）
	23	個別原価計算総論
	24	製造指図書と原価計算表
	25	完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	26	単純個別原価計算
	27	ロット別個別原価計算
	28	部門別個別原価計算の意義
	29	個別原価計算における仕損の処理①
	30	個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	個人企業と共同作業
	2	会社の概念
	3	法人性に関する諸問題
	4	4種類の会社
	5	株式会社の分類
	6	株式会社の本質的特徴
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度
	9	会社設立に関する立法主義
	10	株式会社の設立手続きの流れ
	11	株式会社の設立の方法
	12	発起人の意義
	13	発起人の資格
	14	発起人の数
	15	定款の意義
	16	定款の作成
	17	定款の記載・記録事項
	18	定款の備置き、閲覧・謄写
	19	発起設立
	20	募集設立
	21	設立登記の手続き
	22	設立登記の効力
	23	変態設立事項に関する規制（規制の概要）
	24	変態設立事項に関する規制（現物出資）
	25	変態設立事項に関する規制（財産引受け）
	26	変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）
	27	変態設立事項に関する規制（設立費用）
	28	設立無効の意義
	29	設立無効原因
	30	設立無効の訴えの制度
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査とは
	2	監査の分類
	3	公認会計士の監査領域
	4	財務諸表の監査の必要性
	5	財務諸表の監査の機能
	6	監査の固有の限界
	7	二重責任の原則
	8	財務諸表の作成責任
	9	財務諸表の作成基準
	10	監査人
	11	監査業務の一年の流れ
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠
	13	監査手続き（監査技術）
	14	リスク・アプローチ
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題　（初級編）①
	5	個別基礎問題　（初級編）②
	6	個別基礎問題　（初級編）③
	7	個別基礎問題　（初級編）④
	8	個別基礎問題　（初級編）⑤
	9	個別基礎問題　（初級編）⑥
	10	個別基礎問題　（初級編）⑦
	11	個別基礎問題　（初級編）⑧
	12	個別基礎問題　（初級編）⑨
	13	個別基礎問題　（初級編）⑩
	14	個別基礎問題　（初級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題　（初級編）①
	2	計算基礎問題　（初級編）②
	3	計算基礎問題　（初級編）③
	4	計算基礎問題　（初級編）④
	5	計算基礎問題　（初級編）⑤
	6	計算基礎問題　（初級編）⑥
	7	計算基礎問題　（初級編）⑦
	8	計算基礎問題　（初級編）⑧
	9	計算基礎問題　（初級編）⑨
	10	計算基礎問題　（初級編）⑩
	11	計算基礎問題　（初級編）⑪
	12	計算基礎問題　（初級編）⑫
	13	計算基礎問題　（初級編）⑬
	14	計算基礎問題　（初級編）⑭
	15	計算基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題　（初級編）①
	2	計算基礎問題　（初級編）②
	3	計算基礎問題　（初級編）③
	4	計算基礎問題　（初級編）④
	5	計算基礎問題　（初級編）⑤
	6	計算基礎問題　（初級編）⑥
	7	計算基礎問題　（初級編）⑦
	8	計算基礎問題　（初級編）⑧
	9	計算基礎問題　（初級編）⑨
	10	計算基礎問題　（初級編）⑩
	11	計算基礎問題　（初級編）⑪
	12	計算基礎問題　（初級編）⑫
	13	計算基礎問題　（初級編）⑬
	14	計算基礎問題　（初級編）⑭
	15	計算基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）①
	2	財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）①
	3	管理会計　択一式応用問題　（初級編）①
	4	企業法　択一式応用問題　（初級編）①
	5	監査論　択一式応用問題　（初級編）①
	6	財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）②
	7	財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）②
	8	管理会計　択一式応用問題　（初級編）②
	9	企業法　択一式応用問題　（初級編）②
	10	監査論　択一式応用問題　（初級編）②
	11	財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）③
	12	財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）③
	13	管理会計　択一式応用問題　（初級編）③
	14	企業法　択一式応用問題　（初級編）③
	15	監査論　択一式応用問題　（初級編）③
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株式の意義等
	2	株主の権利・義務
	3	株主平等原則
	4	株式の譲渡
	5	自己株式の取得・処分等の制限
	6	子会社による親会社株式の取得
	7	株券
	8	株主名簿
	9	株式担保
	10	株式振替制度
	11	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	12	端数の処理
	13	単元株制度
	14	株主等売渡請求の概要
	15	株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	IT（情報技術）
	2	監査契約に係る予備的な活動
	3	監査計画
	4	監査証拠の入手方法
	5	監査上の重要性
	6	特別な検討を必要とするリスク
	7	関連当事者との関係及び取引
	8	会計上の見積り
	9	財務諸表監査における不正の検討
	10	監査における不正リスク対応基準
	11	財務諸表監査における法令の検討
	12	グループ監査
	13	内部監査の利用
	14	専門家の業務の利用
	15	監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）
	3	減価償却（普通償却）
	4	租税公課及び納税充当金
	5	受取配当等の益金不算入
	6	繰延資産（概要）
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入
	8	有価証券
	9	所得税額控除（原則法）
	10	寄附金の損金不算入
	11	減価償却（特別償却・概要）
	12	特別償却準備金
	13	リース取引
	14	評価損益
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	投資理論の基礎知識
	2	最適なポートフォリオの選択B
	3	資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）
	4	債券評価
	5	裁定取引と効率的市場
	6	マルチファクターモデルと行動ファイナンス
	7	企業財務論の目的
	8	資本コスト
	9	最適資本構成
	10	プロジェクトの評価
	11	配当政策（ペイアウト政策その１）
	12	自社株買い（ペイアウト政策その２）
	13	財務情報分析
	14	M&Aにおける企業価値評価
	15	企業価値評価（バリエーション）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得と各種所得の金額の計算（総測）
	3	減価償却
	4	課税標準・課税所得金額の計算
	5	所得控除額の計算
	6	納税税額の計算（総則）
	7	申告・納付
	8	源泉徴収
	9	有価証券に係る課税の特例
	10	消費税法の概要
	11	課税の対象
	12	非課税
	13	輸出免税等
	14	課税標準
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
	16	記述式基礎問題　（初級編）⑯
	17	記述式基礎問題　（初級編）⑰
	18	記述式基礎問題　（初級編）⑱
	19	記述式基礎問題　（初級編）⑲
	20	記述式基礎問題　（初級編）⑳
	21	記述式基礎問題　（初級編）㉑
	22	記述式基礎問題　（初級編）㉒
	23	記述式基礎問題　（初級編）㉓
	24	記述式基礎問題　（初級編）㉔
	25	記述式基礎問題　（初級編）㉕
	26	記述式基礎問題　（初級編）㉖
	27	記述式基礎問題　（初級編）㉗
	28	記述式基礎問題　（初級編）㉘
	29	記述式基礎問題　（初級編）㉙
	30	記述式基礎問題　（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簡易的な計算問題によりファイナンス分野の知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	計算問題を中心に法人税法に関する重要論点のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	

授業計画				
	1	有価証券総論	31	減価償却（級数法）
	2	株式に係る期中処理	32	減価償却（生産高比例法）
	3	公社債に係る期中処理	33	資本的支出と収益的支出
	4	有価証券の分類と評価	34	総合償却
	5	親会社株式	35	売却
	6	約定日基準	36	除却
	7	修正受渡日基準	37	下取り買替え
	8	デリバティブ取引の概要	38	圧縮記帳（直接減額方式）
	9	先物取引	39	臨時損失
	10	オプション取引	40	保険差益
	11	スワップ取引	41	特別目的会社を活用した不動産の流動化
	12	ヘッジ会計の概要	42	巻末総合問題演習①
	13	繰延ヘッジ	43	巻末総合問題演習②
	14	時価ヘッジ	44	巻末総合問題演習③
	15	債権譲渡	45	巻末総合問題演習④
	16	ローン・パーティシペーション		
	17	デット・アサンプション		
	18	デット・エクイティ・スワップ		
	19	ゴルフ会員権		
	20	有形固定資産総論		
	21	取得原価の決定（購入）		
	22	取得原価の決定（時価建設）		
	23	取得原価の決定（現物出資）		
	24	取得原価の決定（交換）		
	25	取得原価の決定（贈与）		
	26	減価償却の概要		
	27	減価償却（定額法）		
	28	減価償却（旧定率法）		
	29	減価償却（200％定率法）		
	30	減価償却（250％定額法）		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計基準を設定するアプローチ
	2	概念フレームワークの公表
	3	財務報告の目的
	4	会計情報の質的特性
	5	財務諸表の構成要素
	6	財務諸表における認識と測定
	7	実現主義
	8	発生主義
	9	費用収益対応の原則
	10	収支額基準
	11	実現可能性基準
	12	原価主義
	13	時価主義
	14	割引原価主義
	15	費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	総合原価計算総論
	2	総合原価計算
	3	直接材料費と加工費
	4	仕掛品の完成品換算
	5	総合原価計算の種類
	6	単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義）
	7	単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法）
	8	単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理）
	9	単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理）
	10	単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理）
	11	工程別総合原価計算の処理
	12	工程別計算の計算手順（累加法）
	13	工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法）
	14	予定振替原価の利用
	15	追加原材料の意義
	16	追加原材料（増量しない場合）
	17	組別総合原価計算の意義
	18	組別総合原価計算の手続
	19	等級別総合原価計算の意義
	20	完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法）
	21	当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法）
	22	連産品
	23	連結原価（結合原価）の按分
	24	連産品を副産物とみなす場合の計算
	25	連結原価（結合原価）を按分する理由
	26	授業内演習①
	27	授業内演習②
	28	授業内演習③
	29	授業内演習④
	30	授業内演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方をを習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	総説ー株式会社の機関設計
	2	公開会社の機関構造の特色
	3	株主総会
	4	取締役
	5	善管注意義務と忠実義務
	6	競業避止義務
	7	利益相反取引
	8	取締役の責任
	9	取締役の第三者に対する責任
	10	取締役会の意義・設置
	11	取締役会の権限
	12	代表取締役
	13	監査役
	14	監査役会
	15	会計参与
	16	会計監査人
	17	指名委員会等設置会社
	18	監査等委員会設置会社
	19	募集株式の発行等
	20	募集事項の決定
	21	募集事項の決定
	22	出資の履行等
	23	募集株式の発行等の効力発生等
	24	新株予約権
	25	社債の意義
	26	社債と株式の異同
	27	社債の発行
	28	社債の管理
	29	社債の譲渡
	30	利息の支払・償還
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査の品質管理
	2	監査人の交代（監査事務所間の交代）
	3	監査役等とのコミュニケーション
	4	内部統制の不備に関するコミュニケーション
	5	監査調書
	6	監査意見の内容
	7	財務諸表の適正性
	8	監査報告書
	9	無限定適正意見の場合
	10	除外事項付意見の場合
	11	個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見
	12	追記情報の意義
	13	追記情報と保証機能
	14	比較情報
	15	監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）①
	2	財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）①
	3	管理会計　択一式総合問題　（初級編）①
	4	企業法　択一式総合問題　（初級編）①
	5	監査論　択一式総合問題　（初級編）①
	6	財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）②
	7	財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）②
	8	管理会計　択一式総合問題　（初級編）②
	9	企業法　択一式総合問題　（初級編）②
	10	監査論　択一式総合問題　（初級編）②
	11	財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）③
	12	財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）③
	13	管理会計　択一式総合問題　（初級編）③
	14	企業法　択一式総合問題　（初級編）③
	15	監査論　択一式総合問題　（初級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論応用演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題　（初級編）①
	2	記述式応用問題　（初級編）②
	3	記述式応用問題　（初級編）③
	4	記述式応用問題　（初級編）④
	5	記述式応用問題　（初級編）⑤
	6	記述式応用問題　（初級編）⑥
	7	記述式応用問題　（初級編）⑦
	8	記述式応用問題　（初級編）⑧
	9	記述式応用問題　（初級編）⑨
	10	記述式応用問題　（初級編）⑩
	11	記述式応用問題　（初級編）⑪
	12	記述式応用問題　（初級編）⑫
	13	記述式応用問題　（初級編）⑬
	14	記述式応用問題　（初級編）⑭
	15	記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論応用演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題　（初級編）①
	2	記述式応用問題　（初級編）②
	3	記述式応用問題　（初級編）③
	4	記述式応用問題　（初級編）④
	5	記述式応用問題　（初級編）⑤
	6	記述式応用問題　（初級編）⑥
	7	記述式応用問題　（初級編）⑦
	8	記述式応用問題　（初級編）⑧
	9	記述式応用問題　（初級編）⑨
	10	記述式応用問題　（初級編）⑩
	11	記述式応用問題　（初級編）⑪
	12	記述式応用問題　（初級編）⑫
	13	記述式応用問題　（初級編）⑬
	14	記述式応用問題　（初級編）⑭
	15	記述式応用問題　（初級編）⑮
	16	記述式応用問題　（初級編）⑯
	17	記述式応用問題　（初級編）⑰
	18	記述式応用問題　（初級編）⑱
	19	記述式応用問題　（初級編）⑲
	20	記述式応用問題　（初級編）⑳
	21	記述式応用問題　（初級編）㉑
	22	記述式応用問題　（初級編）㉒
	23	記述式応用問題　（初級編）㉓
	24	記述式応用問題　（初級編）㉔
	25	記述式応用問題　（初級編）㉕
	26	記述式応用問題　（初級編）㉖
	27	記述式応用問題　（初級編）㉗
	28	記述式応用問題　（初級編）㉘
	29	記述式応用問題　（初級編）㉙
	30	記述式応用問題　（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法応用演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題　（初級編）①
	2	記述式応用問題　（初級編）②
	3	記述式応用問題　（初級編）③
	4	記述式応用問題　（初級編）④
	5	記述式応用問題　（初級編）⑤
	6	記述式応用問題　（初級編）⑥
	7	記述式応用問題　（初級編）⑦
	8	記述式応用問題　（初級編）⑧
	9	記述式応用問題　（初級編）⑨
	10	記述式応用問題　（初級編）⑩
	11	記述式応用問題　（初級編）⑪
	12	記述式応用問題　（初級編）⑫
	13	記述式応用問題　（初級編）⑬
	14	記述式応用問題　（初級編）⑭
	15	記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論応用演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題　（初級編）①
	2	記述式応用問題　（初級編）②
	3	記述式応用問題　（初級編）③
	4	記述式応用問題　（初級編）④
	5	記述式応用問題　（初級編）⑤
	6	記述式応用問題　（初級編）⑥
	7	記述式応用問題　（初級編）⑦
	8	記述式応用問題　（初級編）⑧
	9	記述式応用問題　（初級編）⑨
	10	記述式応用問題　（初級編）⑩
	11	記述式応用問題　（初級編）⑪
	12	記述式応用問題　（初級編）⑫
	13	記述式応用問題　（初級編）⑬
	14	記述式応用問題　（初級編）⑭
	15	記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学応用演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題　（初級編）①
	2	記述式応用問題　（初級編）②
	3	記述式応用問題　（初級編）③
	4	記述式応用問題　（初級編）④
	5	記述式応用問題　（初級編）⑤
	6	記述式応用問題　（初級編）⑥
	7	記述式応用問題　（初級編）⑦
	8	記述式応用問題　（初級編）⑧
	9	記述式応用問題　（初級編）⑨
	10	記述式応用問題　（初級編）⑩
	11	記述式応用問題　（初級編）⑪
	12	記述式応用問題　（初級編）⑫
	13	記述式応用問題　（初級編）⑬
	14	記述式応用問題　（初級編）⑭
	15	記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法応用演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式応用問題　（初級編）①
	2	記述式応用問題　（初級編）②
	3	記述式応用問題　（初級編）③
	4	記述式応用問題　（初級編）④
	5	記述式応用問題　（初級編）⑤
	6	記述式応用問題　（初級編）⑥
	7	記述式応用問題　（初級編）⑦
	8	記述式応用問題　（初級編）⑧
	9	記述式応用問題　（初級編）⑨
	10	記述式応用問題　（初級編）⑩
	11	記述式応用問題　（初級編）⑪
	12	記述式応用問題　（初級編）⑫
	13	記述式応用問題　（初級編）⑬
	14	記述式応用問題　（初級編）⑭
	15	記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅴ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	リース取引総論
	2	オペレーティング・リース
	3	所有権移転ファイナンス・リース
	4	所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択B権）
	5	所有権移転外ファイナンス・リース
	6	所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証）
	7	維持管理費相当額
	8	リース料の前払い
	9	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理①）
	10	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理②）
	11	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理③）
	12	セール・アンド・リースバック取引
	13	転リース取引
	14	無形固定資産総論
	15	のれん
	16	研究開発費
	17	市場販売目的のソフトウェア
	18	自社利用目的のソフトウェア
	19	投資その他の資産
	20	固定資産の減損総論
	21	減損損失の判定と測定
	22	将来キャッシュ・フローの見積
	23	共用資産の減損
	24	のれんの減損
	25	繰延資産
	26	社債総論
	27	買入償還（定額法）
	28	買入償還（利息法）
	29	巻末総合問題演習①
	30	巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	通常の販売目的で保有する棚卸資産
	2	トレーディング目的で保有する棚卸資産
	3	売価還元法と最終仕入原価法
	4	固定資産の取得原価の決定
	5	資本的支出と収益的支出
	6	減価償却
	7	個別償却と総合償却
	8	減耗償却と取替法
	9	圧縮記帳
	10	株式交付費
	11	社債発行費等
	12	創立費
	13	開業費
	14	開発費
	15	支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	標準原価計算総論
	2	標準原価計算の目的
	3	標準原価の種類
	4	標準原価計算制度の手続
	5	製品原価の計算
	6	原価差異の計算
	7	原価差異の原因分析
	8	原価差異の把握方法
	9	標準原価計算の記帳方法
	10	原価差異の会計処理
	11	仕損・減損が生じる場合（終点発生）
	12	仕損・減損が生じる場合（始点発生）
	13	仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生）
	14	管理会計の意義
	15	財務会計と管理会計の相違
	16	管理会計の体系
	17	財務情報分析
	18	財務情報分析の意義
	19	財務情報分析の種類
	20	収益性分析
	21	投下資本利益率
	22	投下資本利益率の分解
	23	安全性分析
	24	短期財務安全性分析
	25	長期財務安全性分析
	26	キャッシュフロー分析
	27	授業内演習①
	28	授業内演習②
	29	授業内演習③
	30	授業内演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算書類その他
	2	資本金・準備金・剰余金
	3	剰余金の配当
	4	定款変更の意義
	5	定款変更の手続
	6	発行可能株式総数
	7	事業譲渡等
	8	組織再編　総説
	9	組織変更
	10	合併　総説
	11	会社分割　総説
	12	株式交換・株式移転　総説
	13	持分法会社の組織再編
	14	会社の清算
	15	持分会社
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	継続企業の前提とは
	2	継続企業の前提に関する経営者の対応
	3	継続企業の前提に対する監査人の対応
	4	中間監査総論
	5	四半期レビュー制度
	6	特別目的会社の財務諸表の監査
	7	内部統制報告制度概要
	8	会計監査人監査制度概要
	9	金融商品取引法による企業内容開示制度
	10	公認会計士法
	11	公認会計士制度の創設・発足
	12	倫理規則の趣旨及び精神
	13	保証業務概論
	14	保証業務の位置付け
	15	公認会計士制度の創設・発足
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記計算特訓Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	確定給付企業年金制度（一連の会計処理）
	2	確定給付企業年金制度（従業員拠出）
	3	確定給付企業年金制度（数理計算上の差異）
	4	確定給付企業年金制度（過去勤務費用）
	5	確定給付企業年金制度（年金資産の返還）
	6	確定給付企業年金制度（退職給付信託）
	7	確定拠出企業年金制度
	8	退職給付制度の終了
	9	資産除去債務総論
	10	見積りの変更（見積額が増加する場合）
	11	見積りの変更（見積額が増加する場合）
	12	資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法）
	13	資産除去債務が複数の資産から構成される場合
	14	巻末総合問題演習①
	15	巻末総合問題演習②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論計算特訓Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	入門講義で学習した知識を基に、正確に計算し、解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	材料費会計
	2	労務費会計
	3	経費会計
	4	製造間接費会計
	5	部門別計算
	6	個別原価計算
	7	部門別個別原価計算
	8	総合原価計算①
	9	総合原価計算②
	10	総合原価計算③
	11	総合原価計算④
	12	標準原価計算①
	13	標準原価計算②
	14	標準原価計算③
	15	授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算応用問題　（初級編）①
	2	計算応用問題　（初級編）②
	3	計算応用問題　（初級編）③
	4	計算応用問題　（初級編）④
	5	計算応用問題　（初級編）⑤
	6	計算応用問題　（初級編）⑥
	7	計算応用問題　（初級編）⑦
	8	計算応用問題　（初級編）⑧
	9	計算応用問題　（初級編）⑨
	10	計算応用問題　（初級編）⑩
	11	計算応用問題　（初級編）⑪
	12	計算応用問題　（初級編）⑫
	13	計算応用問題　（初級編）⑬
	14	計算応用問題　（初級編）⑭
	15	計算応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める	
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算応用問題　（初級編）①
	2	計算応用問題　（初級編）②
	3	計算応用問題　（初級編）③
	4	計算応用問題　（初級編）④
	5	計算応用問題　（初級編）⑤
	6	計算応用問題　（初級編）⑥
	7	計算応用問題　（初級編）⑦
	8	計算応用問題　（初級編）⑧
	9	計算応用問題　（初級編）⑨
	10	計算応用問題　（初級編）⑩
	11	計算応用問題　（初級編）⑪
	12	計算応用問題　（初級編）⑫
	13	計算応用問題　（初級編）⑬
	14	計算応用問題　（初級編）⑭
	15	計算応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論直前演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題　（初級編）①
	2	記述式総合問題　（初級編）②
	3	記述式総合問題　（初級編）③
	4	記述式総合問題　（初級編）④
	5	記述式総合問題　（初級編）⑤
	6	記述式総合問題　（初級編）⑥
	7	記述式総合問題　（初級編）⑦
	8	記述式総合問題　（初級編）⑧
	9	記述式総合問題　（初級編）⑨
	10	記述式総合問題　（初級編）⑩
	11	記述式総合問題　（初級編）⑪
	12	記述式総合問題　（初級編）⑫
	13	記述式総合問題　（初級編）⑬
	14	記述式総合問題　（初級編）⑭
	15	記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論直前演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題　（初級編）①
	2	記述式総合問題　（初級編）②
	3	記述式総合問題　（初級編）③
	4	記述式総合問題　（初級編）④
	5	記述式総合問題　（初級編）⑤
	6	記述式総合問題　（初級編）⑥
	7	記述式総合問題　（初級編）⑦
	8	記述式総合問題　（初級編）⑧
	9	記述式総合問題　（初級編）⑨
	10	記述式総合問題　（初級編）⑩
	11	記述式総合問題　（初級編）⑪
	12	記述式総合問題　（初級編）⑫
	13	記述式総合問題　（初級編）⑬
	14	記述式総合問題　（初級編）⑭
	15	記述式総合問題　（初級編）⑮
	16	記述式総合問題　（初級編）⑯
	17	記述式総合問題　（初級編）⑰
	18	記述式総合問題　（初級編）⑱
	19	記述式総合問題　（初級編）⑲
	20	記述式総合問題　（初級編）⑳
	21	記述式総合問題　（初級編）㉑
	22	記述式総合問題　（初級編）㉒
	23	記述式総合問題　（初級編）㉓
	24	記述式総合問題　（初級編）㉔
	25	記述式総合問題　（初級編）㉕
	26	記述式総合問題　（初級編）㉖
	27	記述式総合問題　（初級編）㉗
	28	記述式総合問題　（初級編）㉘
	29	記述式総合問題　（初級編）㉙
	30	記述式総合問題　（初級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法直前演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題　（初級編）①
	2	記述式総合問題　（初級編）②
	3	記述式総合問題　（初級編）③
	4	記述式総合問題　（初級編）④
	5	記述式総合問題　（初級編）⑤
	6	記述式総合問題　（初級編）⑥
	7	記述式総合問題　（初級編）⑦
	8	記述式総合問題　（初級編）⑧
	9	記述式総合問題　（初級編）⑨
	10	記述式総合問題　（初級編）⑩
	11	記述式総合問題　（初級編）⑪
	12	記述式総合問題　（初級編）⑫
	13	記述式総合問題　（初級編）⑬
	14	記述式総合問題　（初級編）⑭
	15	記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論直前演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題　（初級編）①
	2	記述式総合問題　（初級編）②
	3	記述式総合問題　（初級編）③
	4	記述式総合問題　（初級編）④
	5	記述式総合問題　（初級編）⑤
	6	記述式総合問題　（初級編）⑥
	7	記述式総合問題　（初級編）⑦
	8	記述式総合問題　（初級編）⑧
	9	記述式総合問題　（初級編）⑨
	10	記述式総合問題　（初級編）⑩
	11	記述式総合問題　（初級編）⑪
	12	記述式総合問題　（初級編）⑫
	13	記述式総合問題　（初級編）⑬
	14	記述式総合問題　（初級編）⑭
	15	記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学直前演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題　（初級編）①
	2	記述式総合問題　（初級編）②
	3	記述式総合問題　（初級編）③
	4	記述式総合問題　（初級編）④
	5	記述式総合問題　（初級編）⑤
	6	記述式総合問題　（初級編）⑥
	7	記述式総合問題　（初級編）⑦
	8	記述式総合問題　（初級編）⑧
	9	記述式総合問題　（初級編）⑨
	10	記述式総合問題　（初級編）⑩
	11	記述式総合問題　（初級編）⑪
	12	記述式総合問題　（初級編）⑫
	13	記述式総合問題　（初級編）⑬
	14	記述式総合問題　（初級編）⑭
	15	記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法直前演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	記述式総合問題　（初級編）①
	2	記述式総合問題　（初級編）②
	3	記述式総合問題　（初級編）③
	4	記述式総合問題　（初級編）④
	5	記述式総合問題　（初級編）⑤
	6	記述式総合問題　（初級編）⑥
	7	記述式総合問題　（初級編）⑦
	8	記述式総合問題　（初級編）⑧
	9	記述式総合問題　（初級編）⑨
	10	記述式総合問題　（初級編）⑩
	11	記述式総合問題　（初級編）⑪
	12	記述式総合問題　（初級編）⑫
	13	記述式総合問題　（初級編）⑬
	14	記述式総合問題　（初級編）⑭
	15	記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	論文式対策総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	模擬試験形式による総合問題の効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	論文式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	解答上の留意点
	2	財務会計（計算）　記述式模擬試験　（初級編）①
	3	財務会計（理論）　記述式模擬試験　（初級編）①
	4	管理会計　記述式模擬試験　（初級編）①
	5	企業法　記述式模擬試験　（初級編）①
	6	監査論　記述式模擬試験　（初級編）①
	7	租税法　記述式模擬試験　（初級編）①
	8	経営学　記述式模擬試験　（初級編）①
	9	財務会計（計算）　記述式模擬試験　（初級編）②
	10	財務会計（理論）　記述式模擬試験　（初級編）②
	11	管理会計　記述式模擬試験　（初級編）②
	12	企業法　記述式模擬試験　（初級編）②
	13	監査論　記述式模擬試験　（初級編）②
	14	租税法　記述式模擬試験　（初級編）②
	15	経営学　記述式模擬試験　（初級編）②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	純資産会計総論
	2	株式の発行
	3	剰余金の配当
	4	計数の変動
	5	剰余金の処分
	6	自己株式
	7	分配可能額の算定①
	8	分配可能額の算定②
	9	株主資本等変動計算書
	10	新株予約権総論
	11	新株予約権の会計処理（発行者側）
	12	自己新株予約権
	13	新株予約権の開示
	14	新株予約権の会計処理（取得者側）
	15	新株予約権付社債（総論）
	16	新株予約権付社債の会計処理（発行者側）①
	17	新株予約権付社債の会計処理（発行者側）②
	18	新株予約権付社債の会計処理（取得者側）①
	19	新株予約権付社債の会計処理（取得者側）②
	20	ストック・オプション（総論）
	21	権利不確定による失効
	22	対象勤務期間
	23	段階的に権利行使が可能となる場合
	24	公正な評価単価の変動
	25	ストック・オプション数の変動
	26	費用の計上期間を変動させる条件変更
	27	法人税
	28	事業税
	29	消費税
	30	その他税金
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	製品保証引当金
	2	売上割戻引当金
	3	返品調整引当金
	4	修繕引当金
	5	資産除去債務の範囲
	6	資産除去債務の会計処理
	7	資産除去債務の開示
	8	株主資本の分類
	9	資本金
	10	資本剰余金
	11	利益剰余金
	12	自己株式
	13	資本金および準備金の額の減少
	14	資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止
	15	剰余金の配当等
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解し、説明できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	短期利益計画のための管理会計
	2	短期利益計画の基礎
	3	利益計画の意義
	4	中期経営計画と短期利益計画
	5	短期利益計画のプロセス
	6	CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis）
	7	CVP分析の意義
	8	原価・営業量・利益の関係
	9	CVP分析の仮定
	10	損益分岐点売上高（販売量）の算定
	11	希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定
	12	希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高
	13	損益分岐図表・限界利益図表
	14	安全（余裕）率・損益分岐点比率
	15	経営レバレッジ係数
	16	多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析
	17	多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成
	18	CVP感度分析
	19	営業外損益の取り扱い
	20	全部原価計算の損益分岐分析
	21	CVPC分析
	22	原価分解の必要性
	23	原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類
	24	原価分解の方法
	25	直接原価計算の基礎
	26	直接原価計算の意義
	27	直接原価計算の特徴
	28	直接原価計算の有用性
	29	全部原価計算との関係
	30	授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会社の概念
	2	会社の種類
	3	株式会社の概念
	4	会社設立
	5	発起人
	6	定款の作成
	7	発起設立と募集設立
	8	変態設立事項に関する規制
	9	設立登記
	10	設立関与者の責任
	11	設立の瑕疵
	12	株式の意義
	13	株式不可分の原則
	14	株主の権利・義務の意義
	15	株主の権利に関する規定
	16	株主平等原則の意義
	17	株主平等原則の趣旨・効果
	18	株主平等原則の例外
	19	株式譲渡自由の原則
	20	自己株式取得規制の概要
	21	子会社による親会社株式の取得
	22	株券の意義
	23	株式譲渡の効力発生要件、対抗要件
	24	株主名簿の意義等
	25	名義書換制度
	26	株式の担保化
	27	株式振替制度の意義
	28	端数が生ずる場合
	29	単元株制度の意義
	30	株式等売渡請求の概要
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした有識者の講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得す	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務諸表監査総論
	2	意見表明の対象である財務諸表
	3	監査主体論、監査基準論
	4	監査人
	5	職業倫理（監査人に要求される条件）
	6	専門能力及び知識
	7	主要勘定と帳簿、証拠等の例
	8	アサーション
	9	監査技術　監査証拠
	10	監査技術　閲覧
	11	監査技術　帳簿突合
	12	監査技術　証憑突合
	13	監査技術　実査
	14	監査技術　観察
	15	監査技術　再計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算総合問題　（初級編）①
	2	計算総合問題　（初級編）②
	3	計算総合問題　（初級編）③
	4	計算総合問題　（初級編）④
	5	計算総合問題　（初級編）⑤
	6	計算総合問題　（初級編）⑥
	7	計算総合問題　（初級編）⑦
	8	計算総合問題　（初級編）⑧
	9	計算総合問題　（初級編）⑨
	10	計算総合問題　（初級編）⑩
	11	計算総合問題　（初級編）⑪
	12	計算総合問題　（初級編）⑫
	13	計算総合問題　（初級編）⑬
	14	計算総合問題　（初級編）⑭
	15	計算総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算総合問題　（初級編）①
	2	計算総合問題　（初級編）②
	3	計算総合問題　（初級編）③
	4	計算総合問題　（初級編）④
	5	計算総合問題　（初級編）⑤
	6	計算総合問題　（初級編）⑥
	7	計算総合問題　（初級編）⑦
	8	計算総合問題　（初級編）⑧
	9	計算総合問題　（初級編）⑨
	10	計算総合問題　（初級編）⑩
	11	計算総合問題　（初級編）⑪
	12	計算総合問題　（初級編）⑫
	13	計算総合問題　（初級編）⑬
	14	計算総合問題　（初級編）⑭
	15	計算総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	総説ー株式会社の機関設計
	2	公開会社の機関構造の特色
	3	株主総会の権限
	4	総会屋対策
	5	株主総会決議の瑕疵
	6	取締役の行為規制の必要性
	7	善管注意義務と忠実義務
	8	利益相反取引
	9	取締役の報酬規制
	10	違反行為差止請求権
	11	取締役会の意義・設置
	12	代表取締役の意義・設置
	13	監査役の権限・義務
	14	監査役会の権限
	15	会計参与の権限・義務
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査技術　再実施
	2	監査技術　質問
	3	監査技術　年齢調べ
	4	監査技術　棚卸資産に対する手続
	5	監査技術　確認
	6	監査技術　分析的手続
	7	監査技術　経営者確認書
	8	リスク・アプローチ
	9	監査リスク
	10	リスク評価手続の全体像
	11	リスク・アプローチとの関係
	12	監査とIT
	13	ITの特徴①
	14	ITの特徴②
	15	監査に係る予備的な活動　契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題　（中級編）①
	5	個別基礎問題　（中級編）②
	6	個別基礎問題　（中級編）③
	7	個別基礎問題　（中級編）④
	8	個別基礎問題　（中級編）⑤
	9	個別基礎問題　（中級編）⑥
	10	個別基礎問題　（中級編）⑦
	11	個別基礎問題　（中級編）⑧
	12	個別基礎問題　（中級編）⑨
	13	個別基礎問題　（中級編）⑩
	14	個別基礎問題　（中級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記上級演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題　（中級編）①
	2	計算基礎問題　（中級編）②
	3	計算基礎問題　（中級編）③
	4	計算基礎問題　（中級編）④
	5	計算基礎問題　（中級編）⑤
	6	計算基礎問題　（中級編）⑥
	7	計算基礎問題　（中級編）⑦
	8	計算基礎問題　（中級編）⑧
	9	計算基礎問題　（中級編）⑨
	10	計算基礎問題　（中級編）⑩
	11	計算基礎問題　（中級編）⑪
	12	計算基礎問題　（中級編）⑫
	13	計算基礎問題　（中級編）⑬
	14	計算基礎問題　（中級編）⑭
	15	計算基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論上級演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題　（中級編）①
	2	計算基礎問題　（中級編）②
	3	計算基礎問題　（中級編）③
	4	計算基礎問題　（中級編）④
	5	計算基礎問題　（中級編）⑤
	6	計算基礎問題　（中級編）⑥
	7	計算基礎問題　（中級編）⑦
	8	計算基礎問題　（中級編）⑧
	9	計算基礎問題　（中級編）⑨
	10	計算基礎問題　（中級編）⑩
	11	計算基礎問題　（中級編）⑪
	12	計算基礎問題　（中級編）⑫
	13	計算基礎問題　（中級編）⑬
	14	計算基礎問題　（中級編）⑭
	15	計算基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策上級総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）①
	2	財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）①
	3	管理会計　択一式応用問題　（中級編）①
	4	企業法　択一式応用問題　（中級編）①
	5	監査論　択一式応用問題　（中級編）①
	6	財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）②
	7	財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）②
	8	管理会計　択一式応用問題　（中級編）②
	9	企業法　択一式応用問題　（中級編）②
	10	監査論　択一式応用問題　（中級編）②
	11	財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）③
	12	財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）③
	13	管理会計　択一式応用問題　（中級編）③
	14	企業法　択一式応用問題　（中級編）③
	15	監査論　択一式応用問題　（中級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	法人税額の計算の基礎
	3	使途秘匿金（追加課税される金額）
	4	外国税額控除
	5	貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合）
	6	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	7	収用等の特別控除（特別控除の適用要件）
	8	圧縮記帳
	9	役員・使用人兼務役員の判定
	10	役員給与（１項基準額）
	11	使用人給与
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	13	みなし配当
	14	グループ法人税制（概要）
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	バランスト・スコアカード（BSC）
	2	デリバティブ
	3	先物取引
	4	オプション取引
	5	オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成）
	6	金利オプション
	7	スワップ取引
	8	テイラーの科学的管理法
	9	ファヨールの管理論
	10	人間関係論と近代モチベーション論
	11	バーナード理論
	12	サイモン、マーチの理論
	13	管理原則論
	14	組織構造論（各論）
	15	組織文化論
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	所得税法の概要
	2	各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得）
	3	減価償却
	4	課税標準・課税所得金額の計算
	5	所得控除額の計算
	6	納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収）
	7	申告・納付
	8	源泉徴収
	9	有価証券に係る課税の特例
	10	消費税法の概要
	11	仕入れに係る消費税額
	12	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整
	13	仕入れに係る対価の返還等
	14	売上げに係る対価の返還等
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（中級編）①
	2	記述式基礎問題　（中級編）②
	3	記述式基礎問題　（中級編）③
	4	記述式基礎問題　（中級編）④
	5	記述式基礎問題　（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（中級編）①
	2	記述式基礎問題　（中級編）②
	3	記述式基礎問題　（中級編）③
	4	記述式基礎問題　（中級編）④
	5	記述式基礎問題　（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（中級編）⑮
	16	記述式基礎問題　（中級編）⑯
	17	記述式基礎問題　（中級編）⑰
	18	記述式基礎問題　（中級編）⑱
	19	記述式基礎問題　（中級編）⑲
	20	記述式基礎問題　（中級編）⑳
	21	記述式基礎問題　（中級編）㉑
	22	記述式基礎問題　（中級編）㉒
	23	記述式基礎問題　（中級編）㉓
	24	記述式基礎問題　（中級編）㉔
	25	記述式基礎問題　（中級編）㉕
	26	記述式基礎問題　（中級編）㉖
	27	記述式基礎問題　（中級編）㉗
	28	記述式基礎問題　（中級編）㉘
	29	記述式基礎問題　（中級編）㉙
	30	記述式基礎問題　（中級編）㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（中級編）①
	2	記述式基礎問題　（中級編）②
	3	記述式基礎問題　（中級編）③
	4	記述式基礎問題　（中級編）④
	5	記述式基礎問題　（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（中級編）①
	2	記述式基礎問題　（中級編）②
	3	記述式基礎問題　（中級編）③
	4	記述式基礎問題　（中級編）④
	5	記述式基礎問題　（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（中級編）①
	2	記述式基礎問題　（中級編）②
	3	記述式基礎問題　（中級編）③
	4	記述式基礎問題　（中級編）④
	5	記述式基礎問題　（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（中級編）①
	2	記述式基礎問題　（中級編）②
	3	記述式基礎問題　（中級編）③
	4	記述式基礎問題　（中級編）④
	5	記述式基礎問題　（中級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（中級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（中級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（中級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（中級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（中級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（中級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（中級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（中級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（中級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義及び演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）
特記	
授業計画	1 連結財務諸表総論 2 支配獲得日における連結貸借対照表の作成 3 支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成 4 段階取得（その他投資先から子会社） 5 段階取得（関連会社から子会社） 6 子会社株式の追加取得 7 子会社株式の一部売却 8 連結除外（関連会社になった場合） 9 連結除外（関連会社にも該当しなくなった場合） 10 子会社の増資（株主割当有償増資） 11 子会社の増資（第三者割当有償増資） 12 子会社の新株予約権の取扱い 13 子会社が保有する自己株式 14 評価差額の実現（非償却性資産） 15 評価差額の実現（償却性資産） 16 成果連結総論 17 未実現利益の消去（棚卸資産） 18 債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整 19 未達取引（未達商品） 20 未達取引（決済未達） 21 手形取引 22 未実現利益の消去（非償却性資産） 23 未実現利益の消去（償却性資産） 24 社債取引（発行時取得） 25 社債取引（発行後取得） 26 持分法総論 27 持分法（追加取得） 28 持分法（一部売却） 29 持分法（持分法除外） 30 持分法（未実現利益の消去） 31 連結税効果（未実現利益：棚卸資産） 32 連結税効果（未実現利益：非償却性資産） 33 連結税効果（未実現利益：償却性資産） 34 連結税効果（未実現利益：持分法適用会社） 35 連結税効果（貸倒引当金） 36 連結税効果（子会社の評価差額：非償却性資産） 37 連結税効果（子会社の評価差額：償却性資産） 38 連結税効果（関連会社の評価差額） 39 連結税効果（財務諸表表示） 40 連結税効果（税率の変更） 41 包括利益総論 42 巻末総合問題演習① 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株主資本等変動計算書の目的
	2	株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲
	3	株主資本等変動計算書の表示方法
	4	株主資本等変動計算書の注記事項
	5	キャッシュ・フロー計算書の作成目的
	6	利益とキャッシュ・フロー
	7	資金概念
	8	キャッシュ・フロー計算書の区分
	9	直接法と間接法
	10	キャッシュ・フロー計算書の注記事項
	11	会計方針
	12	後発事象
	13	偶発事象
	14	時価情報
	15	継続企業情報
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	直接実際原価計算
	2	直接実際原価計算の意義
	3	直接実際原価計算による損益計算書
	4	固定費調整
	5	直接標準原価計算
	6	直接標準原価計算の意義
	7	直接標準原価計算による損益計算書
	8	直接標準原価計算における固定費調整
	9	直接原価計算に関する諸論点
	10	生産・販売量と営業利益の関係の整理
	11	セグメント別損益計算書
	12	固定費（キャパシテイ・コスト）の管理
	13	直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由
	14	予算管理の基礎
	15	予算と予算管理の意義
	16	予算管理のプロセス
	17	予算管理と責任会計
	18	予算の種類
	19	予算編成の方法
	20	予算編成の手順
	21	予算統制
	22	予算実績差異分析の意義と手続
	23	予算実績比較損益計算書の作成
	24	予算実績差異分析の詳細
	25	予算報告書
	26	講義内演習①
	27	講義内演習②
	28	講義内演習③
	29	講義内演習④
	30	講義内演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る	
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	資金調達総説
	2	募集株式の発行等の意義
	3	募集事項の決定事項
	4	募集事項の決定機関
	5	募集株式の申込み
	6	募集株式の割当て
	7	総数引受の場合ー申込み・割当ての例外
	8	募集株式の引受け
	9	申込み（引受け）の瑕疵ー引受けの無効又は取消しの制限
	10	出資の履行等
	11	失権株式
	12	募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記
	13	払込金額が不公正な場合・出資された財産等の価額が不足する場合の責任
	14	違法発行に対する措置
	15	新株予約権の意義
	16	募集新株予約権の発行
	17	新株予約権の譲渡
	18	新株予約権の行使
	19	新株予約権無償割当て（277条～）
	20	株式と社債の共通点
	21	株式と社債の相違点
	22	株式と社債の接近化現象
	23	募集株式の発行手続
	24	社債原簿
	25	社債管理者
	26	社債権者集会
	27	社債の譲渡（社債券を発行しない場合）
	28	社債の譲渡（社債券を発行する場合）
	29	利息の支払
	30	社債の償還
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査に係る予備的な活動　意義
	2	監査に係る予備的な活動　何を検討するのか
	3	監査に係る予備的な活動　検討の結果
	4	監査計画の定義
	5	監査計画の分類
	6	監査証拠の入手方法
	7	監査サンプリング
	8	重要性の定義
	9	監査上の重要性が用いられる場面
	10	重要な虚偽表示か否かの判断
	11	監査上の重要性の例
	12	重要性の基準値の決定
	13	特別な検討を必要とするリスクの定義等
	14	特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価
	15	関連当事者とは
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計士キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務におけるつながりを理解する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計士になるために　１　会計士の仕事内容と試験制度概要
	2	会計士になるために　２　試験制度の仕組みと学習プラン
	3	会計士になるために　３　授業内容と授業心得
	4	会計士になるために　４　短答式試験受験の心構え
	5	監査法人理解　１　仕事内容　（概要）
	6	監査法人理解　２　試験勉強と監査法人業務
	7	将来像を考える　１　法人の仕組み　（スタッフの仕事理解）
	8	将来像を考える　２　法人の仕組み　（監査業務内容理解）
	9	会計士になるために　５　学習プランの再確認
	10	会計士になるために　６　論文式試験の学習内容理解
	11	将来像を考える　３　監査法人以外の進路について
	12	就職準備　１　（ＥＳの書き方）
	13	就職準備　２　（監査法人の調べ方）
	14	就職準備　３　（よくある質問対策）
	15	会計士になるために　７　論文式試験受験の心構え
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計士キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	オフィスツアーや会計・監査の実務家の講演により、会計専門職としての職業観を身につける	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	会計・監査の実務に必要な知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	監査法人にご協力頂き、公認会計士から実務に沿った講義を中心とする	
授業計画	1	実務家講演　1　短答式試験受験の心得
	2	実務家講演　2　論文式試験受験の心得
	3	実務家講演　3　監査法人の仕事
	4	実務家講演　4　（個人事務所設立）独立後の仕事
	5	監査法人理解　3　オフィスツアー　1
	6	監査法人理解　4　オフィスツアー　2
	7	監査法人理解　5　監査法人合同説明会
	8	監査法人理解　6　職種研究　1　（監査）
	9	監査法人理解　7　職業研究　2　（金融　）
	10	監査法人理解　8　職業研究　3　（パブリック　）
	11	監査法人理解　9　職業研究　4　（　Ｉ　Ｔ　）
	12	監査法人理解　10　職業研究　5　（海外　）
	13	監査法人理解　11　職業研究　6　（コンサルティング　）
	14	監査法人理解　12　職業研究　7　（その他　）
	15	実務家講演　5　公認会計士の将来像について
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）
	6	現金預金（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）
	17	固定資産⑥（基礎編）
	18	為替換算会計①（基礎編）
	19	為替換算会計②（基礎編）
	20	引当金①（基礎編）
	21	引当金②（基礎編）
	22	法人税等①（基礎編）
	23	法人税等②（基礎編）
	24	法人税等③（基礎編）
	25	法人税等④（基礎編）
	26	株式会社の純資産①（基礎編）
	27	株式会社の純資産②（基礎編）
	28	企業結合①（基礎編）
	29	企業結合②（基礎編）
	30	確認テスト
	31	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	32	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	33	株主資本等変動計算書③（基礎編）
	34	連結会計①（基礎編）
	35	連結会計②（基礎編）
	36	連結会計③（基礎編）
	37	連結会計④（基礎編）
	38	連結会計⑤（基礎編）
	39	連結会計⑥（基礎編）
	40	連結会計⑦（基礎編）
	41	連結会計⑧（基礎編）
	42	本支店会計①（基礎編）
	43	本支店会計②（基礎編）
	44	本支店会計③（基礎編）
	45	伝票と帳簿（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	17	単純総合原価計算（基礎編）
	18	減損および仕損（基礎編）
	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	20	組別総合原価計算（基礎編）
	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	28	直接原価計算（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	１２０時間	
授業回数	６０回	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）
	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	41	総合問題演習①（テスト形式）
	42	総合問題演習②（テスト形式）
	43	総合問題演習③（テスト形式）
	44	総合問題演習④（テスト形式）
	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学速習基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務諸表、有価証券（速習編）
	2	デリバティブ取引・ヘッジ会計等（速習編）
	3	有形固定資産（速習編）
	4	割引現在価値（速習編）
	5	リース取引①（速習編）
	6	リース取引②（速習編）
	7	研究開発費とソフトウェア（速習編）
	8	固定資産の減損（速習編）
	9	繰延資産（速習編）
	10	社債①（速習編）
	11	社債②（速習編）
	12	引当金（速習編）
	13	退職給付①（速習編）
	14	退職給付②（速習編）
	15	資産除去債務（速習編）
	16	純資産（速習編）
	17	新株予約権と新株予約権付社債（速習編）
	18	ストック・オプション（速習編）
	19	税効果会計①（速習編）
	20	税効果会計②（速習編）
	21	外貨建取引①（速習編）
	22	外貨建取引②（速習編）
	23	商品売買等（速習編）
	24	連結財務諸表総論（速習編）
	25	資本連結（速習編）
	26	成果連結①（速習編）
	27	成果連結②（速習編）
	28	連結税効果会計（速習編）
	29	持分法（速習編）
	30	包括利益（速習編）
	31	在外子会社（速習編）
	32	企業結合①（速習編）
	33	企業結合②（速習編）
	34	事業分離（速習編）
	35	本支店会計①（速習編）
	36	本支店会計②（速習編）
	37	本支店会計③（速習編）
	38	キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	39	キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	40	キャッシュ・フロー計算書③（速習編）
	41	連結キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	42	連結キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	43	会計上の変更及び誤謬の訂正（速習編）
	44	収益認識①（速習編）
	45	収益認識②（速習編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算速習基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（速習編）
	2	費目別計算（速習編）
	3	個別原価計算Ⅰ（速習編）
	4	部門別計算Ⅰ（速習編）
	5	部門別計算Ⅱ（速習編）
	6	個別原価計算Ⅱ（速習編）
	7	総合原価計算Ⅰ（速習編）
	8	総合原価計算Ⅱ（速習編）
	9	総合原価計算Ⅲ（速習編）
	10	総合原価計算Ⅳ（速習編）
	11	総合原価計算Ⅴ（速習編）
	12	総合原価計算Ⅵ（速習編）
	13	標準原価計算Ⅰ（速習編）
	14	標準原価計算Ⅱ（速習編）
	15	標準原価計算Ⅲ（速習編）
	16	標準原価計算Ⅳ（速習編）
	17	直接原価計算（速習編）
	18	短期利益計画（速習編）
	19	予算管理Ⅰ（速習編）
	20	予算管理Ⅱ（速習編）
	21	意思決定会計総論（速習編）
	22	業務的意思決定Ⅰ（速習編）
	23	業務的意思決定Ⅱ（速習編）
	24	構造的意思決定Ⅰ（速習編）
	25	構造的意思決定Ⅱ（速習編）
	26	構造的意思決定Ⅲ（速習編）
	27	事業部制Ⅰ（速習編）
	28	事業部制Ⅱ（速習編）
	29	戦略的原価計算Ⅰ（速習編）
	30	戦略的原価計算Ⅱ（速習編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級簿記速習総合	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	１２０時間	
授業回数	６０回	
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（速習編）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯（速習編）
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰（速習編）
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱（速習編）
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲（速習編）
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳（速習編）
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑（速習編）
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒（速習編）
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓（速習編）
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔（速習編）
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕（速習編）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ①（速習編）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ②（速習編）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ③（速習編）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ④（速習編）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（速習編）
	31	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（速習編）
	32	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（速習編）
	33	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（速習編）
	34	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（速習編）
	35	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（速習編）
	36	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（速習編）
	37	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（速習編）
	38	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（速習編）
	39	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（速習編）
	40	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（速習編）
	41	工業簿記・原価計算総まとめ⑯（速習編）
	42	工業簿記・原価計算総まとめ⑰（速習編）
	43	工業簿記・原価計算総まとめ⑱（速習編）
	44	工業簿記・原価計算総まとめ⑲（速習編）
	45	工業簿記・原価計算総まとめ⑳（速習編）
	46	総合問題演習①（テスト形式）
	47	総合問題演習②（テスト形式）
	48	総合問題演習③（テスト形式）
	49	総合問題演習④（テスト形式）
	50	総合問題演習⑤（テスト形式）
	51	総合問題演習⑥（テスト形式）
	52	総合問題演習⑦（テスト形式）
	53	総合問題演習⑧（テスト形式）
	54	総合問題演習⑨（テスト形式）
	55	総合問題演習⑩（テスト形式）
	56	総合問題演習⑪（テスト形式）
	57	総合問題演習⑫（テスト形式）
	58	総合問題演習⑬（テスト形式）
	59	総合問題演習⑭（テスト形式）
	60	総合問題演習⑮（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財務諸表（入門編）
	2	有価証券（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）
	4	有形固定資産①（入門編）
	5	有形固定資産②（入門編）
	6	割引現在価値（入門編）
	7	リース取引①（入門編）
	8	リース取引②（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）
	10	固定資産の減損①（入門編）
	11	固定資産の減損②（入門編）
	12	繰延資産（入門編）
	13	社債（入門編）
	14	貸倒引当金（入門編）
	15	退職給付①（入門編）
	16	退職給付②（入門編）
	17	資産除去債務①（入門編）
	18	資産除去債務②（入門編）
	19	純資産①（入門編）
	20	純資産②（入門編）
	21	純資産③（入門編）
	22	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）
	23	ストック・オプション①（入門編）
	24	ストック・オプション②（入門編）
	25	税効果会計①（入門編）
	26	税効果会計②（入門編）
	27	税効果会計③（入門編）
	28	外貨建取引①（入門編）
	29	外貨建取引②（入門編）
	30	外貨建取引③（入門編）
	31	商品売買等①（入門編）
	32	商品売買等②（入門編）
	33	商品売買等③（入門編）
	34	本支店会計①（入門編）
	35	本支店会計②（入門編）
	36	本支店会計③（入門編）
	37	連結財務諸表総論①（入門編）
	38	連結財務諸表総論②（入門編）
	39	資本連結①（入門編）
	40	資本連結②（入門編）
	41	資本連結③（入門編）
	42	資本連結④（入門編）
	43	成果連結①（入門編）
	44	成果連結②（入門編）
	45	成果連結③（入門編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記と原価計算（入門編）
	2	費目別計算①（入門編）
	3	費目別計算②（入門編）
	4	部門別計算①（入門編）
	5	部門別計算②（入門編）
	6	部門別計算③（入門編）
	7	部門別計算④（入門編）
	8	部門別計算⑤（入門編）
	9	部門別計算⑥（入門編）
	10	個別原価計算①（入門編）
	11	個別原価計算②（入門編）
	12	個別原価計算③（入門編）
	13	総合原価計算④（入門編）
	14	総合原価計算⑤（入門編）
	15	総合原価計算⑥（入門編）
	16	総合原価計算⑦（入門編）
	17	総合原価計算⑧（入門編）
	18	標準原価計算①（入門編）
	19	標準原価計算②（入門編）
	20	標準原価計算③（入門編）
	21	標準原価計算④（入門編）
	22	標準原価計算⑤（入門編）
	23	直接原価計算（入門編）
	24	短期利益計画①（入門編）
	25	短期利益計画②（入門編）
	26	短期利益計画③（入門編）
	27	予算管理①（入門編）
	28	予算管理②（入門編）
	29	予算管理③（入門編）
	30	業務的意思決定①（入門編）
	31	業務的意思決定②（入門編）
	32	業務的意思決定③（入門編）
	33	業務的意思決定④（入門編）
	34	業務的意思決定⑤（入門編）
	35	業務的意思決定⑥（入門編）
	36	構造的意思決定①（入門編）
	37	構造的意思決定②（入門編）
	38	構造的意思決定③（入門編）
	39	構造的意思決定④（入門編）
	40	構造的意思決定⑤（入門編）
	41	構造的意思決定⑥（入門編）
	42	戦略的原価計算①（入門編）
	43	戦略的原価計算②（入門編）
	44	戦略的原価計算③（入門編）
	45	戦略的原価計算④（入門編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論①（基礎編）
	2	総論②（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）
	17	固定資産②（基礎編）
	18	固定資産③（基礎編）
	19	固定資産④（基礎編）
	20	固定資産⑤（基礎編）
	21	固定資産⑥（基礎編）
	22	為替換算会計①（基礎編）
	23	為替換算会計②（基礎編）
	24	為替換算会計③（基礎編）
	25	引当金①（基礎編）
	26	引当金②（基礎編）
	27	引当金③（基礎編）
	28	法人税等①（基礎編）
	29	法人税等②（基礎編）
	30	法人税等③（基礎編）
	31	株式会社の純資産①（基礎編）
	32	株式会社の純資産②（基礎編）
	33	株式会社の純資産③（基礎編）
	34	企業結合（基礎編）
	35	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	36	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	37	連結会計①（基礎編）
	38	連結会計②（基礎編）
	39	連結会計③（基礎編）
	40	連結会計④（基礎編）
	41	連結会計⑤（基礎編）
	42	連結会計⑥（基礎編）
	43	連結会計⑦（基礎編）
	44	連結会計⑧（基礎編）
	45	連結会計⑨（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）
	3	材料費会計①
	4	材料費会計②
	5	労務費会計①
	6	労務費会計②
	7	経費会計
	8	製造間接費会計①
	9	製造間接費会計②
	10	単純個別原価計算①
	11	単純個別原価計算②
	12	単純個別原価計算③
	13	部門別計算①
	14	部門別計算②
	15	部門別計算③
	16	確認テスト（第1回）
	17	工企業の財務諸表①
	18	工企業の財務諸表②
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）
	20	総合原価計算①
	21	総合原価計算②
	22	総合原価計算③
	23	総合原価計算④
	24	総合原価計算⑤
	25	総合原価計算⑥
	26	工程別総合原価計算①
	27	工程別総合原価計算②
	28	組別総合原価計算
	29	等級別総合原価計算①
	30	等級別総合原価計算②
	31	標準原価計算①
	32	標準原価計算②
	33	標準原価計算③
	34	原価・営業量・利益関係の分析①
	35	原価・営業量・利益関係の分析②
	36	工場会計の独立
	37	直接原価計算①
	38	直接原価計算②
	39	確認テスト（第2回）
	40	工業簿記総まとめ①
	41	工業簿記総まとめ②
	42	工業簿記総まとめ③
	43	工業簿記総まとめ④
	44	工業簿記総まとめ⑤
	45	工業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	1級簿記速習演習
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）
履修年次	1年次
開講区分	前期
科目区分	選択C
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業回数	４５回
授業概要	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記・会計学総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（基礎編）
2	商業簿記・会計学総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（基礎編）
3	商業簿記・会計学総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（基礎編）
4	商業簿記・会計学総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（基礎編）
5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（基礎編）
6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（基礎編）
7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（基礎編）
8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（基礎編）
9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（基礎編）
10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（基礎編）
11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（基礎編）	41	工業簿記・原価計算総まとめ⑯（基礎編）
12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（基礎編）	42	工業簿記・原価計算総まとめ⑰（基礎編）
13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（基礎編）	43	工業簿記・原価計算総まとめ⑱（基礎編）
14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（基礎編）	44	工業簿記・原価計算総まとめ⑲（基礎編）
15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（基礎編）	45	工業簿記・原価計算総まとめ⑳（基礎編）
16	商業簿記・会計学総まとめ⑯（基礎編）		
17	商業簿記・会計学総まとめ⑰（基礎編）		
18	商業簿記・会計学総まとめ⑱（基礎編）		
19	商業簿記・会計学総まとめ⑲（基礎編）		
20	商業簿記・会計学総まとめ⑳（基礎編）		
21	商業簿記・会計学総まとめ㉑（基礎編）		
22	商業簿記・会計学総まとめ㉒（基礎編）		
23	商業簿記・会計学総まとめ㉓（基礎編）		
24	商業簿記・会計学総まとめ㉔（基礎編）		
25	商業簿記・会計学総まとめ㉕（基礎編）		
26	工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編）		
27	工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編）		
28	工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編）		
29	工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編）		
30	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（基礎編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	全経簿記上級総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	１２０時間	
授業回数	６０回	
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（全経速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経速習編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経速習編）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経速習編）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経速習編）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経速習編）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経速習編）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経速習編）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経速習編）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経速習編）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経速習編）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経速習編）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経速習編）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経速習編）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経速習編）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経速習編）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経速習編）
	31	総合問題対策①（全経速習編）
	32	総合問題対策②（全経速習編）
	33	総合問題対策③（全経速習編）
	34	総合問題対策④（全経速習編）
	35	総合問題対策⑤（全経速習編）
	36	総合問題対策⑥（全経速習編）
	37	総合問題対策⑦（全経速習編）
	38	総合問題対策⑧（全経速習編）
	39	総合問題対策⑨（全経速習編）
	40	総合問題対策⑩（全経速習編）
	41	総合問題対策⑪（全経速習編）
	42	総合問題対策⑫（全経速習編）
	43	総合問題対策⑬（全経速習編）
	44	総合問題対策⑭（全経速習編）
	45	総合問題対策⑮（全経速習編）
	46	総合問題演習①（テスト形式）
	47	総合問題演習①（テスト形式）
	48	総合問題演習①（テスト形式）
	49	総合問題演習②（テスト形式）
	50	総合問題演習②（テスト形式）
	51	総合問題演習②（テスト形式）
	52	総合問題演習③（テスト形式）
	53	総合問題演習③（テスト形式）
	54	総合問題演習③（テスト形式）
	55	総合問題演習④（テスト形式）
	56	総合問題演習④（テスト形式）
	57	総合問題演習④（テスト形式）
	58	総合問題演習⑤（テスト形式）
	59	総合問題演習⑤（テスト形式）
	60	総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	持分法①（基礎編）
	2	持分法②（基礎編）
	3	連結税効果①（基礎編）
	4	連結税効果②（基礎編）
	5	包括利益（基礎編）
	6	在外子会社（基礎編）
	7	企業結合①（基礎編）
	8	企業結合②（基礎編）
	9	事業分離①（基礎編）
	10	事業分離②（基礎編）
	11	キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	14	連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	15	会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別原価計算（基礎編）
	2	部門別計算（基礎編）
	3	総合原価計算①（基礎編）
	4	総合原価計算②（基礎編）
	5	標準原価計算①（基礎編）
	6	標準原価計算②（基礎編）
	7	標準原価計算③（基礎編）
	8	予算管理（基礎編）
	9	業務的意思決定①（基礎編）
	10	業務的意思決定②（基礎編）
	11	構造的意思決定①（基礎編）
	12	構造的意思決定②（基礎編）
	13	戦略的原価計算（基礎編）
	14	事業部制①（基礎編）
	15	事業部制②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計①（応用編）
	2	本支店会計②（応用編）
	3	本支店会計③（応用編）
	4	製造業を営む会社の決算処理①（応用編）
	5	製造業を営む会社の決算処理②（応用編）
	6	製造業を営む会社の決算処理③（応用編）
	7	伝票①（応用編）
	8	伝票②（応用編）
	9	伝票③（応用編）
	10	商業簿記総まとめ①
	11	商業簿記総まとめ②
	12	商業簿記総まとめ③
	13	商業簿記総まとめ④
	14	商業簿記総まとめ⑤
	15	商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算①（応用編）
	2	費目別計算②（応用編）
	3	単純個別原価計算①（応用編）
	4	単純個別原価計算②（応用編）
	5	部門別計算①（応用編）
	6	部門別計算②（応用編）
	7	工企業の財務諸表（応用編）
	8	単純総合原価計算①（応用編）
	9	単純総合原価計算②（応用編）
	10	工程別総合原価計算（応用編）
	11	組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編）
	12	標準原価計算①（応用編）
	13	標準原価計算②（応用編）
	14	原価・営業量・利益関係の分析（応用編）
	15	直接原価計算（応用編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記検定1級合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①
	2	商業簿記・会計学総まとめ②
	3	商業簿記・会計学総まとめ③
	4	商業簿記・会計学総まとめ④
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）
	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記検定1級合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）
	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）
	16	工業簿記総まとめ①（中級編）
	17	工業簿記総まとめ②（中級編）
	18	工業簿記総まとめ③（中級編）
	19	工業簿記総まとめ④（中級編）
	20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）
	21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）
	22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）
	23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）
	24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）
	25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）
	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）
	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）
	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
	31	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	32	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	33	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	34	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	35	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	36	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	37	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	38	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	39	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	40	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	41	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	42	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	43	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	44	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	45	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	９０時間	
授業回数	４５回	
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）
	16	工業簿記総まとめ①（応用編）
	17	工業簿記総まとめ②（応用編）
	18	工業簿記総まとめ③（応用編）
	19	工業簿記総まとめ④（応用編）
	20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）
	21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）
	22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）
	23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）
	24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）
	25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）
	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）
	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）
	28	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	29	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	30	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	31	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	32	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	33	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	34	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	35	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	36	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	37	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	38	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	39	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	40	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	41	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	42	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	43	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	44	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	45	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	１２０時間	
授業回数	６０回	
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経総合編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経総合編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経総合編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（全経総合編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経総合編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経総合編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経総合編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経総合編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経総合編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経総合編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経総合編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経総合編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経総合編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経総合編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経総合編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経総合編）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経総合編）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経総合編）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経総合編）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経総合編）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経総合編）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経総合編）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経総合編）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経総合編）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経総合編）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経総合編）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経総合編）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経総合編）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経総合編）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経総合編）
	31	総合問題対策①（全経総合編）
	32	総合問題対策②（全経総合編）
	33	総合問題対策③（全経総合編）
	34	総合問題対策④（全経総合編）
	35	総合問題対策⑤（全経総合編）
	36	総合問題対策⑥（全経総合編）
	37	総合問題対策⑦（全経総合編）
	38	総合問題対策⑧（全経総合編）
	39	総合問題対策⑨（全経総合編）
	40	総合問題対策⑩（全経総合編）
	41	総合問題対策⑪（全経総合編）
	42	総合問題対策⑫（全経総合編）
	43	総合問題対策⑬（全経総合編）
	44	総合問題対策⑭（全経総合編）
	45	総合問題対策⑮（全経総合編）
	46	総合問題演習①（テスト形式）
	47	総合問題演習①（テスト形式）
	48	総合問題演習①（テスト形式）
	49	総合問題演習②（テスト形式）
	50	総合問題演習②（テスト形式）
	51	総合問題演習②（テスト形式）
	52	総合問題演習③（テスト形式）
	53	総合問題演習③（テスト形式）
	54	総合問題演習③（テスト形式）
	55	総合問題演習④（テスト形式）
	56	総合問題演習④（テスト形式）
	57	総合問題演習④（テスト形式）
	58	総合問題演習⑤（テスト形式）
	59	総合問題演習⑤（テスト形式）
	60	総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	収益性分析
	2	安全性分析
	3	一般原則等①
	4	一般原則等②
	5	損益計算書原則等
	6	損益計算書の表示区分①
	7	損益計算書の表示区分②
	8	貸借対照表原則等①
	9	貸借対照表原則等②
	10	資産会計(金融資産)
	11	資産会計(棚卸資産)
	12	資産会計(固定資産)
	13	資産会計(繰延資産等)
	14	負債会計①
	15	負債会計②
	16	帳簿組織
	17	純資産会計等
	18	外貨建取引会計
	19	税効果会計
	20	企業結合会計
	21	連結会計①
	22	連結会計②
	23	キャッシュ・フロー会計①
	24	キャッシュ・フロー会計②
	25	会計上の変更と誤謬の訂正
	26	概念フレームワーク①
	27	概念フレームワーク②
	28	概念フレームワーク③
	29	概念フレームワーク④
	30	概念フレームワーク⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算
	2	部門別計算
	3	個別原価計算
	4	総合原価計算①
	5	総合原価計算②
	6	総合原価計算③
	7	標準原価計算①
	8	標準原価計算②
	9	標準原価計算③
	10	直接原価計算
	11	短期利益計画
	12	予算管理
	13	事業部制
	14	業務的意思決定①
	15	業務的意思決定②
	16	構造的意思決定①
	17	構造的意思決定②
	18	構造的意思決定③
	19	戦略的原価計算①
	20	戦略的原価計算②
	21	工場会計の独立
	22	工業簿記・原価計算総まとめ①
	23	工業簿記・原価計算総まとめ②
	24	工業簿記・原価計算総まとめ③
	25	工業簿記・原価計算総まとめ④
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑤
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑥
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑦
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑧
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（外来）の基礎知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療保険制度、医療保険の給付
	2	医療事務の仕事、カルテ・レセプトの上書き
	3	初診料
	4	初診料レセプト記載法
	5	再診料①
	6	再診料②
	7	再診料レセプト記載法
	8	医学管理等
	9	医学管理等レセプト記載法
	10	投薬料①
	11	投薬料②
	12	投薬料③
	13	投薬料レセプト記載法
	14	注射料①
	15	注射料②
	16	注射料レセプト記載法
	17	処置料
	18	処置料レセプト記載法
	19	手術料①
	20	手術料②
	21	手術料レセプト記載法
	22	検査料①
	23	検査料②
	24	検査料③
	25	検査料④
	26	検査料レセプト記載法
	27	画像診断料①
	28	画像診断料②
	29	画像診断料レセプト記載法
	30	処方せん料、処方せん料レセプト記載法
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療請求事務基礎Ｉで学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（外来）の学科知識、レセプト知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	初・再診料（学科対策）
	2	医学管理料（学科対策）
	3	在宅医療料（学科対策）
	4	検査料（学科対策）
	5	その他（学科対策）
	6	初・再診料（レセプト問題①）
	7	初・再診料（レセプト問題②）
	8	初・再診料（レセプト総合問題①）
	9	初・再診料（レセプト総合問題②）
	10	医学管理料（レセプト問題①）
	11	医学管理料（レセプト問題②）
	12	医学管理料（レセプト総合問題①）
	13	医学管理料（レセプト総合問題②）
	14	学科・レセプト応用問題①
	15	学科・レセプト応用問題②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務基礎演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（外来レセプト）を作成するための総合演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から外来の明細書（レセプト）の作成ができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト項目別問題④
	5	レセプト項目別問題⑤
	6	レセプト項目別総合問題
	7	レセプト基礎問題①
	8	レセプトフォロー基礎問題①
	9	レセプト基礎問題②
	10	レセプトフォロー基礎問題②
	11	レセプト基礎問題③
	12	レセプトフォロー基礎問題③
	13	レセプト基礎問題④
	14	レセプトフォロー基礎問題④
	15	レセプト基礎問題⑤
	16	レセプトフォロー基礎問題⑤
	17	レセプト基礎総合問題
	18	レセプト応用問題①
	19	レセプトフォロー応用問題①
	20	レセプト応用問題②
	21	レセプトフォロー応用問題②
	22	レセプト応用問題③
	23	レセプトフォロー応用問題③
	24	レセプト応用問題④
	25	レセプトフォロー応用問題④
	26	レセプト応用問題⑤
	27	レセプトフォロー応用問題⑤
	28	レセプト応用総合問題
	29	レセプト最終確認直前問題①
	30	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	検定形式の解答力を測定する試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（入院レセプト）を作成するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識のの定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（入院）の応用知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	初・再診料等の復習
	2	入院料
	3	入院料レセプト記載法
	4	入院基本料等加算①、入院時食事療養費
	5	入院基本料等加算②、入院時食事療養費レセプト記載法
	6	投薬料、投薬料レセプト記載法
	7	注射料、注射料レセプト記載法
	8	レセプト総合演習①
	9	処置料①
	10	処置料②
	11	処置料レセプト記載法
	12	手術料①
	13	手術料②
	14	手術料レセプト記載法
	15	麻酔料①、神経ブロック料
	16	麻酔料②、神経ブロック料レセプト記載法
	17	検査料①
	18	検査料②
	19	検査料③
	20	検査料レセプト記載法
	21	レセプト総合演習②
	22	画像診断料
	23	画像診断料レセプト記載法
	24	医学管理等
	25	医学管理等レセプト記載法
	26	リハビリテーション料、精神科専門療法料、放射線治療、処方箋料レセプト記載法
	27	公費負担医療制度
	28	レセプト総合演習③
	29	レセプト総合演習④
	30	レセプト総合演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のテストの解答状況にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療請求事務応用Ｉで学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務（入院）の学科知識、レセプト知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	投薬・注射料（学科対策）
	2	リハビリテーション料（学科対策）
	3	精神科専門療法料（学科対策）
	4	総合実技演習①（外来レセプト）
	5	処置料（学科対策）
	6	手術・麻酔料（学科対策）
	7	総合実技演習②（外来レセプト）
	8	放射線治療（学科対策）
	9	入院料等（学科対策）
	10	総合実技演習③（入院レセプト）
	11	過去問題対策①
	12	過去問題対策②
	13	過去問題対策③
	14	過去問題対策④
	15	過去問題対策⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療請求事務応用演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（入院レセプト）を作成するための総合演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から入院の明細書（レセプト）の作成ができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト基礎問題①
	5	レセプト基礎問題②
	6	レセプト基礎問題③
	7	レセプト基礎問題④
	8	レセプト基礎問題⑤
	9	レセプト応用問題①
	10	レセプト応用問題②
	11	レセプト応用問題③
	12	レセプト応用問題④
	13	レセプト応用問題⑤
	14	レセプト最終確認直前問題①
	15	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	検定形式の解答力を測定する試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する	
教科書	医療秘書（株式会社メディカルエデュケーション）病院のマネジメント（建帛社）	
特記		
授業計画	1	日本の医療制度と特徴（医療秘書）
	2	病院の組織と運営（医療秘書）
	3	医療秘書の仕事と役割（医療秘書）
	4	求められる人物像（医療秘書）
	5	医療サービスと接遇（医療秘書）
	6	患者応対の基本（医療秘書）
	7	患者応対の応用（医療秘書）
	8	敬語について（医療秘書）
	9	ビジネス文書と文書作成（医療秘書）
	10	院外文書の作成（医療秘書）
	11	院内文書の作成（医療秘書）
	12	復習（医療秘書）①
	13	復習（医療秘書）②
	14	総合演習（医療秘書）①
	15	総合演習（医療秘書）②
	16	総合演習（医療秘書）③
	17	病院の目的と機能（病院のマネジメント）
	18	診療部門（病院のマネジメント）
	19	看護部門（病院のマネジメント）
	20	副診療技術部門（病院のマネジメント）
	21	薬剤部門（病院のマネジメント）
	22	栄養・給食部門（病院のマネジメント）
	23	臨床試験センター（病院のマネジメント）
	24	人間関係のマネジメント（病院のマネジメント）
	25	事務部門（病院のマネジメント）
	26	復習（病院のマネジメント）①
	27	復習（病院のマネジメント）②
	28	総合演習（病院のマネジメント）①
	29	総合演習（病院のマネジメント）②
	30	総合演習（病院のマネジメント）③
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	関連法規と基礎医学を理解するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	関連法規と基礎医学における基礎的な知識を理解する	
教科書	医療関連法規第2版（建帛社）DMT Disease & Medicinal therapy（株式会社 薬ゼミ情報教	
特記		
授業計画	1	健康保険法（関連法規）
	2	保険の種類（関連法規）
	3	療養の給付および入院食事療養費など（関連法規）
	4	保険給付（関連法規）
	5	日雇特例被保険者制度（関連法規）
	6	船員保険法（関連法規）
	7	各種共済組合法（関連法規）
	8	国民健康保険法（関連法規）
	9	高額療養費支給制度（関連法規）
	10	復習（関連法規）
	11	脳、眼科（基礎医学）
	12	神経系（基礎医学）
	13	耳鼻咽喉科、循環器科（基礎医学）
	14	循環器科、皮膚（基礎医学）
	15	復習（基礎医学）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務基礎演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療秘書実務基礎Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	医療秘書、関連法規、基礎医学の理解を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	基礎演習解説
	2	基礎演習①
	3	基礎演習②
	4	基礎演習③
	5	基礎演習④
	6	基礎演習⑤
	7	基礎演習復習
	8	直前演習解説
	9	直前演習①
	10	直前演習②
	11	直前演習③
	12	直前演習④
	13	直前演習⑤
	14	直前演習復習
	15	最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	演習授業内における試験の得点	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療秘書における応用的な知識を理解する	
教科書	医療秘書(株式会社メディカルエデュケーション)改訂 医療関連法規(建帛社)	
特記		
授業計画	1	医療サービスと患者接遇（医療秘書）
	2	ビジネス文書（医療秘書）
	3	個人情報保護法（医療秘書）
	4	敬語（医療秘書）
	5	復習
	6	医療保険制度（関連法規）
	7	医療施設関連法規（関連法規）
	8	医療従事者関係各法（関連法規）
	9	復習
	10	労災保険制度（関連法規）
	11	年金・自動車損害賠償責任保険法（関連法規）
	12	後期高齢者医療制度（関連法規）
	13	介護保険制度（関連法規）
	14	公費負担医療制度（関連法規）
	15	復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	基礎医学を理解するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療秘書における応用的な知識、特に医学知識について理解する	
教科書	ＤＭＴ（株式会社 薬ゼミ情報教育センター）	
特記		
授業計画	1	呼吸器系の仕組み
	2	呼吸器系疾患
	3	消化器系の仕組み①
	4	消化器系の仕組み②
	5	消化器系疾患①
	6	消化器系疾患②
	7	復習
	8	骨格・筋系の仕組み
	9	骨格・筋系疾患
	10	代謝・内分泌系の仕組み
	11	代謝・内分泌系疾患
	12	復習
	13	体液・血液系の仕組み
	14	体液・血液系疾患
	15	総復習
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実務応用演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療秘書実務応用Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	患者接遇・関連法規・基礎医学の知識を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	基礎演習解説
	2	基礎演習①
	3	基礎演習②
	4	基礎演習③
	5	基礎演習④
	6	基礎演習⑤
	7	基礎演習復習
	8	直前演習解説
	9	直前演習①
	10	直前演習②
	11	直前演習③
	12	直前演習④
	13	直前演習⑤
	14	直前演習復習
	15	最終確認問題
成績評価方法 (試験実施方法)	演習授業内における試験の得点	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法（挨拶～初診受付）を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として初診の受付応対ができる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	社会人としてのマナー（言葉遣い、態度）
	2	社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト）
	3	社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀）
	4	社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ）
	5	立ち居振る舞い、聞く・聴く
	6	初診受付の流れ
	7	初診受付基本応対
	8	確認テスト
	9	医療者としてのマナー（自然な声掛け、聴く姿勢）
	10	カルテの上書き
	11	初診受付の一連の流れ
	12	初診受付　実技演習①
	13	初診受付　実技演習②
	14	初診受付　効果測定①
	15	初診受付　効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技・筆記等による効果測定により評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０コマ	
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法（会計、再診受付まで）身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップあを図る	
達成目標	医療事務員として会計、再診の受付応対ができる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）　配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	身だしなみ（服装、髪型）
	2	身だしなみ（メイク）、挨拶①
	3	訊く、質問、メモの取り方①
	4	他己紹介、メモの取り方②
	5	好感度アップ、挨拶②
	6	指示アドバイスを受ける
	7	報告・連絡・相談
	8	電話応対①（内線）
	9	電話応対②（内線）
	10	個人情報への配慮
	11	守秘義務規定
	12	医療機関での個人情報にあたる書類の確認
	13	医療費の支払いに関する配慮
	14	お釣りの計算①
	15	お釣りの計算②
	16	会計受付
	17	会計受付ロールプレイング①
	18	会計受付ロールプレイング②
	19	確認テスト
	20	再診受付
	21	再診受付ロールプレイング①
	22	再診受付ロールプレイング②
	23	再診・会計実技演習①
	24	再診・会計実技演習②
	25	再診・会計実技演習③
	26	再診・会計実技演習④
	27	再診・会計効果測定①
	28	再診・会計効果測定②
	29	再診・会計効果測定③
	30	再診・会計効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	実技・筆記等による効果測定により評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療秘書実践Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法（様々なタイプから患者応対）を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる	
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）　配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	贈答マナー（暑中見舞い、年賀状）
	2	名刺・物の受け渡し
	3	指示アドバイスを受ける、院内コミュニケーションの方法
	4	電話応対（外線）
	5	確認テスト
	6	患者気質別の対応方法
	7	患者家族への対応方法
	8	入院患者・外来患者・救急患者への対応、優先順位の付け方
	9	高齢者受給者証、後期高齢者医療、高齢者への対応
	10	小児医療証、小児（保護者）
	11	初診・再診①
	12	初診・再診②
	13	初診・再診③
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	実技・筆記等による効果測定にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	診療報酬基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５コマ	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習として解説に加えて必要に応じて復習を行い、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療報酬項目別基礎演習①
	2	診療報酬項目別基礎演習②
	3	診療報酬項目別基礎演習③
	4	診療報酬項目別基礎演習④
	5	診療報酬項目別基礎演習⑤
	6	診療報酬項目別基礎演習⑥
	7	診療報酬項目別基礎演習⑦
	8	診療報酬項目別基礎演習⑧
	9	診療報酬項目別基礎演習⑨
	10	診療報酬項目別基礎演習⑩
	11	診療報酬項目別基礎演習⑪
	12	診療報酬項目別基礎演習⑫
	13	診療報酬項目別基礎演習⑬
	14	診療報酬項目別基礎演習⑭
	15	診療報酬項目別基礎演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	診療報酬応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加えて必要に応じて復習を行い、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療報酬項目別応用演習①
	2	診療報酬項目別応用演習②
	3	診療報酬項目別応用演習③
	4	診療報酬項目別応用演習④
	5	診療報酬項目別応用演習⑤
	6	診療報酬項目別応用演習⑥
	7	診療報酬項目別応用演習⑦
	8	診療報酬項目別応用演習⑧
	9	診療報酬項目別応用演習⑨
	10	診療報酬項目別応用演習⑩
	11	診療報酬項目別応用演習⑪
	12	診療報酬項目別応用演習⑫
	13	診療報酬項目別応用演習⑬
	14	診療報酬項目別応用演習⑭
	15	診療報酬項目別応用演習⑮
	16	診療報酬項目別応用演習⑯
	17	診療報酬項目別応用演習⑰
	18	診療報酬項目別応用演習⑱
	19	診療報酬項目別応用演習⑲
	20	診療報酬項目別応用演習⑳
	21	診療報酬項目別応用演習㉑
	22	診療報酬項目別応用演習㉒
	23	診療報酬項目別応用演習㉓
	24	診療報酬項目別応用演習㉔
	25	診療報酬項目別応用演習㉕
	26	診療報酬項目別応用演習㉖
	27	診療報酬項目別応用演習㉗
	28	診療報酬項目別応用演習㉘
	29	診療報酬項目別応用演習㉙
	30	診療報酬項目別応用演習㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	診療報酬応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	診療報酬応用Ｉで学んだ知識を踏まえ、診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための 応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加えて必要に応じて復習を行い、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容の理解をより深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療報酬項目別応用演習①
	2	診療報酬項目別応用演習②
	3	診療報酬項目別応用演習③
	4	診療報酬項目別応用演習④
	5	診療報酬項目別応用演習⑤
	6	診療報酬項目別応用演習⑥
	7	診療報酬項目別応用演習⑦
	8	診療報酬項目別応用演習⑧
	9	診療報酬項目別応用演習⑨
	10	診療報酬項目別応用演習⑩
	11	診療報酬項目別応用演習⑪
	12	診療報酬項目別応用演習⑫
	13	診療報酬項目別応用演習⑬
	14	診療報酬項目別応用演習⑭
	15	診療報酬項目別応用演習⑮
	16	診療報酬項目別応用演習⑯
	17	診療報酬項目別応用演習⑰
	18	診療報酬項目別応用演習⑱
	19	診療報酬項目別応用演習⑲
	20	診療報酬項目別応用演習⑳
	21	診療報酬項目別応用演習㉑
	22	診療報酬項目別応用演習㉒
	23	診療報酬項目別応用演習㉓
	24	診療報酬項目別応用演習㉔
	25	診療報酬項目別応用演習㉕
	26	診療報酬項目別応用演習㉖
	27	診療報酬項目別応用演習㉗
	28	診療報酬項目別応用演習㉘
	29	診療報酬項目別応用演習㉙
	30	診療報酬項目別応用演習㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験にて評価	

備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	診療報酬演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	様々な症例（外来・入院）の診療録（カルテ）から明細書（レセプト）の作成ができる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療報酬演習①
	2	診療報酬演習②
	3	診療報酬演習③
	4	診療報酬演習④
	5	診療報酬演習⑤
	6	診療報酬演習⑥
	7	診療報酬演習⑦
	8	診療報酬演習⑧
	9	診療報酬演習⑨
	10	診療報酬演習⑩
	11	診療報酬演習⑪
	12	診療報酬演習⑫
	13	診療報酬演習⑬
	14	診療報酬演習⑭
	15	診療報酬演習⑮
	16	診療報酬演習⑯
	17	診療報酬演習⑰
	18	診療報酬演習⑱
	19	診療報酬演習⑲
	20	診療報酬演習⑳
	21	診療報酬演習㉑
	22	診療報酬演習㉒
	23	診療報酬演習㉓
	24	診療報酬演習㉔
	25	診療報酬演習㉕
	26	診療報酬演習㉖
	27	診療報酬演習㉗
	28	診療報酬演習㉘
	29	診療報酬演習㉙
	30	診療報酬演習㉚
成績評価方法 (試験実施方法)	検定形式の解答力を測定する試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療事務員として仕事をするための心構え・準備内容を理解する	
授業の進め方	テキスト講義と演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として仕事をする意識付け及び自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療事務員としての心構え
	2	職業理解
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	自己ＰＲ作成①
	6	自己ＰＲ作成②
	7	作文・小論文①
	8	作文・小論文②
	9	病院研究①
	10	病院研究②
	11	質疑応答①
	12	質疑応答②
	13	自己表現演習①
	14	自己表現演習②
	15	自己表現演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポート等での評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	自己分析を行い、自らの長所、短所を明確にし、表現する	
授業の進め方	テキスト講義と演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自分の長所、短所を理解したうえで、自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析見直し①
	2	自己分析見直し②
	3	自己分析見直し③
	4	自己分析見直し④
	5	自己分析見直し⑤
	6	自己ＰＲ作成①
	7	自己ＰＲ作成②
	8	自己ＰＲ作成③
	9	自己ＰＲ作成④
	10	自己ＰＲ作成⑤
	11	自己表現演習①
	12	自己表現演習②
	13	自己表現演習③
	14	自己表現演習④
	15	自己表現演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポート等での評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	質疑応答作成①
	2	質疑応答作成②
	3	質疑応答作成③
	4	質疑応答作成④
	5	質疑応答作成⑤
	6	質疑応答作成⑥
	7	質疑応答作成⑦
	8	質疑応答作成⑧
	9	質疑応答作成⑨
	10	質疑応答作成⑩
	11	自己表現演習①
	12	自己表現演習②
	13	自己表現演習③
	14	自己表現演習④
	15	自己表現演習⑤
	16	自己表現演習⑥
	17	自己表現演習⑦
	18	自己表現演習⑧
	19	自己表現演習⑨
	20	自己表現演習⑩
	21	自己表現演習⑪
	22	自己表現演習⑫
	23	自己表現演習⑬
	24	自己表現演習⑭
	25	自己表現演習⑮
	26	自己表現演習⑯
	27	自己表現演習⑰
	28	自己表現演習⑱
	29	自己表現演習⑲
	30	自己表現演習⑳
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポート等での評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医療事務員としての自己分析力を身に付け、表現する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析を踏まえ、医療事務員として自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析見直し①
	2	自己分析見直し②
	3	自己分析見直し③
	4	自己分析見直し④
	5	自己分析見直し⑤
	6	自己ＰＲ作成①
	7	自己ＰＲ作成②
	8	自己ＰＲ作成③
	9	自己ＰＲ作成④
	10	自己ＰＲ作成⑤
	11	自己表現演習①
	12	自己表現演習②
	13	自己表現演習③
	14	自己表現演習④
	15	自己表現演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポート等で総合的に評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	患者接遇論概論	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	実習前に患者接遇に必要なスキルを身に付け、実習で対応できるようにする	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	実習生の心構えとマナー
	2	病院業務と実習日誌
	3	聞く姿勢と言葉遣い
	4	質問・メモの取り方
	5	自分からの行動
	6	指示・アドバイスを受ける
	7	トラブル応対
	8	受付応対
	9	医事コンピューターの使い方
	10	電話応対
	11	病院研究
	12	病院見学
	13	病院での一日の流れ
	14	実習先の電話連絡
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院研究	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	病院就職に必要な知識やスキルを身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	病院の研究を行い自身の強みと照らし合わせ、それを表現することができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	病院研究の流れ
	2	病院の理念、概要
	3	施設基準について
	4	病院見学①
	5	病院見学②
	6	病院見学③
	7	病院見学④
	8	病院見学⑤
	9	病院研究レポート①
	10	病院研究レポート②
	11	病院研究レポート③
	12	病院研究レポート④
	13	病院研究レポート⑤
	14	業界研究①
	15	業界研究②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医薬品知識	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	医薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医薬品の種類、保管方法等について理解する	
教科書	調剤指針（薬事日報社）	
特記		
授業計画	1	調剤の概念
	2	調剤の実践
	3	薬物療法と薬物
	4	薬効に影響を及ぼす要因
	5	薬物の投与経路
	6	調剤の実際
	7	処方監査
	8	疑義照会
	9	製剤各論①（経口投与薬）
	10	製剤各論②（外用薬）
	11	製剤各論③（注射薬・点鼻薬・点眼薬）
	12	製剤各論④（麻薬・向精神薬・覚せい剤原料）
	13	薬剤の交付
	14	薬剤服用歴の管理
	15	医薬品の在庫・品質管理
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験、講義後のチェックテストの解答状況にて評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	調剤報酬請求事務	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	処方箋から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	調剤報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	調剤基本料①
	2	調剤基本料②
	3	レセプト記載方法①
	4	調剤料①
	5	調剤料②
	6	調剤料③
	7	レセプト記載方法②
	8	総合問題演習①
	9	薬剤料の計算方法（内服薬）①
	10	薬剤料の計算方法（内服薬）②
	11	レセプト記載方法③
	12	総合問題演習②
	13	薬剤料の計算方法（頓服薬）①
	14	薬剤料の計算方法（頓服薬）②
	15	レセプト記載方法④
	16	薬剤料の計算方法（外用薬）①
	17	薬剤料の計算方法（外用薬）①
	18	レセプト記載方法⑤
	19	総合問題演習③
	20	総合問題演習④
	21	薬学管理料①
	22	薬学管理料②
	23	レセプトの記載方法⑥
	24	総合問題演習⑤
	25	総合問題演習⑥
	26	複数枚の処方箋の算定方法①
	27	複数枚の処方箋の算定方法②
	28	総合問題演習⑦
	29	総合問題演習⑧
	30	総合問題演習⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験、講義後のチェックテストの解答状況にて評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	調剤報酬請求事務演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	処方箋から明細書（レセプト）を作成するための演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	調剤報酬における請求事務を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト基礎問題①
	2	レセプト基礎問題②
	3	レセプト基礎問題③
	4	レセプト基礎問題④
	5	レセプト基礎問題⑤
	6	レセプト応用問題①
	7	レセプトフォロー応用問題①
	8	レセプト応用問題②
	9	レセプトフォロー応用問題②
	10	レセプト応用問題③
	11	レセプトフォロー応用問題③
	12	レセプト応用問題④
	13	レセプトフォロー応用問題④
	14	レセプト応用問題⑤
	15	レセプトフォロー応用問題⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	検定形式の解答力を測定する試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	患者看護論	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	患者の理解と、看護に関する知識を深める	
授業の進め方	資料による講義とグループワーク・ディスカッションを通じて、多様な患者対応について学ぶ	
達成目標	患者の立場や心境を理解し、配慮や対応ができるようになる	
教科書	オリジナル資料	
特記		
授業計画	1	医療機関における医療秘書・クラーク・看護助手の役割
	2	看護基礎知識①（特に業務で関わる職種）
	3	看護基礎知識②（必要な知識）
	4	患者論①（看護対象者への理解）
	5	患者論②（高齢者）
	6	患者論③（ケーススタディ）
	7	患者介助①車いす介助実習）
	8	患者介助②（Gディスカッション）
	9	現代の医療①
	10	現代の医療②
	11	現代の医療③
	12	グループワーク・ディスカッション
	13	ロールプレイング
	14	レポート作成
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	レポートの提出状況やテスト、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業の順番は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	小児保健	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	小児に関する基礎知識習得と小児対応について学ぶ	
授業の進め方	資料による講義で知識を深め、グループワーク・ディスカッションを通じて対応を考える	
達成目標	小児への理解と、親を含めた対応や知識を習得する	
教科書	オリジナル資料	
特記		
授業計画	1	小児期の分類
	2	感染症・難病
	3	予防接種
	4	発育発達①
	5	発育発達②
	6	発達障害への理解
	7	小児におけるリスク・事故①
	8	小児におけるリスク・事故②
	9	出産・分娩
	10	小児に関わる法規
	11	助成制度
	12	虐待の理解
	13	ディスカッション
	14	グループワーク
	15	レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	レポートの提出状況やテスト、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業の順番は変更する場合がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員授業		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い①
	2	学校と職場の違い②
	3	学校と職場の違い③
	4	職場のマナー①
	5	職場のマナー②
	6	職場のマナー③
	7	仕事の進め方①
	8	仕事の進め方②
	9	仕事の進め方③
	10	報告、連絡、相談①
	11	報告、連絡、相談②
	12	報告、連絡、相談③
	13	挨拶①
	14	挨拶②
	15	挨拶③
	16	笑顔、お辞儀①
	17	笑顔、お辞儀②
	18	笑顔、お辞儀③
	19	敬語①
	20	敬語②
	21	敬語③
	22	応対の基本①
	23	応対の基本②
	24	応対の基本③
	25	電話応対①
	26	電話応対②
	27	電話応対③
	28	効果測定①
	29	効果測定②
	30	効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	実技・筆記による効果測定にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療ビジネスマナーⅠ	
実務家教員授業		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	基本的なビジネススキルの向上	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	身に付けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	挨拶（言葉遣い）の必要性
	2	基本的な言葉遣い
	3	クッション言葉
	4	状況に応じた言葉遣い
	5	笑顔・お辞儀
	6	基本的な電話応対
	7	応用的な電話応対
	8	電話応対演習①
	9	電話応対演習②
	10	電話応対演習③
	11	電話応対演習④
	12	電話応対演習⑤
	13	電話応対演習⑥
	14	電話応対演習⑦
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	医療ビジネスマナーⅡ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	ロールプレイを行いながら実践的な知識を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療現場における実践的知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基本的な受付応対
	2	保険の種類別応対
	3	受付応対の実践例
	4	効果測定（受付応対の基本）
	5	クレームとは
	6	クレーム応対の方法
	7	病院内におけるクレーム応対・クレーム応対の例
	8	待ち時間・説明不足に関するクレーム応対
	9	診療時間に関するクレーム応対・クレーム応対練習
	10	受付応対実技応用　レクチャー①
	11	受付応対実技応用　レクチャー②
	12	受付応対実技応用　実践練習①
	13	受付応対実技応用　実践練習②
	14	効果測定（受付応対実技応用）
	15	効果測定（受付応対実技応用）
成績評価方法 (試験実施方法)	実技・筆記による効果測定	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	請求事務実践Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５コマ	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	レセプト復習
	2	レセプト復習
	3	レセプト復習
	4	レセプト復習
	5	レセプト復習
	6	レセプト復習
	7	公費負担医療とは
	8	公費（生活保護、障害者総合、結核、難病医療費）
	9	請求事務演習１
	10	請求事務演習２
	11	請求事務演習３
	12	請求事務演習４
	13	DPCとは・コーディングの要点
	14	DPCの演習
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内における試験の得点	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	請求事務実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５コマ	
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な知識の向上	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別問題（初診・再診）
	2	個別問題（入院・食事）
	3	個別問題（医学管理・投薬）
	4	個別問題（注射・処置）
	5	個別問題（手術・麻酔）
	6	個別問題（検査・画像）
	7	レセプト演習　外来①
	8	レセプト演習　入院①
	9	レセプト演習　外来②
	10	レセプト演習　入院②
	11	レセプト演習　外来③
	12	レセプト演習　入院③
	13	レセプト演習　外来④
	14	レセプト演習　入院④
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内における試験の得点	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会保険基礎論	
実務家教員		
学部・学科	医療事務学科（２年制）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	保険の基礎的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療現場における様々な保険知識の理解をする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療保険について①
	2	医療保険について②
	3	後期高齢者医療制度①
	4	後期高齢者医療制度②
	5	公費①
	6	公費②
	7	介護保険①
	8	介護保険②
	9	自動車損害賠償保障法①
	10	自動車損害賠償保障法②
	11	労働者災害補償保険法①
	12	労働者災害補償保険法②
	13	レセプト点検・総括①
	14	レセプト点検・総括②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定、授業への参加姿勢、提出物状況等で総合的に評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医学知識	
実務家教員		
学部・学科	医療事務学科（２年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	病院受付でも患者対応できるように医学的な基礎的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医学の基礎を理解する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	生活習慣病・脂質異常症
	2	高血圧症
	3	動脈硬化症
	4	狭心症・心筋梗塞
	5	脳梗塞・脳出血
	6	クモ膜下出血・感冒症候群
	7	扁桃炎
	8	肺炎・気管支炎
	9	胃炎
	10	胃・十二指腸潰瘍
	11	胃癌
	12	肝炎
	13	肝硬変・肝癌
	14	胆石症・膵炎
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験、効果測定にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	秘書実務	
実務家教員授業		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	秘書的業務についての基礎的な知識と技能を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	秘書的業務を行うために必要とされる知識と技能を身につける	
教科書	秘書検定クイックマスター2級（早稲田教育出版） 秘書検定新クリアテスト2級（早稲田教育出版）	
特記		
授業計画	1	第１章　１.秘書の心構え
	2	第１章　２.秘書に必要な条件
	3	第２章　１.秘書の役割と機能
	4	第２章　２.秘書の職務
	5	第３章　１.企業と経営
	6	第３章　２.企業の活動
	7	第３章　３.社会常識
	8	第４章　１.人間関係と話し方・聞き方
	9	第４章　２.話し方・聞き方の応用
	10	第４章　３.電話応対と接遇
	11	第４章　４.交際
	12	第５章　１.会議と秘書
	13	第５章　２.ビジネス文書の作成
	14	第５章　３.文書の取り扱い
	15	第５章　４.文書・資料管理
	16	第５章　５.日程管理・オフィス管理
	17	問題演習①（クリアテスト）
	18	問題演習②（クリアテスト）
	19	問題演習③（クリアテスト）
	20	分野別答案練習（第１章、第２章）
	21	分野別答案練習（第３章）
	22	分野別答案練習（第４章）
	23	分野別答案練習（第５章）
	24	項目別答案練習（第１章）
	25	項目別答案練習（第２章）
	26	項目別答案練習（第３章）
	27	項目別答案練習（第４章 前半）
	28	項目別答案練習（第４章 後半）
	29	項目別答案練習（第５章 前半）
	30	項目別答案練習（第５章 後半）
成績評価方法 （試験実施方法）	実技・筆記による効果測定にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	秘書実務	
実務家教員授業		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	秘書的業務についての知識と技能を身に付けるための応用的な演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、復習講義を行い知識と技能の定着を図る	
達成目標	秘書的業務の応用的な知識を学習し、技能が発揮できるようになる	
教科書	秘書検定実問題集２級（早稲田教育出版）、配布プリント	
特記		
授業計画	1	過去問題答案練習①
	2	過去問題答案練習②
	3	過去問題答案練習③
	4	過去問題答案練習④
	5	過去問題答案練習⑤
	6	過去問題答案練習⑥
	7	過去問題答案練習⑦
	8	過去問題答案練習⑧
	9	過去問題答案練習⑨
	10	過去問題答案練習⑩
	11	過去問題答案練習⑪
	12	過去問題答案練習⑫
	13	過去問題答案練習⑬
	14	過去問題答案練習⑭
	15	過去問題答案練習⑮
	16	過去問題答案練習⑯
	17	過去問題答案練習⑰
	18	過去問題答案練習⑱
	19	過去問題答案練習⑲
	20	過去問題答案練習⑳
	21	過去問題答案練習㉑
	22	過去問題答案練習㉒
	23	過去問題答案練習㉓
	24	過去問題答案練習㉔
	25	過去問題答案練習㉕
	26	過去問題答案練習㉖
	27	過去問題答案練習㉗
	28	過去問題答案練習㉘
	29	過去問題答案練習㉙
	30	過去問題答案練習㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	演習授業内におけるテストの解答状況を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サービス知識	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	接遇マナーやサービス提供者としての応対力を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と過去問題の演習により知識を習得し、接遇力を身に付ける	
達成目標	患者やその家族、来客に対する臨機応変な対応ができるようになるための知識、コミュニケーション力を備える	
教科書	サービス接遇検定２級公式テキスト（早稲田教育出版）、サービス接遇検定実問題集１・２級（早稲田教育出版）、オリジナル資料	
特記		
授業計画	1	オリエンテーション・Ⅰサービススタッフの資質
	2	Ⅱ専門知識
	3	Ⅲ一般知識
	4	Ⅳ対人技能（1．人間関係／2．接遇知識）
	5	Ⅳ対人技能（3．話し方／4．服装）
	6	Ⅴ実務技能（1．問題処理／2.環境整備）
	7	Ⅴ実務技能（3．金品管理／4．金品搬送／5．社交業務）
	8	過去問題演習①②
	9	過去問題演習③④
	10	過去問題演習⑤⑥
	11	過去問題演習⑦⑧・記述①
	12	過去問題演習⑨⑩・記述②
	13	過去問題演習⑪⑫・記述③
	14	過去問題演習⑬⑭・記述④
	15	過去問題演習⑮⑯・記述⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	演習授業内におけるテストの解答状況を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループワークとは
	2	企画立案の流れ
	3	企画立案①
	4	企画立案②
	5	企画立案③
	6	企画立案④
	7	企画立案⑤
	8	企画書作成①
	9	企画書作成②
	10	企画書作成③
	11	プレゼン準備①
	12	プレゼン準備②
	13	プレゼン準備③
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	一般的なビジネス文書の作成①
	5	一般的なビジネス文書の作成②
	6	一般的なビジネス文書の作成③
	7	シンプルなレポートや報告書の作成①
	8	シンプルなレポートや報告書の作成②
	9	シンプルなレポートや報告書の作成③
	10	表、画像、図形を使った文書の作成（１）①
	11	表、画像、図形を使った文書の作成（１）②
	12	表、画像、図形を使った文書の作成（１）③
	13	表、画像、図形を使った文書の作成（１）④
	14	表、画像、図形を使った文書の作成（１）⑤
	15	表、画像、図形を使った文書の作成（１）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内における試験の得点	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	関数を使用してのデータ集計①
	8	関数を使用してのデータ集計②
	9	関数を使用しての条件付き計算①
	10	関数を使用しての条件付き計算②
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②
	13	グラフの作成①
	14	グラフの作成②
	15	グラフの書式設定①
	16	グラフの書式設定②
	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	19	模擬テスト①
	20	模擬テスト②
	21	模擬テスト③
	22	模擬テスト④
	23	模擬テスト⑤
	24	模擬テスト⑥
	25	模擬テスト⑦
	26	模擬テスト⑧
	27	模擬テスト⑨
	28	模擬テスト⑩
	29	模擬テスト⑪
	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報取集を行い、考えや意見を伝えることができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員･･･経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務	
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅰ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	保険医療機関等で医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する	
教科書	実習日誌	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅰ（院内オリエンテーション）①
	2	現場実習Ⅰ（院内オリエンテーション）②
	3	現場実習Ⅰ（病院概要）①
	4	現場実習Ⅰ（病院概要）②
	5	現場実習Ⅰ（病院概要）③
	6	現場実習Ⅰ（病院概要）④
	7	現場実習Ⅰ（カルテ管理）①
	8	現場実習Ⅰ（カルテ管理）②
	9	現場実習Ⅰ（カルテ管理）③
	10	現場実習Ⅰ（カルテ管理）④
	11	現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑤
	12	現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑥
	13	現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑦
	14	現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑧
	15	現場実習Ⅰ（医事課業務）①
	16	現場実習Ⅰ（医事課業務）②
	17	現場実習Ⅰ（医事課業務）③
	18	現場実習Ⅰ（医事課業務）④
	19	現場実習Ⅰ（医事課業務）⑤
	20	現場実習Ⅰ（医事課業務）⑥
	21	現場実習Ⅰ（医事課業務）⑦
	22	現場実習Ⅰ（医事課業務）⑧
	23	現場実習Ⅰ（外来クラーク）①
	24	現場実習Ⅰ（外来クラーク）②
	25	現場実習Ⅰ（外来クラーク）③
	26	現場実習Ⅰ（外来クラーク）④
	27	現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑤
	28	現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑥
	29	現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑦
	30	現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅱ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	保険医療機関等で医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	医療事務員としての役割、業務内容を理解し、患者に対し、適切な言葉遣いで対応する	
教科書	実習日誌	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）①
	2	現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）②
	3	現場実習Ⅱ（病院概要）①
	4	現場実習Ⅱ（病院概要）②
	5	現場実習Ⅱ（病院概要）③
	6	現場実習Ⅱ（病院概要）④
	7	現場実習Ⅱ（患者案内）①
	8	現場実習Ⅱ（患者案内）②
	9	現場実習Ⅱ（患者案内）③
	10	現場実習Ⅱ（患者案内）④
	11	現場実習Ⅱ（患者案内）⑤
	12	現場実習Ⅱ（患者案内）⑥
	13	現場実習Ⅱ（患者案内）⑦
	14	現場実習Ⅱ（患者案内）⑧
	15	現場実習Ⅱ（各診療科受付）①
	16	現場実習Ⅱ（各診療科受付）②
	17	現場実習Ⅱ（各診療科受付）③
	18	現場実習Ⅱ（各診療科受付）④
	19	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑤
	20	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑥
	21	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑦
	22	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑧
	23	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑨
	24	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑩
	25	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）①
	26	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）②
	27	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）③
	28	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）④
	29	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）⑤
	30	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	施設評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅲ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	大学病院や総合病院等で医療事務員として必要な行動を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	大規模病院内での医療事務員の役割を理解し、業務を遂行する	
教科書	実習日誌	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）①
	2	現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）②
	3	現場実習Ⅱ（病院概要）①
	4	現場実習Ⅱ（病院概要）②
	5	現場実習Ⅱ（病院概要）③
	6	現場実習Ⅱ（病院概要）④
	7	現場実習Ⅱ（患者案内）①
	8	現場実習Ⅱ（患者案内）②
	9	現場実習Ⅱ（患者案内）③
	10	現場実習Ⅱ（患者案内）④
	11	現場実習Ⅱ（患者案内）⑤
	12	現場実習Ⅱ（患者案内）⑥
	13	現場実習Ⅱ（患者案内）⑦
	14	現場実習Ⅱ（患者案内）⑧
	15	現場実習Ⅱ（各診療科受付）①
	16	現場実習Ⅱ（各診療科受付）②
	17	現場実習Ⅱ（各診療科受付）③
	18	現場実習Ⅱ（各診療科受付）④
	19	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑤
	20	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑥
	21	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑦
	22	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑧
	23	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑨
	24	現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑩
	25	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）①
	26	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）②
	27	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）③
	28	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）④
	29	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）⑤
	30	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅳ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	総合病院等で医療事務員として必要な行動、態度、技術を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	病院内での医療事務員の業務内容を理解し、自ら行動する	
教科書	実習日誌	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅳ（初・再診受付）①
	2	現場実習Ⅳ（初・再診受付）②
	3	現場実習Ⅳ（初・再診受付）③
	4	現場実習Ⅳ（初・再診受付）④
	5	現場実習Ⅳ（初・再診受付）⑤
	6	現場実習Ⅳ（医事課業務）①
	7	現場実習Ⅳ（医事課業務）②
	8	現場実習Ⅳ（医事課業務）③
	9	現場実習Ⅳ（医事課業務）④
	10	現場実習Ⅳ（医事課業務）⑤
	11	現場実習Ⅳ（外来クラーク）①
	12	現場実習Ⅳ（外来クラーク）②
	13	現場実習Ⅳ（外来クラーク）③
	14	現場実習Ⅳ（外来クラーク）④
	15	現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑤
	16	現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑥
	17	現場実習Ⅳ（外来クラーク）⑦
	18	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）①
	19	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）②
	20	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）③
	21	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）④
	22	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑤
	23	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑥
	24	現場実習Ⅳ（病棟クラーク）⑦
	25	現場実習Ⅳ（看護助手）①
	26	現場実習Ⅳ（看護助手）②
	27	現場実習Ⅳ（看護助手）③
	28	現場実習Ⅳ（看護助手）④
	29	現場実習Ⅳ（看護助手）⑤
	30	現場実習Ⅳ（看護助手）⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	施設評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ｖ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、業務内容を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	他職種の業務を理解し、自らの業務を遂行する	
教科書	実習報告書・勤務報告書	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ｖ（初・再診受付）①
	2	現場実習Ｖ（初・再診受付）②
	3	現場実習Ｖ（初・再診受付）③
	4	現場実習Ｖ（初・再診受付）④
	5	現場実習Ｖ（初・再診受付）⑤
	6	現場実習Ｖ（初・再診受付）⑥
	7	現場実習Ｖ（初・再診受付）⑦
	8	現場実習Ｖ（初・再診受付）⑧
	9	現場実習Ｖ（初・再診受付）⑨
	10	現場実習Ｖ（初・再診受付）⑩
	11	現場実習Ｖ（外来クラーク）①
	12	現場実習Ｖ（外来クラーク）②
	13	現場実習Ｖ（外来クラーク）③
	14	現場実習Ｖ（外来クラーク）④
	15	現場実習Ｖ（外来クラーク）⑤
	16	現場実習Ｖ（外来クラーク）⑥
	17	現場実習Ｖ（外来クラーク）⑦
	18	現場実習Ｖ（外来クラーク）⑧
	19	現場実習Ｖ（外来クラーク）⑨
	20	現場実習Ｖ（外来クラーク）⑩
	21	現場実習Ｖ（病棟クラーク）①
	22	現場実習Ｖ（病棟クラーク）②
	23	現場実習Ｖ（病棟クラーク）③
	24	現場実習Ｖ（病棟クラーク）④
	25	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑤
	26	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑥
	27	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑦
	28	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑧
	29	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑨
	30	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅵ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、業務内容を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	医療事務職と他職種との連携業務を理解し、積極的に行動する	
教科書	実習報告書・勤務報告書	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅵ（初・再診受付）①
	2	現場実習Ⅵ（初・再診受付）②
	3	現場実習Ⅵ（初・再診受付）③
	4	現場実習Ⅵ（初・再診受付）④
	5	現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑤
	6	現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑥
	7	現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑦
	8	現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑧
	9	現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑨
	10	現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑩
	11	現場実習Ⅵ（入院受付）①
	12	現場実習Ⅵ（入院受付）②
	13	現場実習Ⅵ（入院受付）③
	14	現場実習Ⅵ（入院受付）④
	15	現場実習Ⅵ（入院受付）⑤
	16	現場実習Ⅵ（入院受付）⑥
	17	現場実習Ⅵ（入院受付）⑦
	18	現場実習Ⅵ（入院受付）⑧
	19	現場実習Ⅵ（入院受付）⑨
	20	現場実習Ⅵ（入院受付）⑩
	21	現場実習Ⅵ（地域連携室）①
	22	現場実習Ⅵ（地域連携室）②
	23	現場実習Ⅵ（地域連携室）③
	24	現場実習Ⅵ（地域連携室）④
	25	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑤
	26	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑥
	27	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑦
	28	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑧
	29	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑨
	30	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅶ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	一医療人になるために基礎的な患者応対から事務的な仕事までを学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	医療事務員として、スムーズに業務を遂行する	
教科書	実習報告書・勤務報告書	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅶ（患者応対）①
	2	現場実習Ⅶ（患者応対）②
	3	現場実習Ⅶ（患者応対）③
	4	現場実習Ⅶ（患者応対）④
	5	現場実習Ⅶ（患者応対）⑤
	6	現場実習Ⅶ（医事課業務）①
	7	現場実習Ⅶ（医事課業務）②
	8	現場実習Ⅶ（医事課業務）③
	9	現場実習Ⅶ（医事課業務）④
	10	現場実習Ⅶ（医事課業務）⑤
	11	現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）①
	12	現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）②
	13	現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）③
	14	現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）④
	15	現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病院実習Ⅷ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業回数	３０回	
授業概要	医療事務員としての応用的な知識も含め、全ての業務を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	患者の心情なども理解し、臨機応変に業務を遂行する	
教科書	実習報告書・勤務報告書	
特記	実務家教員は、保険医療機関等で勤務している現役医療事務員	
授業計画	1	現場実習Ⅷ（初・再診受付）①
	2	現場実習Ⅷ（初・再診受付）②
	3	現場実習Ⅷ（初・再診受付）③
	4	現場実習Ⅷ（初・再診受付）④
	5	現場実習Ⅷ（初・再診受付）⑤
	6	現場実習Ⅷ（医事課業務）①
	7	現場実習Ⅷ（医事課業務）②
	8	現場実習Ⅷ（医事課業務）③
	9	現場実習Ⅷ（医事課業務）④
	10	現場実習Ⅷ（医事課業務）⑤
	11	現場実習Ⅷ（外来クラーク）①
	12	現場実習Ⅷ（外来クラーク）②
	13	現場実習Ⅷ（外来クラーク）③
	14	現場実習Ⅷ（外来クラーク）④
	15	現場実習Ⅷ（外来クラーク）⑤
	16	現場実習Ⅷ（病棟クラーク）①
	17	現場実習Ⅷ（病棟クラーク）②
	18	現場実習Ⅷ（病棟クラーク）③
	19	現場実習Ⅷ（病棟クラーク）④
	20	現場実習Ⅷ（病棟クラーク）⑤
	21	現場実習Ⅷ（会計受付）①
	22	現場実習Ⅷ（会計受付）②
	23	現場実習Ⅷ（会計受付）③
	24	現場実習Ⅷ（会計受付）④
	25	現場実習Ⅷ（会計受付）⑤
	26	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）①
	27	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）②
	28	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）③
	29	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）④
	30	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択E	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択E	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択E	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己ＰＲができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己ＰＲ作成①
	5	自己ＰＲ作成②
	6	自己ＰＲ作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（１年制）	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択E	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間	
授業回数	１５回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		